

市庁舎長寿命化改修工事【機械設備】

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
M-001	図面リスト	M-301	空調設備 ダクト系統図 【改修前】	M-401	計装設備 中央管理点入出力一覧表 【改修前】	M-501	衛生設備 機器表 【改修前・後】
M-002	機械設備 特記仕様書(1)	M-302	空調設備 地下1階ダクト平面図 【改修前】	M-402	計装設備 計装図(1) 【改修前】	M-502	衛生設備 衛生器具表 【改修前】
M-003	機械設備 特記仕様書(2)	M-303	空調設備 1階ダクト平面図 【改修前】	M-403	計装設備 計装図(2) 【改修前】	M-503	衛生設備 系統図(1) 【改修前】
M-004	機械設備 特記仕様書(3)	M-304	空調設備 2階ダクト平面図 【改修前】	M-404	計装設備 機器リスト 【改修前】	M-504	衛生設備 系統図(2) 【改修前】
M-005	機械設備 凡例 【改修前・後】	M-305	空調設備 3階ダクト平面図 【改修前】	M-405	計装設備 屋外平面図 【改修前】	M-505	衛生設備 免震ピット平面図 【改修前】
M-101	空調設備 機器表(1) 【改修前】	M-306	空調設備 4階ダクト平面図 【改修前】	M-406	計装設備 地下1階、1階平面図 【改修前】	M-506	衛生設備 ピット平面図 【改修前】
M-102	空調設備 機器表(2) 【改修前】	M-307	空調設備 5階ダクト平面図 【改修前】	M-407	計装設備 2階、3階平面図 【改修前】	M-507	衛生設備 地下1階平面図 【改修前】
M-103	空調設備 機器表(3) 【改修前】	M-308	空調設備 R階・PH階ダクト平面図 【改修前】	M-		M-508	衛生設備 1階平面図 【改修前】
M-104	空調設備 機器表(4) 【改修前】	M-309	空調設備 地下1階機械室ダクト詳細図 【改修前】	M-		M-509	衛生設備 2階平面図 【改修前】
M-105	空調設備 機器表(1) 【改修後】	M-310	空調設備 R階・PH階機械室ダクト詳細図 【改修前】	M-		M-510	衛生設備 3階平面図 【改修前】
M-106	空調設備 機器表(2) 【改修後】	M-311	空調設備 ダクト系統図 【改修後】	M-411	計装設備 地下1階平面図 【改修後】	M-511	衛生設備 4階平面図 【改修前】
M-107	空調設備 機器表(3) 【改修後】	M-312	空調設備 地下1階ダクト平面図 【改修後】	M-412	計装設備 1階平面図 【改修後】	M-512	衛生設備 5階平面図 【改修前】
M-108	空調設備 機器表(4) 【改修後】	M-313	空調設備 1階ダクト平面図 【改修後】	M-413	計装設備 2階平面図 【改修後】	M-513	衛生設備 R階・PH階平面図 【改修前】
M-		M-314	空調設備 2階ダクト平面図 【改修後】	M-414	計装設備 3階平面図 【改修後】	M-514	衛生設備 (本館)議場棟 1階・2階平面図 【改修前】
M-		M-315	空調設備 3階ダクト平面図 【改修後】	M-415	計装設備 4階平面図 【改修後】	M-515	衛生設備 (本館)議場棟 3階・R階平面図 【改修前】
M-		M-316	空調設備 4階ダクト平面図 【改修後】	M-416	計装設備 5階平面図 【改修後】	M-516	衛生設備 トライエリア 配管詳細図 【改修前】
M-201	空調設備 配管系統図 【改修前】	M-317	空調設備 5階ダクト平面図 【改修後】	M-417	計装設備 R階・PH階平面図 【改修後】	M-517	衛生設備 衛生器具表 【改修後】
M-202	空調設備 ピット配管平面図 【改修前】	M-318	空調設備 R階・PH階ダクト平面図 【改修後】	M-418	計装設備 (本館)議場棟 1階・2階平面図 【改修後】	M-518	衛生設備 系統図(1) 【改修後】
M-203	空調設備 地下1階配管平面図 【改修前】	M-319	空調設備 地下1階機械室ダクト詳細図 【改修後】	M-419	計装設備 (本館)議場棟 3階・R階平面図 【改修後】	M-519	衛生設備 系統図(2) 【改修後】
M-204	空調設備 1階配管平面図 【改修前】	M-320	空調設備 R階・PH階機械室ダクト詳細図 【改修後】	M-		M-520	衛生設備 免震ピット平面図 【改修後】
M-205	空調設備 2階配管平面図 【改修前】	M-321	空調設備 (本館)議場棟 1階・2階ダクト平面図 【改修前】	M-		M-521	衛生設備 ピット平面図 【改修後】
M-206	空調設備 3階配管平面図 【改修前】	M-322	空調設備 (本館)議場棟 3階・R階ダクト平面図 【改修前】	M-		M-522	衛生設備 地下1階平面図 【改修後】
M-207	空調設備 4階配管平面図 【改修前】	M-323	空調設備(本館)議場棟2階・3階機械室ダクト詳細図 【改修前】	M-		M-523	衛生設備 1階平面図 【改修後】
M-208	空調設備 5階配管平面図 【改修前】	M-324	空調設備 (本館)議場棟 1階・2階ダクト平面図 【改修後】	M-		M-524	衛生設備 2階平面図 【改修後】
M-209	空調設備 R階配管平面図 【改修前】	M-325	空調設備 (本館)議場棟 3階・R階ダクト平面図 【改修後】	M-		M-525	衛生設備 3階平面図 【改修後】
M-210	空調設備 地下1階機械室配管平面詳細図 【改修前】	M-326	空調設備(本館)議場棟2階・3階機械室ダクト詳細図 【改修後】	M-		M-526	衛生設備 4階平面図 【改修後】
M-211	空調設備 地下1階機械室配管断面詳細図 【改修前】	M-		M-		M-527	衛生設備 5階平面図 【改修後】
M-212	空調設備 トライエリア 配管詳細図(1) 【改修前】	M-		M-		M-528	衛生設備 R階・PH階平面図 【改修後】
M-213	空調設備 トライエリア 配管詳細図(2) 【改修前】	M-		M-		M-529	衛生設備 (本館)議場棟 1階・2階平面図 【改修後】
M-214	空調設備 屋外テラス置場配管平面図 【改修前】	M-		M-		M-530	衛生設備 (本館)議場棟 3階・R階平面図 【改修後】
M-215	空調設備 配管系統図 【改修後】	M-		M-		M-531	衛生設備 (本館)事務棟 各階便所詳細図 【改修前・後】
M-216	空調設備 地下1階配管平面図 【改修後】	M-		M-		M-532	衛生設備 (本館)事務棟 各階湯沸室詳細図 【改修前・後】
M-217	空調設備 1階配管平面図 【改修後】	M-		M-		M-533	衛生設備 (本館)事務棟 地下1階厚生室・休憩室詳細図 【改修後】
M-218	空調設備 2階配管平面図 【改修後】	M-		M-		M-534	衛生設備 (本館)議場棟 1階便所詳細図 【改修前・後】
M-219	空調設備 3階配管平面図 【改修後】	M-		M-		M-535	衛生設備 (本館)議場棟 2階便所詳細図 【改修前・後】
M-220	空調設備 4階配管平面図 【改修後】	M-		M-		M-536	衛生設備 (別館)1階便所詳細図 【改修前・後】
M-221	空調設備 5階配管平面図 【改修後】	M-		M-		M-537	衛生設備 (別館)2階～5階便所詳細図 【改修前・後】
M-222	空調設備 R階配管平面図 【改修後】	M-		M-		M-	
M-223	空調設備 (本館)議場棟 1階・2階配管平面図 【改修後】	M-		M-		M-	
M-224	空調設備 (本館)議場棟 3階・R階配管平面図 【改修後】	M-		M-		M-	
M-		M-		M-		M-	
M-		M-		M-		M-601	連結散水設備 地下1階平面図 【改修前】
M-		M-		M-		M-602	連結散水設備 地下1階平面図 【改修後】
M-		M-		M-		M-	
M-		M-		M-		M-	
M-		M-		M-		M-	
M-		M-		M-		M-	
M-		M-		M-		M-	
M-		M-		M-		M-	

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称	市庁舎長寿命化改修工事
2 工事場所	朝霞市本町1-1-1 (朝霞市庁舎)
3 工期	契約日から 令和10年2月25日
現場施工期間	令和8年7月1日から 令和10年3月24日

4 建物概要					
建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
① 本館事務棟・本館議場棟	RC造	B1F～5F, PH	7,346.18		
② 別館	S造	1F～5F	2,493.16		
③					
④					
⑤					

5 工事種目 (●印を付いたものを適用する。)					
建物別及び屋外	工事種別				
工事種目	①	②	③	④	⑤
●空気調和設備	一式				
●換気設備	一式	一式			
○排煙設備					
●自動制御設備	一式				
●衛生器具設備	一式	一式			
●給水設備	一式	一式			
●排水設備	一式	一式			
●給湯設備	一式	一式			
●消火設備	一式				
○厨房機器設備					
●ガス設備	一式				

6 指定部分	※無	・有
対象部分:	工期: 令和 年 月 日	

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)	
1. 専任期間の始期	請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間 令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
2. 専任期間の終期	工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
3. 専任期間の中断	自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8 工事範囲	図示のとおり
9 機械設備工事概要	
10 同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事

11 建設発生土の処理	
12 埋め戻し土・盛土	
13 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	
14 発生材の処理等	

15 容量等の表示	
16 配管	
17 耐震施工	

II 工事仕様

1 共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。)) 及び監督員の指示に従い施工する。
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
2 特記仕様
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、●印のものは適用しない。○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7Aベト含有の有無を確認し、7Aベトを含む機材は、使用しないこと。				
② 電気保安技術者施工条件	「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。				
③ 技能士の適用	・置く ※置かない 施工時間 ※行政機関の休日に関する法律 (S63第91号) に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。				
④ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	・配管施工 (配管工事) ・建築板金施工 (風道制作及び取付け) ・熱絶縁施工 (保温工事) ・冷凍空調機器施工 (冷凍空調機器の据付け) 検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所 (事前に監督員の承諾を得る) に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩濁度、⑪濁度および残留塩素の12項目とする。				
⑤ 監督員事務所	本工事で ・設ける (規模) ※設けない				
⑥ 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。				
⑦ 工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。				
⑧ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない				
⑨ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。				
⑩ 建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。				
⑪ 埋め戻し土・盛土	※根切土の中の良質土 (但しコンクリート管以外の管の周囲に山砂の類) ・山砂の類				
⑫ 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	再生砂などは原則使用しない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表層以外に使用できる。 ※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行う土壤の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。				
⑬ 発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 (構外搬出処理費は ※本工事 ・別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分をするもの () (3) 再生資源化を図るもの (・硬質塩化ビニル管) (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。				
⑭ 容量等の表示	(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。				
⑮ 配管	(1) 地中埋設配管 (排水管を除く) 1) 地中埋設種 (コンクリート製) ※要 (図示の箇所) ・不要 2) 地中埋設種 (キャッツアイ) ※要 (舗装部の分岐、曲部) ・不要 3) 埋設表示テープ (2倍折込み) ※要 ・不要				
⑯ 耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)を参考とする。 ただし、設計用地震力 (水平及び鉛直) は次の設計用水平震度K ^H 及び設計用鉛直震度K ^V (K ^H (K / 2) を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。 設計用水平震度				
⑰-1 あと施工アンカー	設置場所	耐震安全性の分類			
		特定の施設	一般の施設		
		重要機器	一般機器		
	上層階	2.0	1.5	1.5	1.0
	屋上及び塔屋	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
		<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0
	中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
		(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
		<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
	1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4
		(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
		<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
		(注) () 内の数値は防護支持の機器の場合に適用する。 < > 内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階) 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの (平屋建の場合は無し) 重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器 防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置 火を使用する設備 避難経路上に設置する機器			

⑱ 防露保温工事	標準仕様書第2編によるほか下記による。 空調調和設備工事の保温の種類			
	区分	施工箇所	保温種別	
	ドレン管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・VII	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・VII	
		天井内、P S内及び空腔壁中	c2・(B)・VII	
	蒸気管	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(A)・II	
		機械室、書庫、倉庫	B・(A)・II	
		天井内、P S内及び空腔壁中	C2・(B)・II	
	冷水・冷温水管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(A)・III	
		天井内、P S内及び空腔壁中	C1・(A)・III	
		地下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	D・(A)・III	
	温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(A)・I	
		天井内、P S内及び空腔壁中	C2・(B)・I	
		地下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	D・(B)・I	
	ダクトの保温の種類	区分	施工箇所	保温種別
		長方形ダクト	屋内露出 (一般居室、廊下)	J1・(A)・XI
			屋内露出 (機械室、書庫、倉庫)	I・(A)・XI
	屋内隠ぺい、D S内		I・(B)・XI	
	円形ダクト	屋内露出 (一般居室、廊下)	O1・(A)・XI	
		屋内露出 (機械室、書庫、倉庫)	N・(A)・XI	
		屋内隠ぺい、D S内	N・(B)・XI	
	消音内貼り	屋内露出 (一般居室、廊下)	P3・(A)・XI	
		消音チャンバー	M・(B)・IX	
		消音チャンバー・消音エルボ	L・(B)・VIII	
	(注) 1. 厨房ダクトの保温材は、管轄消防の規則を確認の上、選定すること。			
	給排水衛生設備工事の保温の種類	区分	施工箇所	保温種別
	給水管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・VII	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・VII	
		天井内	c2・(B)・VII	
	排水及び通気管	P S内及び空腔壁中	—	
		県営住宅P S内	c2・(A)・VII	
		地下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
		天井内	c2・(B)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
		機械室、書庫、倉庫	b・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	天井内	c2・(B)・I	
		P S内及び空腔壁中	—	
		屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・I	
	給湯管 (膨張管、空気抜			

	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に大きな影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会 が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 H F C (R 4 1 0 A、R 3 2又はR407C) (注1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 3 2を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針に掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>11 擬音装置</p> <p>12 そ の 他</p>	<p>トイレブースに設置する。</p> <p>衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。</p>	<p>(注) 1.リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又はREP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2.雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3.原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY4.5度で行う。 4.樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。</p>																																																																																														
<p>● 空気調和設備</p> <p>1 設計温湿度</p> <p>2 総合試運転調整</p> <p>3 煙道</p> <p>4 煙突</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>7 風量測定口</p> <p>8 チャンバー</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>10 ダンパー</p> <p>11 配管材料</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="5">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>一般系統</th> <th>温度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 期</td> <td>37.1℃</td> <td>47.1%</td> <td>26.0℃</td> <td>50%</td> <td>26.0℃</td> <td>50%</td> <td>26.0℃</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.5℃</td> <td>49.4%</td> <td>22.0℃</td> <td>50%</td> <td>22.0℃</td> <td>50%</td> <td>22.0℃</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p> <p>※本工程 ・別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない</p> <p>(1) 鉄板厚 ※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない</p> <p>※別途 ・本工程</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (A区分 ※B区分)</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・換気用耐火二層管 (大目認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンバーの分岐ダクト</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (V U) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(口) ・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽部ダクト (仕様はh・(イ) ・IXとし範囲は図示による)</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (3) ブライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) (5) ドレン管 (屋外) ※保温機能付空調用ドレン管 (L10のACドレンパイプ 相当品) ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (L10のACドレンパイプ 相当品) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・硬質塩化ビニル管V P (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (注) 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。</p> <p>規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空調機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空調機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空調機の冷温水管 (出入口共) ※冷水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・ 個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 ・空調機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。</p> <p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 制御弁には (※給油ポンプ制御 ※減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>		外 気		屋 内					温度 (DB)	湿度 (RH)	一般系統	温度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	37.1℃	47.1%	26.0℃	50%	26.0℃	50%	26.0℃	50%	冬 期	0.5℃	49.4%	22.0℃	50%	22.0℃	50%	22.0℃	50%	<p>● 1 長方形ダクト</p> <p>2 円形ダクト</p> <p>3 風量測定口</p> <p>4 チャンバー</p> <p>5 ダンパー</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト</p> <p>7 保 温</p> <p>8 試運転調整</p> <p>9 排 煙 設 備</p> <p>10 中央監視制御装置</p> <p>11 構成・機能</p> <p>12 電気計装用機材</p> <p>13 自動制御</p> <p>14 衛生器具</p> <p>15 器具</p> <p>16 自動水栓類の電源</p> <p>17 暖房便座</p> <p>18 大便器洗浄弁・洗浄用タンク</p> <p>19 掃除流し</p> <p>20 排水器具用ゴム継手</p> <p>21 標 記 板</p> <p>22 水せつけん入れ</p>	<p>● 給 水 設 備</p> <p>1 配管材料</p> <p>2 一体形タンク</p> <p>3 水 栓</p> <p>4 量 水 器</p> <p>5 量水器樹</p> <p>6 弁 類</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>9 検針方法</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>11 本管取出し</p>	<p>配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>水 かつ厨房、浴室等の湿潤シグ (内配管)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>配 保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>※H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E)</td> </tr> <tr> <td>管 地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E)</td> </tr> <tr> <td>中 異常住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>水 便所天井内、P S内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)</td> </tr> <tr> <td>配 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>管 その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>中 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>水 湿潤シグ内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>配 保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>管 地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E)</td> </tr> <tr> <td>中 便所天井内、P S内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)</td> </tr> <tr> <td>水 便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>配 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>管 その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.SUSとは、JIS G 3448またはJWWA G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ・ガア ール) 便所 ・廊下流し露出配管 (※拡管) とする。 2.ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。 3.飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4.建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用弁を設ける。 5.口径2.5Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6.高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (P E 1 0 0) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものを用いる。 7.地中埋設部 (水道直結部分) は水道事業者の指示による。 8.樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。 9.住戸内は、さや管ヘッダー配管システムとする。</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>※給湯用水栓を除き大きさの呼び1.3の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>※観メーター (※貸与品 ・) ・子メーター (※買取り ・)</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図MC形</p> <p>規格はJ I S又はJ Vとし、水道直結部分は10 Kとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工程に含む。</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工程範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p> <p>配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雑 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・</td> <td>※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP</td> </tr> <tr> <td>排 厨房等の温排水</td> <td>・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>水 耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管 VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>配 管 その他の部分</td> <td>※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>汚 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・</td> <td>※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP</td> </tr> <tr> <td>水 耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管 VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・排水用 / かつ 塩ビ塗装鋼管</td> </tr> <tr> <td>配 管 その他の部分</td> <td>※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>中 地中埋設部</td> <td>※RS-VU 又はリサイクルVU ・VU ・卵形管 (ゴム輪接合)</td> </tr> <tr> <td>共 通</td> <td>※REP-VU (軽荷重の場合) ・RF-VP 又はリサイクルVP ・VP</td> </tr> <tr> <td>通 耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管 VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>気 配 管 その他の部分</td> <td>※リサイクルVP 又はRF-VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所	管 種 別	上 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管	水 かつ厨房、浴室等の湿潤シグ (内配管)	※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管	配 保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	地中埋設部 (水道直結部分)	※H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E)	管 地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E)	中 異常住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)	水 便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)	配 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管 (10mm保温付)	管 その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管	中 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・	※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管	水 湿潤シグ内配管	※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管	配 保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	管 地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E)	中 便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)	水 便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	配 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	管 その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管	施 工 箇 所	管 種 別	雑 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・	※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP	排 厨房等の温排水	・SGP (白)	水 耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管 VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・SGP (白)	配 管 その他の部分	※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	汚 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・	※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP	水 耐火性能を要求される場所	※耐火二層管 VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・排水用 / かつ 塩ビ塗装鋼管	配 管 その他の部分	※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	中 地中埋設部	※RS-VU 又はリサイクルVU ・VU ・卵形管 (ゴム輪接合)	共 通	※REP-VU (軽荷重の場合) ・RF-VP 又はリサイクルVP ・VP	通 耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管 VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・SGP (白)	気 配 管 その他の部分	※リサイクルVP 又はRF-VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>● 洗面器等の排水管</p> <p>● 3 満水試験継手</p> <p>● 4 樹の適用</p> <p>● 1 配管材料</p> <p>● 2 絶縁フランジ</p> <p>● 3 弁 類</p> <p>● 4 ガス瞬間湯沸器</p> <p>● 5 電気給湯器</p> <p>● 1 配管材料</p> <p>● 2 建物導入部配管</p> <p>● 1 配管材料</p> <p>● 2 ガス漏れ警報遮断装置</p> <p>● 3 液化石油ガスの供給種</p> <p>○ 1 厨房機器の固定</p> <p>○ 2 シンク用水栓</p> <p>○ 3 安全装置の機能の適用</p> <p>● 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事情形共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。 第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) m3 ・中間処理施設 市 地内、(株) ・ ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融含ます) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む) 2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 3 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を含めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 5 受注者は、工事検査時に manifests 原本を提示する。 第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p> <p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット 別紙仕様による。 ・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆銅管 (M鋼管) ○一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 取付部は下記による。 ※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 (1) 規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。 ※屋外設置の潜熱回収型 ・PS厚内設置の潜熱回収型 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p> <p>屋内消火栓用 一般配管 ※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設 ※SGP-VS ・HIVP ・高密度ポリエチレン管 (消火用) 消火用 一般配管 ※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設 ※SGP-VS ・HIVP ・高密度ポリエチレン管 (消火用) 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80 連結配水 一般配管 ※SGP (白) 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>○都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP (白) 地中埋設 ※PE管</p> <p>濁水検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。 ガス設備工事の施工者にガスの供給種は付帯しない。</p> <p>原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p>
	外 気		屋 内																																																																																																
	温度 (DB)	湿度 (RH)	一般系統	温度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																																											
夏 期	37.1℃	47.1%	26.0℃	50%	26.0℃	50%	26.0℃	50%																																																																																											
冬 期	0.5℃	49.4%	22.0℃	50%	22.0℃	50%	22.0℃	50%																																																																																											
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																		
上 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管																																																																																																		
水 かつ厨房、浴室等の湿潤シグ (内配管)	※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管																																																																																																		
配 保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																																																																																		
地中埋設部 (水道直結部分)	※H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E)																																																																																																		
管 地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E)																																																																																																		
中 異常住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)																																																																																																		
水 便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)																																																																																																		
配 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																																																		
管 その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管																																																																																																		
中 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・	※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管																																																																																																		
水 湿潤シグ内配管	※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管																																																																																																		
配 保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																																																																																		
管 地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E)																																																																																																		
中 便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)																																																																																																		
水 便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																																																		
配 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																																		
管 その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HI-VP ・ポリブテン管																																																																																																		
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																		
雑 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・	※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP																																																																																																		
排 厨房等の温排水	・SGP (白)																																																																																																		
水 耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管 VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・SGP (白)																																																																																																		
配 管 その他の部分	※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																		
汚 床下、暗渠内 (ビ ット内、共同溝を含む) ・	※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP																																																																																																		
水 耐火性能を要求される場所	※耐火二層管 VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・排水用 / かつ 塩ビ塗装鋼管																																																																																																		
配 管 その他の部分	※RF-VP 又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																		
中 地中埋設部	※RS-VU 又はリサイクルVU ・VU ・卵形管 (ゴム輪接合)																																																																																																		
共 通	※REP-VU (軽荷重の場合) ・RF-VP 又はリサイクルVP ・VP																																																																																																		
通 耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管 VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・SGP (白)																																																																																																		
気 配 管 その他の部分	※リサイクルVP 又はRF-VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																		
<p>株式会社 大誠建築設計事務所</p> <p>一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9615号 代表取締役 小林弘幸 一級建築士</p>	<p>日付</p> <p>記事</p> <p>承認</p> <p>照査</p> <p>設計</p> <p>設計年月日</p> <p>件名 市庁舎長寿命化改修工事</p> <p>縮尺 A1: N.S A3: N.S M-003</p> <p>図面名 機械設備 特記仕様書 (2)</p> <p>一級建築士 第193004号 大形 一朗</p>	<p>2024.12</p>																																																																																																	

環境配慮 (グリーン)改修工事	1 アスベスト処理工事 一般共通事項	<p>留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。 アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修仕様」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。 																																																																																																																													
	2 アスベスト含有分析調査	<p>分析によるアスベスト含有建材の調査（9.1.1） ・ 行う（下表による）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> </tbody> </table> <p>採取箇所 ※ 図示</p> <p>分析対象 ※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トモライト）</p> <p>調査方法・分析方法 ※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。 分析結果については、監督員に提出すること。</p>	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																			
	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																																													
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																														
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																														
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																														
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																														
3 アスベスト粉じん濃度測定	<p>アスベスト粉じん濃度測定（9.1.1） ・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">測定箇所 ※ 図示</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数 (各処理作業室ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th>レベル1</th> <th>レベル2</th> <th>レベル3</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 1</td> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>※各2点 ・ 各3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 2</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 3</td> <td rowspan="4">処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 5</td> <td>負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）</td> <td>各1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 6</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 7</td> <td rowspan="2">処理作業後 (隔離シート撤去前)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点 (レベル3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 8</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 9</td> <td rowspan="2">処理作業後 (シート撤去後1週間以降)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 10</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法 アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法—第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td>位相差・分散顕微鏡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ノズル径の直径</td> <td>25 mm</td> <td></td> <td>47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td colspan="3">アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td colspan="3">総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野</td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table> <p>報告書の作成（記録する項目） ア 測定結果 イ 測定時間 ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載） エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量） オ マウンティング方法 カ 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向 ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真</p>	測定箇所 ※ 図示			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考	レベル1	レベル2	レベル3						○	○	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	※各2点 ・ 各3点		○	○	・	測定 2	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	各2点		○	・	・	測定 4	セキュリティゾーン入口	各1点		○	・	・	測定 5	負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	空気の流れを確認	○	○	・	測定 6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	除じん装置の性能確認	○	○	・	測定 7	処理作業後 (隔離シート撤去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)		○	○	・	測定 8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定 9	処理作業後 (シート撤去後1週間以降)	処理作業室内	各2点		・	・	・	測定 10	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点			測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			ノズル径の直径	25 mm		47 mm	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min	試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法			計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野			計数アスベスト	直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l
測定箇所 ※ 図示			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考																																																																																																																								
レベル1	レベル2	レベル3																																																																																																																													
○	○	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	※各2点 ・ 各3点																																																																																																																									
○	○	・	測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																									
・	・	・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	各2点																																																																																																																									
○	・	・	測定 4		セキュリティゾーン入口	各1点																																																																																																																									
○	・	・	測定 5		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	空気の流れを確認																																																																																																																								
○	○	・	測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	除じん装置の性能確認																																																																																																																								
○	○	・	測定 7	処理作業後 (隔離シート撤去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)																																																																																																																									
○	○	・	測定 8		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																									
・	・	・	測定 9	処理作業後 (シート撤去後1週間以降)	処理作業室内	各2点																																																																																																																									
・	・	・	測定 10		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																									
	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5																																																																																																																												
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																														
ノズル径の直径	25 mm		47 mm																																																																																																																												
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																												
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																																																																												
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法																																																																																																																														
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野																																																																																																																														
計数アスベスト	直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質																																																																																																																														
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																												

4 75㎡以上含有吹き付け材の撤去（レベル1）	<p>アスベスト含有吹き付け材の除去（9.1.3）</p> <p>・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。 除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・セメント固化</p> <p>処理を行う吹き付けアスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示 ・																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示 ・																													
5 75㎡以上含有保温材等の撤去（レベル2）	<p>アスベスト含有保温材の除去（9.1.4）</p> <p>・ 行う 作業上の隔離 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>処理を行う保温材等アスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示 ・																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示 ・																													
6 75㎡以上含有成形板類の撤去（レベル3）	<p>1 アスベスト含有成形板の除去（9.1.5） ・ 行う</p> <p>処理を行うアスベスト成形板の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 非石綿部での切断による除去 ・ 行う</p> <p>処理を行うアスベスト含有物の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）</td> <td></td> <td>※ 図示 ○撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有保温材付配管</td> <td></td> <td>※ 図示 ○撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有配管フランジパッキン</td> <td></td> <td>※ 図示 ○撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ・撤去範囲すべて</td> </tr> </tbody> </table> <p>※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。</p> <p><参考>石綿使用有無の事前調査フロー</p> <pre> graph TD A["(1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査"] --> B["可能性あり・不明"] A --> C["可能性なし"] B --> D["(2) 現場目視による調査 目視調査 (建材の確認)"] D --> E["可能性あり・不明"] D --> C E --> F["分析を実施しない場合"] E --> G["分析を実施する場合"] F --> H["石綿含有とみなす"] F --> I["石綿使用あり・届出要件確認・届出"] G --> J["(3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など"] J --> K["石綿含有0.1%を超えていると判断"] J --> L["石綿含有0.1%以下と判断"] K --> I L --> M["石綿使用なし"] </pre> <p><参考>非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー</p> <ol style="list-style-type: none"> 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2） 成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹き付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。 	材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・		※ 図示 ・	・		※ 図示 ・	・		※ 図示 ・	・		※ 図示 ・	材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて	・ 石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて	・ 石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて			※ 図示 ・撤去範囲すべて
材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・		※ 図示 ・																													
・		※ 図示 ・																													
・		※ 図示 ・																													
・		※ 図示 ・																													
材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて																													
・ 石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて																													
・ 石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて																													
		※ 図示 ・撤去範囲すべて																													

<p><作業フローチャート></p> <p>2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3） 建築物のダクトには、接合部に石綿含有物を使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。</p> <p><作業フローチャート></p> <p>参考図 1 設備機器ダクト接合部の除去方法</p> <p>参考図 2 配管フランジパッキンの除去方法</p> <p>3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル2） 直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。</p> <p><作業フローチャート></p> <p>参考図 3 石綿含有保温材付配管の除去方法</p>	<p>日付</p> <p>記事</p> <p>承認</p> <p>照査</p> <p>設計</p> <p>設計年月日</p> <p>件名 市庁舎長寿命化改修工事</p> <p>図面名 機械設備 特記仕様書 (3)</p> <p>縮尺 A1: N.S A3: N.S</p> <p>M-004</p> <p>一級建築士 第193004号 大形 一朗</p>
--	---

凡 例

記号	名称	施工区分	配管材質【既存】	配管材質【新設】
— —	上水給水管	屋内全般	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VA)	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VB)
		地中埋設	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩ビ管 (HI-VP)	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩ビ管 (HI-VP)
— —	井水給水管	屋内全般	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VA)	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VB)
— —	給湯管(往)	屋内全般	銅管 (M)	一般配管用ステンレス鋼管 (SU)
— —	汚水排水管	屋内全般	コーティング鋼管	耐火二層管
		床下ビット内	コーティング鋼管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— —	雑排水管	屋内全般	配管用炭素鋼管(白)	耐火二層管
		床下ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
		厨房機器温排水	配管用炭素鋼管(白)	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HT)
— —	通気管(既存図)	立管	配管用炭素鋼管(白)	耐火二層管
		横引管	配管用炭素鋼管(白)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— —	通気管(新設図)	立管	配管用炭素鋼管(白)	耐火二層管
		横引管	配管用炭素鋼管(白)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— —	屋外排水管	全般	硬質塩化ビニル管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— —	ポンプアップ排水管	全般	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— —	冷媒配管	全般	冷媒用被覆鋼管	冷媒用難燃性被覆鋼管
— —	ドレン管	床下ビット内・土間	配管用炭素鋼管(白)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
		屋内	配管用炭素鋼管(白)	保温機能付き空調ドレン管
— —	ガス管 (都市ガス)	屋内	配管用炭素鋼管(白)	大東ガス指定材料品
		露出部	配管用炭素鋼管(白)	大東ガス指定材料品
— —	冷温水配管(往)	全般	配管用炭素鋼管(白)	
— —	冷温水配管(還)	全般	配管用炭素鋼管(白)	
— —	膨張管	全般	配管用炭素鋼管(白)	
— —	空調送気ダクト	全般	亜鉛鉄板製	亜鉛鉄板製(板厚は標準仕様書による)
— —	空調送気ダクト	全般	亜鉛鉄板製	亜鉛鉄板製(板厚は標準仕様書による)
— —	外気取入ダクト	全般	亜鉛鉄板製	亜鉛鉄板製(板厚は標準仕様書による)
— —	排気ダクト	全般	亜鉛鉄板製	亜鉛鉄板製(板厚は標準仕様書による)
		厨房排気	亜鉛鉄板製	亜鉛鉄板製(板厚は標準仕様書による)
— —	円形風道	全般	亜鉛鉄板製スパイラルダクト	亜鉛鉄板製スパイラルダクト
— —	ダンパー類		VD:風量調整 FD:防火 MD:モータハンパ SFD:防火兼煙感連動	
— —	送風機		天井吊	

記号	名称	施工区分	材料・備考		
— —	仕切弁		直結給水系統	コア付・ライニング製	JIS-10K
			給水系統	コア付・ライニング製	JIS-5K
			給湯系統	青銅・鑄鉄製	JIS-10K
			その他	青銅・鑄鉄製	JIS-5K
— —	逆止弁		給水系統	コア付・ライニング製	JIS-10K
			給湯系統	青銅・鑄鉄製	JIS-10K
			その他	青銅・鑄鉄製	JIS-10K
— —	自動エア抜弁		ステンレス製		
— —	Y形ストレーナ		給水系統	コア付・ライニング製	JIS-10K
			給湯系統	青銅・鑄鉄製	JIS-10K
			その他	青銅・鑄鉄製	JIS-10K
— —	温度計				
— —	圧力計				
— —	防振継手	ポンプ廻り	合成ゴム製		
— —	フレキシブル継手		FRP水槽廻り	合成ゴム製	
			その他	ステンレス製ベローズ形	

機器表

記号	機器名称	機器仕様	台数	電動機			設置場所		備考 【既存機器型番】	
				相(φ)	電圧(V)	容量(KW)	起動	階		室名
HP-1	チラーユニット	機器型式 空冷ヒートポンプ式 100 HP 冷房能力 265.0 kW 暖房能力 300.0 kW 冷水温度 12-7℃ 温水温度 40-45℃ 冷温水量 760 L/MIN 附属品 スプリング防振架台, 屋外フード, 制御盤 冷媒 R-134a	2	3	400	COMP 37.0x2 FAN 0.55x8	L-S	1	屋外機置場	タ`イキン UWYD-2360F5C 寸法 5.2x2.0x2.4H 重量 4.100kg
HP-2	チラーユニット	機器型式 空冷ヒートポンプ式 50 HP 冷房能力 106.0 kW 暖房能力 118.0 kW 冷水温度 12-7℃ 温水温度 40-45℃ 冷温水量 304 L/MIN 附属品 スプリング防振架台, 屋外フード, 制御盤 冷媒 R-134a	1	3	400	COMP 30.0 FAN 0.55x4	L-S	1	屋外機置場	タ`イキン UWYD-1180F5C 寸法 2.6x2.0x2.4H 重量 2.050kg
HP-3	チラーユニット	機器型式 空冷ヒートポンプ式 100 HP 冷房能力 265.0 kW 暖房能力 265.0 kW 冷水温度 12-7℃ 温水温度 40-45℃ 冷温水量 760 L/MIN 附属品 スプリング防振架台, 屋外フード, 制御盤 冷媒 R-134a	1	3	400	COMP 37.0x2 FAN 1.0x8	L-S	1	屋外機置場	タ`イキン 寸法 5.2x2.0x2.4H 重量 4.202kg
PCH-1	冷温水ポンプ (1次)	機器型式 片吸込渦巻形 口径 100 φ 水量 1,680 L/MIN 揚程 32 M 附属品 スプリング防振架台, 標準附属品一式	1	3	200	15.0	L-S	B1	庁舎棟機械室	川本 GEM-1005M-4M 寸法 重量
PCH-2	冷温水ポンプ (地階系統)	機器型式 片吸込渦巻形 口径 50x40 φ 水量 230 L/MIN 揚程 23 M 附属品 スプリング防振架台, 標準附属品一式	1	3	200	2.2	L-S	B1	庁舎棟機械室	川本 GEL-50x405M-4M2 寸法 重量
PCH-3	冷温水ポンプ (3階~5階系統) AHU	機器型式 片吸込渦巻形 口径 65x50 φ 水量 390 L/MIN 揚程 44 M 附属品 スプリング防振架台, 標準附属品一式	1	3	200	5.5	L-S	B1	庁舎棟機械室	川本 GEK655M2ME 寸法 重量
PCH-4	冷温水ポンプ (3階~5階系統) FCU	機器型式 片吸込渦巻形 口径 100 φ 水量 1,100 L/MIN 揚程 40 M 附属品 スプリング防振架台, 標準附属品一式	1	3	200	15.0	L-S	B1	本館棟機械室	川本 寸法 重量
PCH-5	冷温水ポンプ (1階, 2階系統)	機器型式 片吸込渦巻形 口径 100 φ 水量 1,230 L/MIN 揚程 16 M 附属品 スプリング防振架台, 標準附属品一式	1	3	200	11.0	L-S	B1	庁舎棟機械室	川本 寸法 重量
PCH-6	冷温水ポンプ (議場系統)	機器型式 片吸込渦巻形 口径 65x50 φ 水量 230 L/MIN 揚程 24 M 附属品 スプリング防振架台, 標準附属品一式	1	3	200	3.7	L-S	B1	庁舎棟機械室	川本 GEK655M4ME 寸法 重量
PCH-11	冷温水ポンプ (HP-3)	機器型式 片吸込渦巻形 口径 80x65 φ 水量 790 L/MIN 揚程 15 M 附属品 スプリング防振架台, 標準附属品一式	1	3	200	5.5	L-S	B1	庁舎棟機械室	テラル SJ4-80x65K55.5 寸法 重量

記号	機器名称 (機器使用室)	機器仕様	台数	電動機			設置場所		備考 【既存機器型番】	
				相(φ)	電圧(V)	容量(KW)	起動	階		室名
HCHS-1	冷温水サフ`ライヘッ`	機器型式 鋼管製 寸法 250φ x 5,000 L 最高使用圧力 0.9 MPa 附属品 形鋼製 壁面取付架台	1	-	-	-	-	B1	庁舎 機械室	
HCHR-1	冷温水 レタンヘッ`	機器型式 鋼管製 寸法 250φ x 2,840 L 最高使用圧力 0.9 MPa 附属品 形鋼製 700H	1	-	-	-	-	B1	庁舎 機械室	
EXT-1	膨張タンク	機器型式 鋼板製密閉式 膨張容量 55 L 最高使用圧力 0.8 MPa 寸法 附属品 標準附属品共	1	-	-	-	-	B1	庁舎棟機械室	ホ`コス BFA-30N
AHU-1	1.2階南系統空調機	機器型式 横形ハンド`リンク`ユニット(インバ`タ) 送風量 49,500 m3/H 機外静圧 650 Pa 冷房能力 196,000 Kcal/H 暖房能力 230,000 Kcal/H 冷温水量 660 L/MIN コイル列数 8 列 プレ`フィルター 重量法 70% フィルター 比色法 65% 加湿器 水スプレー 加湿量 119.0 Kg/H 附属品 ミキシング`ホ`ックス, マリンラン`	1	3	200	30.0	L-S	B1	庁舎棟機械室	タ`イキン 寸法 3.77x3.55x1.845H 重量 2.932kg
AHU-2	1.2階北系統空調機	機器型式 横形ハンド`リンク`ユニット(インバ`タ) 送風量 34,600 m3/H 機外静圧 650 Pa 冷房能力 137,000 Kcal/H 暖房能力 184,000 Kcal/H 冷温水量 460 L/MIN コイル列数 8 列 プレ`フィルター 重量法 70% フィルター 比色法 65% 加湿器 水スプレー 加湿量 84.0 Kg/H 附属品 ミキシング`ホ`ックス, マリンラン`	1	3	200	22.0	L-S	B1	庁舎棟機械室	タ`イキン 寸法 3.77x2.9x1.72H 重量 2.721kg
AHU-3	地階食堂用空調機	機器型式 立形ハンド`リンク`ユニット 送風量 3,000 m3/H 機外静圧 400 Pa 冷房能力 32,000 Kcal/H 暖房能力 24,700 Kcal/H 冷温水量 210 L/MIN コイル列数 8 列 プレ`フィルター 重量法 70% フィルター 比色法 65% 加湿器 自然蒸発式 加湿量 10.0 Kg/H 附属品 ミキシング`ホ`ックス, マリンラン`	1	3	200	2.2	L-S	B1	庁舎食堂機械室	新晃工業 15V 寸法 重量
AHU-4	2階議場系統空調機	機器型式 横形ハンド`リンク`ユニット(インバ`タ) 送風量 15,200 m3/H 機外静圧 650 Pa 冷房能力 60,500 Kcal/H 暖房能力 76,000 Kcal/H 冷温水量 254 L/MIN コイル列数 8 列 プレ`フィルター 重量法 70% フィルター 比色法 65% 加湿器 水スプレー 加湿量 40.0 Kg/H 附属品 ミキシング`ホ`ックス, マリンラン`	1	3	200	11.0	L-S	3	議場棟機械室	タ`イキン 寸法 2.12x3.50x1.31H 重量 1.530kg
AHU-5	3階~5階用空調機	機器型式 横形ハンド`リンク`ユニット(インバ`タ) 送風量 15,300 m3/H 機外静圧 750 Pa 冷房能力 106,000 Kcal/H 暖房能力 104,000 Kcal/H 冷温水量 350 L/MIN コイル列数 8 列 プレ`フィルター 重量法 70% フィルター 比色法 65% 加湿器 水スプレー 加湿量 33.0 Kg/H 附属品 ミキシング`ホ`ックス, マリンラン`	1	3	200	7.5	L-S	PH1	庁舎棟機械室	新晃工業 15V 寸法 2.12x3.50x1.31H 重量 1.530kg

撤去機器を示す

【注記】

- フロン回収、運搬、破壊処理を適切に実施すること

機 器 表

記 号	機 器 名 称 (機器使用室)	機 器 仕 様	台 数	電 動 機				設 置 場 所		備 考 【既存機器型番】
				相 (φ)	電 圧 (V)	容 量 (KW)	起 動 階	室 名		
HY - 1	加 湿 器	機器型式 壁掛形 蒸気発生器 加湿量 37.5 Kg/H 附 属 品	1	3	200	28.0	L-S	2	議場機械室	
FIH - 4	ファンコイルユニット	機器型式 床置隠ぺい形 形 番 SF-R-400 冷房能力 1,510 Kcal/H 暖房能力 2,380 Kcal/H 附 属 品 調整弁, 吹出口	20	1	100	0.1	L-S	3 3 4 5	事務室 x5 会議室 x1 事務室 x6 事務室 x6 503会議室 x3	新異工業 寸法 0.708x0.126x0.602H
FIH - 6	ファンコイルユニット	機器型式 床置隠ぺい形 形 番 SF-R-600 冷房能力 3,330 Kcal/H 暖房能力 4,710 Kcal/H 附 属 品 調整弁, 吹出口	26	1	100	0.1	L-S	3 3 4 5	事務室 x2 サーバー室 x3 会議室 x3 事務室 x6 事務室 x12	新異工業 寸法 1.008x0.126x0.602H
FIH - 8	ファンコイルユニット	機器型式 床置隠ぺい形 形 番 SF-R-800 冷房能力 4,450 Kcal/H 暖房能力 4,630 Kcal/H 附 属 品 調整弁, 吹出口	20	1	100	0.1	L-S	3 4 4 5	事務室 x6 事務室 x4 教育長室 x1 会議室 x5 事務室 x4	新異工業 寸法 1.443x0.126x0.602H
FRH - 4	ファンコイルユニット	機器型式 床置露出形 形 番 SF-R-400 冷房能力 1,510 Kcal/H 暖房能力 2,380 Kcal/H 冷温水量 8 L/MIN 附 属 品 制御弁, 温度調節器	2	1	100	0.1	L-S	B1 B1	倉庫 技師控室	新異工業 寸法 1.15x0.23x0.63H
FRH - 6	ファンコイルユニット	機器型式 床置露出形 形 番 SF-R-600 冷房能力 3,330 Kcal/H 暖房能力 4,710 Kcal/H 冷温水量 8 L/MIN 附 属 品 制御弁, 温度調節器	2	1	100	0.1	L-S	B1 B1	女子更衣室 事務室	新異工業 寸法 1.405x0.23x0.63H
FRH - 8	ファンコイルユニット	機器型式 床置露出形 形 番 SF-R-800 冷房能力 4,450 Kcal/H 暖房能力 4,630 Kcal/H 冷温水量 8 L/MIN 附 属 品 制御弁, 温度調節器	2	1	100	0.1	L-S	B1 B1	女子厚生室 男子厚生室	新異工業 寸法 1.78x0.23x0.63H

記 号	機 器 名 称 (機器使用室)	機 器 仕 様	台 数	電 動 機				設 置 場 所		備 考 【既存機器型番】
				相 (φ)	電 圧 (V)	容 量 (KW)	起 動 階	室 名		
PAC - 1	マルチ形屋外機 (議会棟事務室-1)	機器型式 高効率冷暖房切替型 冷房能力 84.0 kW 暖房能力 94.5 kW 附 属 品 スプリング防振架台, 連結配管キット コンクリート基礎 (建築工事)	1	3	200	32.7 28.7	L-S	1	屋外テラス置場	タ'イキン REYJ840KC 寸法 1.28x0.69x1.44H-3台 重量 240kg
PAC - 1-1	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 附 属 品 ロングライフフィルター, ト'レンアップ' メカ, リモコンスイッチ 防振吊金物	11	1	200	95 W 79 W	L-S	2	議員控室	FXFYJ56KD 寸法 0.86x0.86x0.32H
PAC - 1-2	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 2.8 kW 暖房能力 3.2 kW 附 属 品 ロングライフフィルター, ト'レンアップ' メカ, リモコンスイッチ 防振吊金物	2	1	200	95 W 79 W	L-S	2	廊下	FXFYJ28KD 寸法 0.86x0.86x0.32H
PAC - 2	マルチ形屋外機 (議会棟事務室-2)	機器型式 高効率冷暖房切替型 冷房能力 84.0 kW 暖房能力 94.5 kW 附 属 品 スプリング防振架台, 連結配管キット コンクリート基礎 (建築工事)	1	3	200	32.7 28.7	L-S	1	屋外テラス置場	タ'イキン REYJ840KC 寸法 1.28x0.69x1.44H-3台 重量 240kg
PAC - 2-1	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 2.8 kW 暖房能力 3.2 kW 附 属 品 ロングライフフィルター, ト'レンアップ' メカ, リモコンスイッチ 防振吊金物	3	1	200	95 W 79 W	L-S	2	廊下	FXFYJ28KD 寸法 0.86x0.86x0.32H
PAC - 2-2	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4.0 kW 附 属 品 ロングライフフィルター, ト'レンアップ' メカ, リモコンスイッチ 防振吊金物	1	1	200	95 W 79 W	L-S	2	図書室	FXFYJ36KD 寸法 0.86x0.86x0.32H
PAC - 2-3	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW 附 属 品 ロングライフフィルター, ト'レンアップ' メカ, リモコンスイッチ 防振吊金物	1	1	200	95 W 79 W	L-S	2	記者室	FXFYJ45KD 寸法 0.86x0.86x0.32H
PAC - 2-4	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 附 属 品 ロングライフフィルター, ト'レンアップ' メカ, リモコンスイッチ 防振吊金物	8	1	200	95 W 79 W	L-S	2 2 2	応接室 x2 正副議長室 x3 議会事務局 x3	FXFYJ56KD 寸法 0.86x0.86x0.32H

■ : 撤去機器を示す

【注記】

- フロン回収、運搬、破壊処理を適切に実施すること

機器表

記号	機器名称 (機器使用室)	機器仕様	台数	電動機				設置場所		備考 【参考型番】
				相 (φ)	電圧 (V)	容量 (kW)	起動	階	室名	
ACP - N1	マルチ形屋外機 (3階北側系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 冷房能力 56.0 kW 暖房能力 63.0 kW 附属品 スプリング防振架台、連結配管キット、 コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 17.3 暖房 21.3	L-S	R 本館棟屋上	ダikin RXYP560FC	
ACP - S1	マルチ形屋外機 (3階南側系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 冷房能力 56.0 kW 暖房能力 63.0 kW 附属品 スプリング防振架台、連結配管キット、 コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 17.3 暖房 21.3	L-S	R 本館棟屋上	ダikin RXYP560FC	
ACP - N2	マルチ形屋外機 (4階北側系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 冷房能力 61.5 kW 暖房能力 69.0 kW 附属品 スプリング防振架台、連結配管キット、 コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 21.8 暖房 25.7	L-S	R 本館棟屋上	ダikin RXYP615FC	
ACP - S2	マルチ形屋外機 (4階南側系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 冷房能力 67.0 kW 暖房能力 77.5 kW 附属品 スプリング防振架台、連結配管キット、 コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 19.8 暖房 26.9	L-S	R 本館棟屋上	ダikin RXYP670FC	
ACP - N3	マルチ形屋外機 (5階北側系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 冷房能力 67.0 kW 暖房能力 77.5 kW 附属品 スプリング防振架台、連結配管キット、 コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 19.8 暖房 26.9	L-S	R 本館棟屋上	ダikin RXYP670FC	
ACP - S3	マルチ形屋外機 (5階南側系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 冷房能力 61.5 kW 暖房能力 69.0 kW 附属品 スプリング防振架台、連結配管キット、 コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 21.8 暖房 25.7	L-S	R 本館棟屋上	ダikin RXYP615FC	
ACP - N4	パッケージエアコン屋外機 (3階開発室)	機器型式 高効率冷暖房切替型 冷房能力 4.0 kW 暖房能力 4.5 kW 附属品 スプリング防振架台 コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 0.97 暖房 1.10	L-S	R 本館棟屋上	ダikin SSRG45C	
ACP - S4	パッケージエアコン屋外機 (3階放送室)	機器型式 高効率冷暖房切替型 冷房能力 10.0 kW 暖房能力 11.2 kW 附属品 スプリング防振架台 コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 2.65 暖房 2.60	L-S	R 本館棟屋上	ダikin RSRP112C	
CP - 1	集中コントローラー	型式 壁掛形タッチパネル式 (64ヶループ制御(室内機最大128台)) 機器仕様 集中管理機能、遠隔制御機能、保守管理機能、自動制御機能	1	1	100	0.019	L-S	B1 技師控室		

記号	機器名称 (機器使用室)	機器仕様	台数	電動機				設置場所		備考 【参考型番】
				相 (φ)	電圧 (V)	容量 (kW)	起動	階	室名	
PAC - 11	パッケージエアコン (1階出納室用)	機器型式 ツイン形ヒートポンプエアコン 冷房能力 20.0 kW 暖房能力 22.4 kW 室内機 天吊露出自在形ワンダ 附属品 : 室内機 ワイヤードリモコン : 屋外機 壁掛ブラケット取付	1	3	200	冷房 7.42 暖房 8.55	L-S	B1 庁舎 トライエリア 1 出納室	ダikin RZYJ224J 寸法 170kg 重量 1.28x0.69x1.22H 室内機 寸法 31kg 重量 0.895x0.895x0.23H	
PAC - 12	パッケージエアコン (1階国民健康保険係)	機器型式 ツイン形ヒートポンプエアコン 冷房能力 20.0 kW 暖房能力 22.4 kW 室内機 天吊露出自在形ワンダ 附属品 : 室内機 ワイヤードリモコン : 屋外機 壁掛ブラケット取付	1	3	200	冷房 7.42 暖房 8.55	L-S	B1 庁舎 トライエリア 1 国民健康保険係	ダikin RZYJ224J 寸法 170kg 重量 1.28x0.69x1.22H 室内機 寸法 31kg 重量 0.895x0.895x0.23H	
PAC - 13	パッケージエアコン (1階国民年金係)	機器型式 ツイン形ヒートポンプエアコン 冷房能力 20.0 kW 暖房能力 22.4 kW 室内機 天吊露出自在形ワンダ 附属品 : 室内機 ワイヤードリモコン : 屋外機 壁掛ブラケット取付	1	3	200	冷房 7.42 暖房 8.55	L-S	B1 庁舎 トライエリア 1 国民年金係	ダikin RZYJ224J 寸法 170kg 重量 1.28x0.69x1.22H 室内機 寸法 31kg 重量 0.895x0.895x0.23H	
PAC - 14	パッケージエアコン (1階市民課)	機器型式 ツイン形ヒートポンプエアコン 冷房能力 25.0 kW 暖房能力 28.0 kW 室内機 天吊露出自在形ワンダ 附属品 : 室内機 木台 : 屋外機 防振ゴム コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 9.25 暖房 9.22	L-S	1 庁舎 屋外 1 総合窓口課	ダikin RZYJ280L 寸法 225kg 重量 1.28x0.69x1.44H 室内機 寸法 47kg 重量 0.895x0.895x0.23H	
PAC - 15	パッケージエアコン (1階市民ホール)	機器型式 ツイン形ヒートポンプエアコン 冷房能力 25.0 kW 暖房能力 28.0 kW 室内機 床置露出形 附属品 : 室内機 ワイヤードリモコン : 屋外機 防振ゴム コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 9.25 暖房 9.22	L-S	1 本館棟屋外 1 市民ホール	ダikin RZYJ280L 寸法 225kg 重量 1.28x0.69x1.44H 室内機 寸法 31kg 重量 0.60x0.35x1.85H	
PAC - 16	パッケージエアコン (1階玄関ホール)	機器型式 インバータ形ヒートポンプエアコン 冷房能力 25.0 kW 暖房能力 28.0 kW 室内機 天井埋込ダクト形 附属品 : 室内機 ワイヤードリモコン : 屋外機 防振ゴム コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 9.28 暖房 9.30	L-S	1 庁舎 屋外 1 玄関ホール	ダikin RYYJ280LA 寸法 225kg 重量 1.28x0.69x1.44H 室内機 寸法 137kg 重量 1.38x1.10x0.47H	
PAC - 17	パッケージエアコン (1階事務室)	機器型式 ヒートポンプエアコン 冷房能力 12.5 kW 暖房能力 14.0 kW 室内機 天吊露出 附属品 : 室内機 ワイヤードリモコン : 屋外機 壁掛ブラケット取付	1	3	200	冷房 4.13 暖房 4.29	L-S	B 庁舎 トライエリア 1 事務室	ダikin RYP140B 寸法 99kg 重量 0.88x0.32x1.215H 室内機 寸法 31kg 重量 1.50x0.63x0.0.25H	
PAC - 21	パッケージエアコン (2階事務室)	機器型式 ヒートポンプエアコン 冷房能力 20.0 kW 暖房能力 22.4 kW 室内機 天吊露出自在形ワンダ 附属品 : 室内機 ワイヤードリモコン : 屋外機 壁掛ブラケット取付	1	3	200	冷房 7.42 暖房 8.55	L-S	B 庁舎 トライエリア 2 事務室	ダikin RZYJ224J 寸法 170kg 重量 1.28x0.69x1.22H 室内機 寸法 31kg 重量 0.895x0.895x0.23H	
PAC - 22	パッケージエアコン (2階事務室)	機器型式 ヒートポンプエアコン 冷房能力 12.5 kW 暖房能力 14.0 kW 室内機 天吊露出 附属品 : 室内機 ワイヤードリモコン : 屋外機 壁掛ブラケット取付	1	3	200	冷房 4.13 暖房 4.29	L-S	B 庁舎 トライエリア 2 事務室	三菱重工 FDCP1401H 寸法 99kg 重量 0.88x0.32x1.215H 室内機 寸法 31kg 重量 1.50x0.63x0.25H	

■ : 撤去機器を示す

【注記】

- フロン回収、運搬、破壊処理を適切に実施すること

機器表

記号	機器名称 (機器使用室)	機器仕様	台数	電動機				設置場所		備考 【参考型番】
				相 (φ)	電圧 (V)	容量 (KW)	起動 階	室名		
RAC - 1	ルームエアコン (地下1階技師控室)	機器型式 ヒートポンプエアコン 冷房能力 2.5 kW 暖房能力 2.8 kW 室内機 壁掛形 附属品 : 室内機 ワイヤレスリモコン : 屋外機 壁掛ブラケット取付	1	1	100	冷房 0.635 暖房 0.700	L-S	B 庁舎 トライエリア B 技師控室	ダikin R25UES 寸法 22kg 重量 0.675x0.284x0.65H 室内機 寸法 18kg 重量 0.77x0.233x0.285H	
RAC - 2	ルームエアコン (1階宿直室)	機器型式 ヒートポンプエアコン 冷房能力 2.5 kW 暖房能力 2.8 kW 室内機 壁掛形 附属品 : 室内機 ワイヤレスリモコン : 屋外機 壁掛ブラケット取付	1	1	100	冷房 0.635 暖房 0.700	L-S	B 庁舎 トライエリア 1 宿直室	ダikin R25UES 重量 22kg 寸法 0.675x0.284x0.65H 室内機 重量 18kg 寸法 0.77x0.233x0.285H	
RAC - 3	ルームエアコン (1階守衛室)	機器型式 ヒートポンプエアコン 冷房能力 2.5 kW 暖房能力 2.8 kW 室内機 壁掛形 附属品 : 室内機 ワイヤレスリモコン : 屋外機 壁掛ブラケット取付	1	1	100	冷房 0.635 暖房 0.700	L-S	B 庁舎 トライエリア 1 守衛室	ダikin R25UES 重量 22kg 寸法 0.675x0.284x0.65H 室内機 重量 18kg 寸法 0.77x0.233x0.285H	
RAC - 4	ルームエアコン (1階市民相談室)	機器型式 ヒートポンプエアコン 冷房能力 2.2 kW 暖房能力 2.2 kW 室内機 壁掛形 附属品 : 室内機 ワイヤレスリモコン : 屋外機 防振ゴム	1	1	100	冷房 0.445 暖房 0.390	L-S	1 屋外 1 市民相談室	パナソニック CU-22TB 重量 19.5kg 寸法 0.655x0.275x0.53H 室内機 重量 7.5kg 寸法 0.799x0.189x0.28H	
RAC - 5	ルームエアコン (1階相談コーナー)	機器型式 ヒートポンプエアコン 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4.8 kW 室内機 天井カセット形 附属品 : 室内機 ワイヤレスリモコン、パネル : 屋外機 防振ゴム、既製品基礎	1	1	100	冷房 1.410 暖房 1.020	L-S	1 屋外 1 相談コーナー	ダikin R36ZCV 重量 38kg 寸法 0.795x0.30x0.61H 室内機 重量 13kg 寸法 0.88x0.658x0.215H	
THEX - 1	全熱交換器 (庁舎棟3階~5階)	機器型式 床置形 風量 15,300 m3/H 附属品 ギャモータ	1	1	200	0.2	L-S	PH1 庁舎 機械室		
THEX - 2	全熱交換器 (議場用)	機器型式 天吊形 風量 2,700 m3/H 附属品 ギャモータ	1	1	200	0.1	L-S	3 議場 機械室		
THEX - 3	全熱交換器 (議会事務室用)	機器型式 床置ユニット形 風量 2,400 m3/H 静圧 400 Pa 附属品 スイッチボックス	1	1	200	2.2x2	L-S	2 議場 機械室	ダikin VLV3500ATR 重量 440kg 寸法 1.56x1.17x1.755H	

記号	機器名称 (機器使用室)	機器仕様	台数	電動機				設置場所		備考 【参考型番】
				相 (φ)	電圧 (V)	容量 (KW)	起動 階	室名		
SF - 1	機械室送風機	機器型式 天吊形片吸込シロッコファン 型番 SS.3 風量 9,000 m3/H 静圧 250 Pa 附属品 スプリング防振架台	1	3	200	3.7	L-S	B 庁舎棟機械室		
EF - 1	機械室排風機	機器型式 天吊形片吸込シロッコファン 型番 SS.3 風量 9,000 m3/H 静圧 250 Pa 附属品 スプリング防振架台	1	3	200	3.7	L-S	B 庁舎棟機械室		
EF - 2	庁舎棟排風機 (3F~5F)	機器型式 床置形片吸込シロッコファン 型番 SS.4 風量 16,700 m3/H 静圧 400 Pa 附属品 スプリング防振架台	1	3	200	7.5	L-S	PH2 庁舎棟機械室		
EF - 3	庁舎棟便所排風機	機器型式 床置形片吸込シロッコファン 型番 SS.2 1/2 風量 3,960 m3/H 静圧 240 Pa 附属品 スプリング防振架台	1	3	200	1.5	L-S	PH1 庁舎棟機械室		
EF - 4	庁舎棟湯沸室排風機	機器型式 床置形片吸込シロッコファン 型番 SS.1 1/2 風量 2,220 m3/H 静圧 250 Pa 附属品 スプリング防振架台	1	3	200	1.5	L-S	PH1 庁舎棟機械室		
EF - 5	庁舎棟厨房排風機	機器型式 床置形片吸込シロッコファン 型番 SS.3 風量 10,130 m3/H 静圧 500 Pa 附属品 スプリング防振架台	1	3	200	5.5	L-S	PH1 庁舎棟機械室		
EF - 6	議会棟排風機	機器型式 天吊形片吸込シロッコファン 型番 SS.1 1/2 風量 1,750 m3/H 静圧 270 Pa 附属品 スプリング防振架台	1	3	200	0.75	L-S	3 議場棟機械室		
VF - 1	天井換気扇	機器型式 低騒音形 風量 210 m3/H 静圧 100 Pa 附属品 取付金具	2	1	100	0.1	L-S	2 男子便所 女子便所		
VF - 2	天井換気扇	機器型式 低騒音形 風量 250 m3/H 静圧 100 Pa 附属品 取付金具	1	1	100	0.1	L-S	2 湯沸室		
HXF - 1	全熱交換形換気扇	機器型式 壁掛形 風量 100 m3/H 附属品 スイッチ	1	1	100	40W	L-S	1 市民相談室	三菱電機 V-1300 515x265x309H	

■ : 撤去機器を示す
【注記】
1. フロン回収、運搬、破壊処理を適切に実施すること

機 器 表

記 号	機 器 名 称 【系統名】	機 器 仕 様	台 数	電 動 機			設 置 場 所		備 考 【参考型番】
				相 (φ)	電 圧 (V)	容 量 (KW)	圧縮機	階 室 名	
MACP - N1	マルチ形屋外機 (1階北側系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 (ハイグレード高COPタイプ) 冷房能力 56.0 kW 暖房能力 63.0 kW 附 属 品 スプリング防振架台(減震機構)、連結配管キット、 アクティブフィルター 使用冷媒 R-32 冷媒量 5.6+7.0 kg コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 13.6 暖房 13.3	7.05 + 4.77	B1 トリエリア	【RXHA560A】 機器重量 331kg+269kg 外形寸法 1750x765x1660H 1240x765x1660H 冷媒配管 12.7φ+ 25.4φ
MACP-N1-1	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	3	1	200	冷房 43 W 暖房 38 W		1 101 会議室 x2 1 通路	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-N1-2	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	5	1	200	冷房 72 W 暖房 68 W		1 1 出納室 x2 1 事務室 x3	冷媒配管 9.52φ+ 15.88φ
MACP-N1-3	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 2.8 kW 暖房能力 3.2 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	1	1	200	冷房 28 W 暖房 24W		1 1 出納室	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP - S1	マルチ形屋外機 (1階南側系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 (ハイグレード高COPタイプ) 冷房能力 61.5 kW 暖房能力 69.0 kW 附 属 品 スプリング防振架台(減震機構)、連結配管キット、 アクティブフィルター 使用冷媒 R-32 冷媒量 7.0+6.4 kg コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 15.3 暖房 14.9	7.05 + 6.50	B1 トリエリア	【RXHA615A】 機器重量 331kg+331kg 外形寸法 1750x765x1660H 1750x765x1660H 冷媒配管 12.7φ+ 25.4φ
MACP-S1-1	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	3	1	200	冷房 43 W 暖房 38 W		1 1 事務室 (SW) x3	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-S1-2	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 耐震用振止吊金物	6	1	200	冷房 72 W 暖房 68 W		1 1 事務室 (S) x5 1 通路	冷媒配管 9.52φ+ 15.88φ
MACP - H1	マルチ形屋外機 (1階ホール系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 (ハイグレード高COPタイプ) 冷房能力 100.0 kW 暖房能力 112.0 kW 附 属 品 スプリング防振架台(減震機構)、連結配管キット、 アクティブフィルター 使用冷媒 R-32 冷媒量 7.0x3 kg コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 24.1 暖房 23.7	6.98 x 3	3 1 庁舎棟屋上	【RXHA1000A】 機器重量 331kgx3 外形寸法 1750x765x1660H x3 冷媒配管 15.88φ+ 31.75φ
MACP-H1-1	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	7	1	200	冷房 72 W 暖房 68 W		1 1 事務室	冷媒配管 9.52φ+ 15.88φ
MACP-H1-2	マルチ形室内機	機器型式 天井埋込ダクト形 冷房能力 28.0 kW 暖房能力 31.5 kW 送 風 量 4,800 m3/H 機外静圧 235 Pa 附 属 品 標準フィルター(オートリフト)、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	1	1	200	冷房 1,350 W 暖房 1,350 W		1 1 相談室(天井内)	機器重量 143kg 外形寸法 1380x1100x470H 冷媒配管 9.52φ+ 22.22φ
MACP-H1-3	マルチ形室内機	機器型式 床置直吹形 冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW 送 風 量 2,700 m3/H 機外静圧 30 Pa 附 属 品 標準フィルター、リモコンカバー、プレナムチャンパ(吹出グリル共)、木台 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	2	3	200	冷房 0.35 暖房 0.35		1 1 市民ホール	機器重量 140kg 外形寸法 750x510x1670H 冷媒配管 9.52φ+ 15.88φ

記 号	機 器 名 称 【系統名】	機 器 仕 様	台 数	電 動 機			設 置 場 所		備 考 【参考型番】
				相 (φ)	電 圧 (V)	容 量 (KW)	圧縮機	階 室 名	
MACP - N2	マルチ形屋外機 (2階北側系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 (ハイグレード高COPタイプ) 冷房能力 77.5 kW 暖房能力 90.0 kW 附 属 品 スプリング防振架台(減震機構)、連結配管キット、 アクティブフィルター 使用冷媒 R-32 冷媒量 7.0+5.6x2 kg コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 18.8 暖房 19.2	4.95x2 + 7.28	B1 トリエリア	【RXHA775A】 機器重量 269kgx2+331kg 外形寸法 1750x765x1660H 1240x765x1660H-2 冷媒配管 15.88φ+ 28.58φ
MACP-N2-1	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	4	1	200	冷房 72 W 暖房 68 W		2 2 事務室 (N)	冷媒配管 9.52φ+ 15.88φ
MACP-N2-2	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	3	1	200	冷房 43 W 暖房 38 W		2 2 事務室 (NW) x3	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-N2-3	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW 附 属 品 標準フィルター、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 漏洩遮断弁+検知警報器 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	2	1	200	冷房 37 W 暖房 33 W		2 2 廊下 x2	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-N2-4	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 8.0 kW 暖房能力 9.0 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	2	1	200	冷房 86 W 暖房 81 W		2 2 事務室 (W)	冷媒配管 9.52φ+ 15.88φ
MACP - S2	マルチ形屋外機 (1階南側系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 (ハイグレード高COPタイプ) 冷房能力 67.0 kW 暖房能力 77.5 kW 附 属 品 スプリング防振架台(減震機構)、連結配管キット、 アクティブフィルター 使用冷媒 R-32 冷媒量 7.0+7.0 kg コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 16.2 暖房 16.9	9.29 + 9.29	B1 トリエリア	【RXHA670A】 機器重量 331kg+331kg 外形寸法 1750x765x1660H 1750x765x1660H 冷媒配管 15.88φ+ 28.58φ
MACP-S2-1	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	6	1	200	冷房 43 W 暖房 38 W		2 2 事務室 (SW) x3 2 議場図書室 x2 2 通路	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-S2-2	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遮断弁ユニット、耐震用振止吊金物	4	1	200	冷房 72 W 暖房 68 W		2 2 事務室 (S) x3 2 通路	冷媒配管 9.52φ+ 15.88φ

- 注記： 1. 空調機器の冷房、暖房能力は JIS B 8616 の条件での数値である。
2. 電気容量は参考値とする。
3. グリーン購入法調達適合品とする。
4. 天井カセット形室内機の化粧パネルはセンシング機能付
5. リモコンスイッチはワイヤード形

機 器 表

記号	機器名称 【系統名】	機 器 仕 様	台数	電 動 機				設 置 場 所		備 考 【参考型番】
				相 (φ)	電 圧 (V)	容 量 (KW)	圧縮機	階	室 名	
ACP - C1	パッケージエアコン (1.2階庁舎系統)	機器型式 設備用床置ダクト形 使用冷媒 R-410A 冷房能力 100.0 kW 暖房能力 112.0 kW 送風量 20,400 m ³ /H 機外静圧 500 Pa 加湿器 気化式 加湿量 28.0 Kg/H 室内機 標準フィルター、リモコンスイッチ、スフリング防振架台 分割搬入：機械室で組立据付 屋外機 スプリング防振架台(減震機構)、連結配管キット、アクティブフィルター	1	3	200	7.46x4	【屋外機】 B1 トライエリア	【SZVYP1120NB】 機器重量 室内機 650kg 屋外機 213kg x4 外形寸法 室内機 1960x1200x1876H 屋外機 930x765x1660H 冷媒配管 15.88φ+28.58φ 消費電力：冷房 37.9kW 暖房 36.2kW		
ACP - C2	外気処理エアコン (3~5階庁舎系統)	機器型式 設備用床置ダクト形 使用冷媒 R-410A 冷房能力 134.0 kW 暖房能力 112.0 kW 送風量 12,500 m ³ /H 機外静圧 330 Pa 加湿器 気化式 加湿量 28.0 Kg/H 室内機 標準フィルター、リモコンスイッチ、スフリング防振架台 分割搬入：機械室で組立据付 屋外機 スプリング防振架台(減震機構)、連結配管キット、アクティブフィルター	1	3	200	7.46x4	【屋外機】 3 庁舎棟屋上 【室内機】 R 機械室	【SZVYP1120NB】 機器重量 室内機 650kg 屋外機 213kg x4 外形寸法 室内機 1960x1200x1876H 屋外機 930x765x1660H 冷媒配管 15.88φ+28.58φ 消費電力：冷房 37.9kW 暖房 36.2kW		
CP - C1	集中コントローラ	機器型式 壁掛形 タッチパネル式 管理台数 最大64ヶループ 128 台 制御内容 スケジュール制御、一括運転/停止、設定温度、消し忘れ防止 ITMPラスタブター、エンジンアラーム設定	1	1	100	0.1	B1 事務室	DCL401B1		

記号	機器名称 【系統名】	機 器 仕 様	台数	電 動 機				設 置 場 所		備 考 【参考型番】
				相 (φ)	電 圧 (V)	容 量 (KW)	圧縮機	階	室 名	
ACP - C3	パッケージエアコン (食堂)	機器型式 ツインタイプ 室内機 天井カセット形 冷房能力 20.0 kW 暖房能力 22.4 kW 附属品：室内機 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遠方操作アダプター ：屋外機 防振ゴム、壁面取付ブラケット	1	3	200	4.61	【屋外機】 B1 トライエリア 【室内機】 B1 食堂			
ACP - C4	パッケージエアコン (職員ランチスペース)	機器型式 ヘアタイプ 室内機 天井カセット形 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW 附属品：室内機 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 遠方操作アダプター ：屋外機 防振ゴム、壁面取付ブラケット	1	3	200		【屋外機】 B1 トライエリア 【室内機】 B1 職員ランチスペース			
ACP - C5	パッケージエアコン (清掃員控室)	機器型式 ヘアタイプ 室内機 壁掛形 冷房能力 4.0 kW 暖房能力 4.5 kW 附属品：室内機 標準フィルター、ワイヤレスリモコン、 遠方操作アダプター ：屋外機 防振ゴム、壁面取付ブラケット	1	3	200		【屋外機】 B1 トライエリア 【室内機】 B1 清掃員控室			
ACR - C1	ルームエアコン (休憩室)	機器型式 壁掛形 冷房能力 2.2 kW 暖房能力 2.2 kW 附属品：室内機 ワイヤレスリモコン、ドレンアップポンプ 遠方操作アダプター ：屋外機 防振ゴム、壁面取付ブラケット	4	1	100	L-S	【屋外機】 B1 トライエリア 【室内機】 B1 休憩室			
ACR - C2	ルームエアコン (相談室)	機器型式 壁掛形 冷房能力 2.8 kW 暖房能力 3.6 kW 附属品：室内機 ワイヤレスリモコン、 遠方操作アダプター ：屋外機 防振ゴム、壁面取付ブラケット	1	1	100	L-S	【屋外機】 1 屋外 【室内機】 1 相談室			

- 注記： 1. 空調機器の冷房、暖房能力はJIS B 8616 の条件での数値である。
2. 電気容量は参考値とする。
3. グリーン購入法調達適合品とする。
4. 天井カセット形室内機の化粧パネルはセンシング機能付
5. リモコンスイッチはワイヤード形

機器表

記号	機器名称 【系統名】	機器仕様	台数	電動機				設置場所		備考 【参考型番】
				相 (φ)	電圧 (V)	容量 (KW)	起動 階	室名		
HXFU - C2	全熱交換ユニット (3~5階事務棟系統)	機器型式 垂直形屋内設置 給気量 12,000 m3/H 機外静圧 300 Pa 排気量 9,600 m3/H 機外静圧 400 Pa 給気フィルター 自動巻取形 (NBS65%以上) 排気フィルター フィルトンフィルター 全熱交換効率 70% 以上 附属品 スフリンク防振架台 (ファン 下部) 動力制御盤 (インバータ制御) コンクリート基礎 (建築工事)	1	3	200	RF 5.5		R	(本館)事務棟 機械室	分割搬入：機械室で組立据付
FE-C-3	事務棟便所排風機	機器型式 床置形片吸込シロッコファン 型番 SS.2 1/2 風量 3,600 m3/H 静圧 300 Pa 附属品 スプリング防振架台	1	3	200	1.5	L-S	R	(本館)事務棟 機械室	
FE-C-4	事務棟湯沸室排風機	機器型式 床置形片吸込シロッコファン 型番 SS.1 1/2 風量 1,200 m3/H 静圧 250 Pa 附属品 スプリング防振架台	1	3	200	0.75	L-S	R	(本館)事務棟 機械室	
FE-C-5	事務棟厨房排風機	機器型式 床置形片吸込シロッコファン 型番 SS.3 風量 10,130 m3/H 静圧 500 Pa 附属品 スプリング防振架台	1	3	200	5.5	L-S	R	(本館)事務棟 機械室	
FV-C-1	天井換気扇	機器型式 低騒音形 (インテリア用) 風量 150 m3/H 静圧 80 Pa 附属品 取付金具	2	1	100	44W	L-S	B1	休憩室 (男) 休憩室 (女)	VD-18ZX14-C
FV-C-2	天井換気扇	機器型式 低騒音形 (サニタリー用) 風量 80 m3/H 静圧 60 Pa 附属品 取付金具	2	1	100	13W	L-S	B1	ユニットシャワー	VD-13ZC14
HEU-C-1	全熱交換ユニット	機器型式 天井カセット形 風量 300 m3/H 静圧 80 Pa 附属品 インテリアパネル、シーニアスリモコン、取付金具	1	1	100	140W	L-S	B1	ランチスペース	LGH-N35CX3

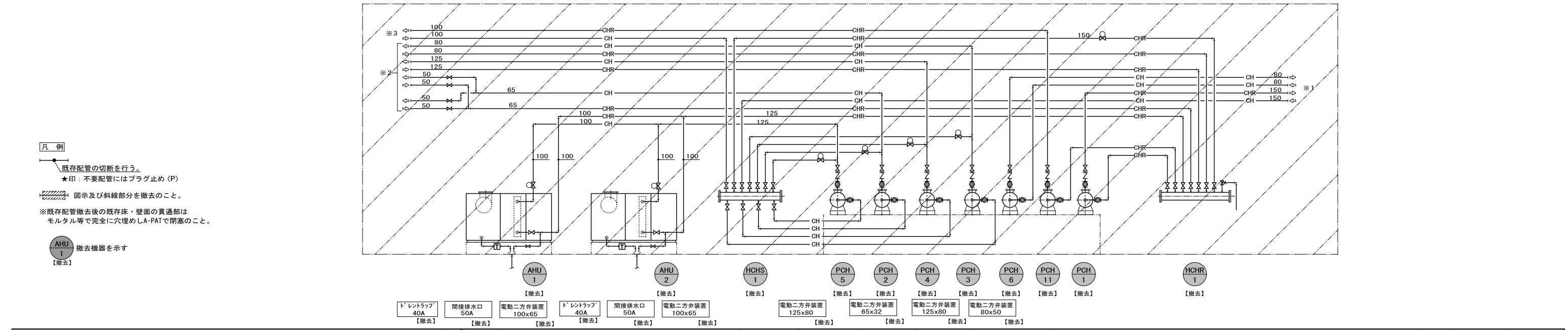
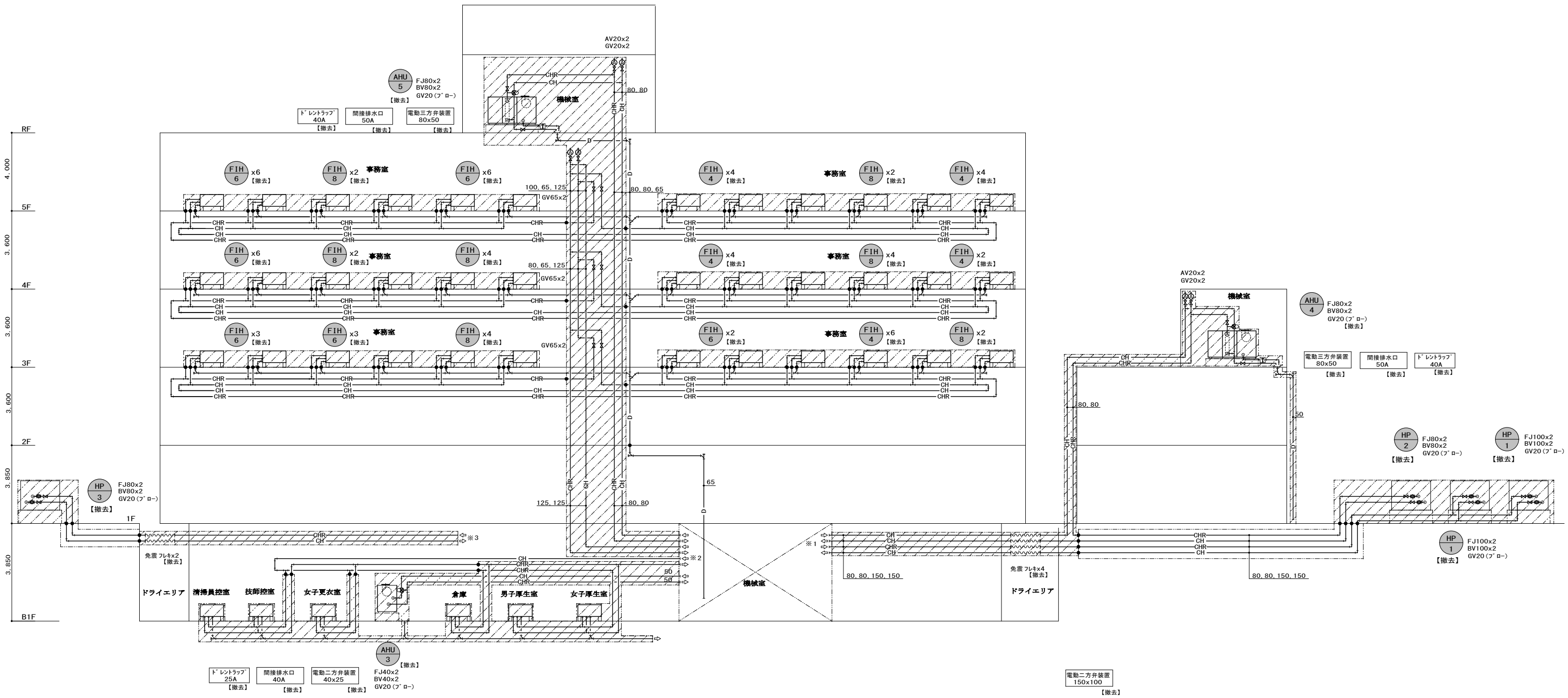
記号	機器名称 【系統名】	機器仕様	台数	電動機				設置場所		備考 【参考型番】
				相 (φ)	電圧 (V)	容量 (KW)	起動 階	室名		
FV-B-1	天井換気扇	機器型式 低騒音形 (サニタリー用) 風量 350 m3/H 静圧 100 Pa 附属品 取付金具	5	1	100	74W	L-S	1 2 3 4 5	別館 男子便所 男子便所 男子便所 男子便所 男子便所	VD-23ZB14 同等品
FV-B-2	天井換気扇	機器型式 低騒音形 (サニタリー用) 風量 250 m3/H 静圧 100 Pa 附属品 取付金具	5	1	100	44W	L-S	1 2 3 4 5	別館 女子便所 女子便所 女子便所 女子便所 女子便所	VD-20ZB14 同等品
FV-B-3	天井換気扇	機器型式 低騒音形 (サニタリー用) 風量 150 m3/H 静圧 80 Pa 附属品 取付金具	1	1	100	26W	L-S	1	別館 バリアフリートイレ	VD-18ZB14 同等品

機 器 表

記号	機器名称 【系統名】	機 器 仕 様	台数	電 動 機			設 置 場 所		備 考 【参考型番】
				相 (φ)	電 圧 (V)	容 量 (KW)	圧縮機	階	
MACP - G1	マルチ形屋外機 (2階議場事務局系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 更新用 (ハイグレードタイプ) 冷房能力 73.0 kW 暖房能力 82.5 kW 附 属 品 スプリング防振架台(減震機構)、連結配管キット、アクティブフィルター 使用冷媒 R-410A 冷媒量 21.0+16.3 kg コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 21.3 暖房 20.3	10.3 + 7.04	3 (本館)事務棟屋上	【RQUP730FC】 機器重量 374kg+220kg 外形寸法 1750x765x1660H 1240x765x1660H 冷媒配管 19.05φ+ 31.75φ
MACP-G1-1	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (2方向吹出) 冷房能力 2.2 kW 暖房能力 2.5 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 耐震用振止吊金物	3	1	200	冷房 31 W 暖房 28 W		2 廊下	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-G1-2	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (2方向吹出) 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4.0 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 耐震用振止吊金物	2	1	200	冷房 28 W 暖房 24 W		2 記者室 2 図書室	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-G1-3	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 耐震用振止吊金物	8	1	200	冷房 37 W 暖房 33 W		2 応接室 x2 2 正副議長室 x3 2 議会事務局 x3	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-G1-4	マルチ形室内機	機器型式 天井吊露出形 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 附 属 品 標準フィルター、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 耐震用振止吊金物	1	1	200	冷房 108 W 暖房 108 W		2 議場廊下 (W)	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-G1-5	マルチ形室内機	機器型式 天井吊露出形 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW 附 属 品 標準フィルター、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 耐震用振止吊金物	1	1	200	冷房 112 W 暖房 112 W		2 議場廊下 (E)	冷媒配管 9.52φ+ 15.88φ
MACP - G2	マルチ形屋外機 (2階議員控室系統)	機器型式 高効率冷暖房切替型 更新用 (ハイグレードタイプ) 冷房能力 61.5 kW 暖房能力 69.0 kW 附 属 品 スプリング防振架台(減震機構)、連結配管キット、アクティブフィルター 使用冷媒 R-410A 冷媒量 18.1+16.3 kg コンクリート基礎(建築工事)	1	3	200	冷房 18.7 暖房 17.5	7.95 + 6.86	3 (本館)事務棟屋上	【RQUP615FC】 機器重量 220kg+220kg 外形寸法 1240x765x1660H 1240x765x1660H 冷媒配管 15.88φ+ 28.58φ
MACP-G2-1	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (2方向吹出) 冷房能力 2.2 kW 暖房能力 2.5 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 耐震用振止吊金物	2	1	200	冷房 31 W 暖房 28 W		2 廊下 x2	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-G2-2	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4.0 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 耐震用振止吊金物	2	1	200	冷房 28 W 暖房 24 W		2 議員控室 x2	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-G2-3	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 耐震用振止吊金物	7	1	200	冷房 37 W 暖房 33 W		2 議員控室 2 議員控室 x2 2 議員控室 x2 2 議員控室	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ
MACP-G2-4	マルチ形室内機	機器型式 天井カセット形 (4方向吹出) 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 附 属 品 標準フィルター、化粧パネル、ドレンアップメカ、リモコンスイッチ 耐震用振止吊金物	2	1	200	冷房 43 W 暖房 38 W		2 議員控室 2 議員控室	冷媒配管 6.35φ+ 12.7φ

記号	機器名称 【系統名】	機 器 仕 様	台数	電 動 機			設 置 場 所		備 考 【参考型番】
				相 (φ)	電 圧 (V)	容 量 (KW)	圧縮機	階	
ACP - G1	パッケージエアコン (議場系統)	機器型式 設備用床置ダクト形 使用冷媒 R-410A 冷房能力 71.0 kW 暖房能力 80.0 kW 送風量 15,000 m3/H 機外静圧 600 Pa 加湿器 水スプレー 加湿量 40.0 Kg/H 室内機 標準フィルター、リモコンスイッチ、スプリング防振架台 屋外機 スプリング防振架台(減震機構)、連結配管キット、アクティブフィルター	1	3	200	12.0x2	3	【屋外機】 (本館)事務棟屋上 【室内機】 (本館)議場棟 機械室	【SZVYCP775NB】 同等品 機器重量 501kg 室内機 270kg x2 外形寸法 1760x1050x1876H 屋外機 1240x765x1660H 冷媒配管 19.05φ+ 31.75φ 消費電力：冷房 27.4kW 暖房 27.6kW
CP - G1	集中コントローラ	機器型式 壁掛形 タッチパネル式 管理台数 最大64チャンネル 128台 制御内容 スケジュール制御、一括運転/停止、設定温度、消し忘れ防止 ITM7 ラスタゲーター、エンジニアリング設定	1	1	100	0.1		2 議会事務局	DCL401B1 同等品
FE-G-1	議場用排風機	機器型式 天吊形片吸込シロッコファン 型番 SS.1 1/2 風量 1,750 m3/H 静圧 300 Pa 附 属 品 スプリング防振架台	1	3	200	0.75	L-S	3 (本館)議場棟 機械室	
FV-G-1	天井換気扇	機器型式 低騒音形(2部屋用) 風量 200 m3/H 静圧 80 Pa 附 属 品 取付金具	1	1	100	30.5W	L-S	1 議場用便所	VD-18ZFC14 同等品
FV-G-2	天井換気扇	機器型式 低騒音形 (サンタリー用) 風量 250 m3/H 静圧 100 Pa 附 属 品 取付金具	2	1	100	44W	L-S	2 議場棟男子便所 議場棟女子便所	VD-20ZB14 同等品
FV-G-3	天井換気扇	機器型式 銅板製 風量 200 m3/H 静圧 100 Pa 附 属 品 取付金具	1	1	100	35W	L-S	2 議場棟湯沸室	VD-18ZP13 同等品
HEX-G-1	全熱交換器 (議場用)	機器型式 天吊形 処理風量 2,700 m3/H 外形寸法 1200x340 附 属 品 ギヤモータ	1	1	200	0.1	L-S	3 (本館)議場棟 機械室	PAC-950T-NE 同等品
HEU-G-1	全熱交換器 (議場棟事務室用)	機器型式 床置ユニット形 風量 2,400 m3/H 静圧 400 Pa 附 属 品 スイッチボックス	1	1	200	2.2x2	L-S	2 (本館)議場棟 機械室	ダikin VLV3500ATR 同等品 重量 440kg 寸法 1.56x1.17x1.755H 分割搬入にて現地で組立据付
HXF-G-1	全熱交換形換気扇	機器型式 壁埋込形 ワイヤレスリモコンタイプ 風量 100 m3/H 附 属 品 ステンレス製ウエザーカバー、取付金枠	1	1	100	34W	L-S	1 市民相談室	三菱電機 VL-12RKX3-D 同等品
HUD-G-1	加湿器	機器型式 壁掛形 電極式蒸気発生器 加湿量 35.0 Kg/H 附 属 品 本体取付フレーム、蒸気噴霧管、給排水ホース 他標準付属品一式	1	3	200	26.3	L-S	2 (本館)議場棟 機械室	WM-SEG35 同等品

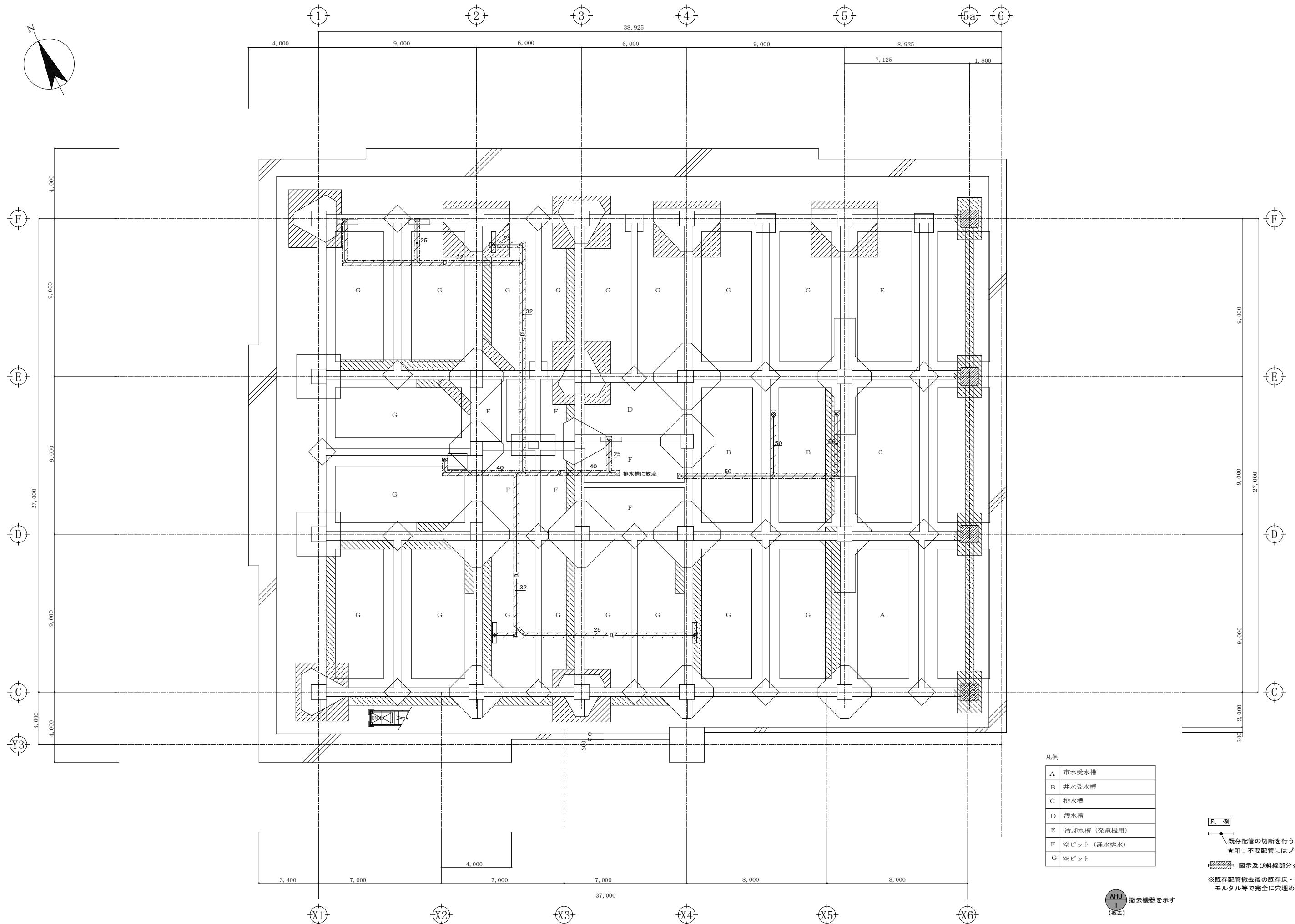
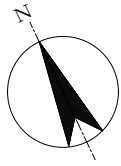
- 注記： 1. 空調機器の冷房、暖房能力は JIS B 8616 の条件での数値である。
2. 電気容量は参考値とする。
3. グリーン購入法調達適合品とする。
4. 天井カセット形室内機の化粧パネルはセンシング機能付
5. リモコンスイッチはワイヤード形



凡例

- 既存配管の切断を行う。
- ★印：不要配管にはプラグ止め (P)
- 図示及び斜線部分を撤去のこと。
- ※既存配管撤去後の既存床・壁面の貫通部はモルタル等で完全に穴埋めしA-PATで閉塞のこと。

AHU 1 撤去機器を示す
【撤去】



凡例

A	市水受水槽
B	井水受水槽
C	排水槽
D	汚水槽
E	冷却水槽 (発電機用)
F	空ビット (涌水排水)
G	空ビット

凡例

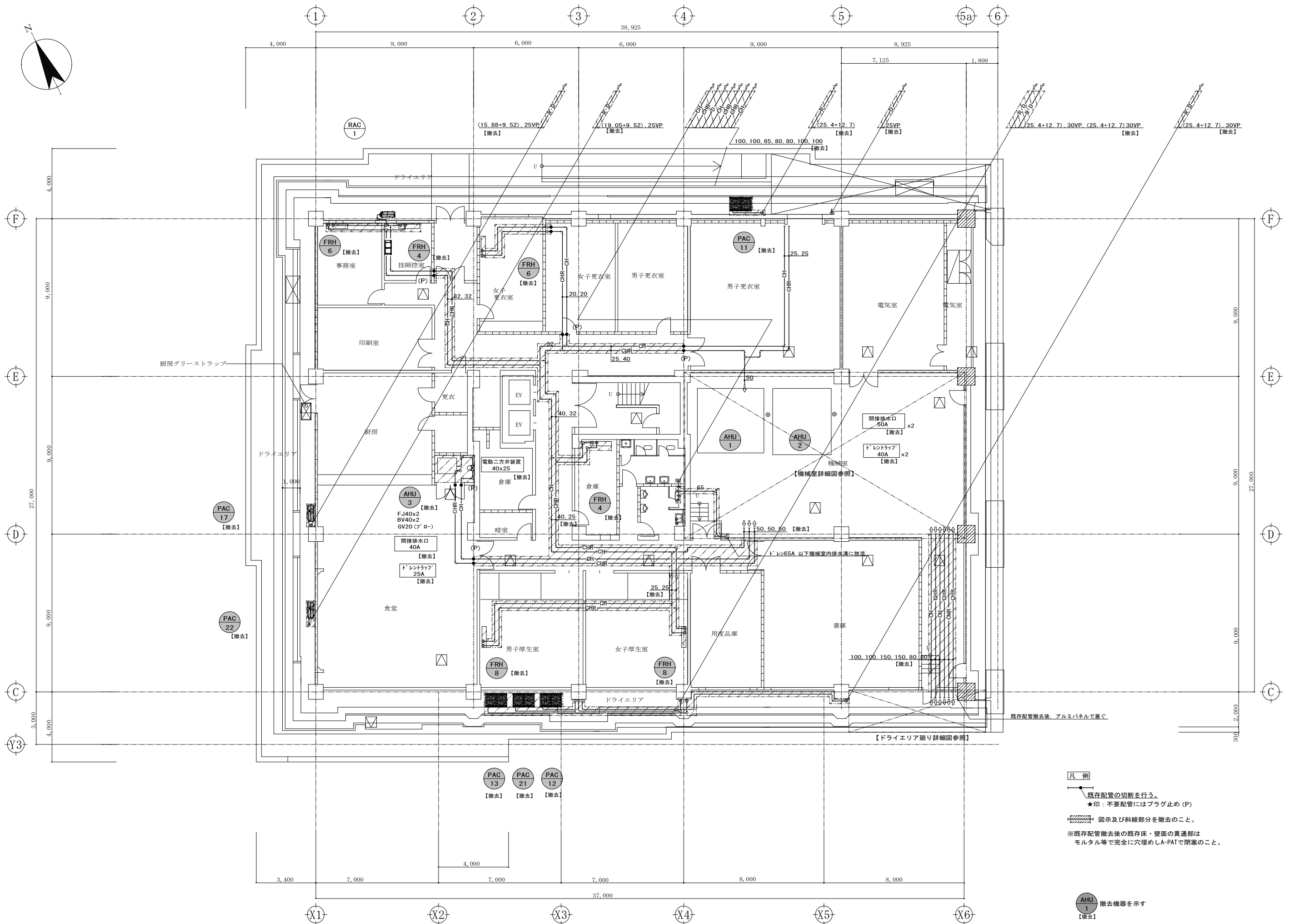
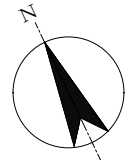
既存配管の切断を行う。

★印：不要配管にはプラグ止め (P)

図示及び斜線部分を撤去のこと。

※既存配管撤去後の既存床・壁面の貫通部はモルタル等で完全に穴埋めしA-PATで閉塞のこと。

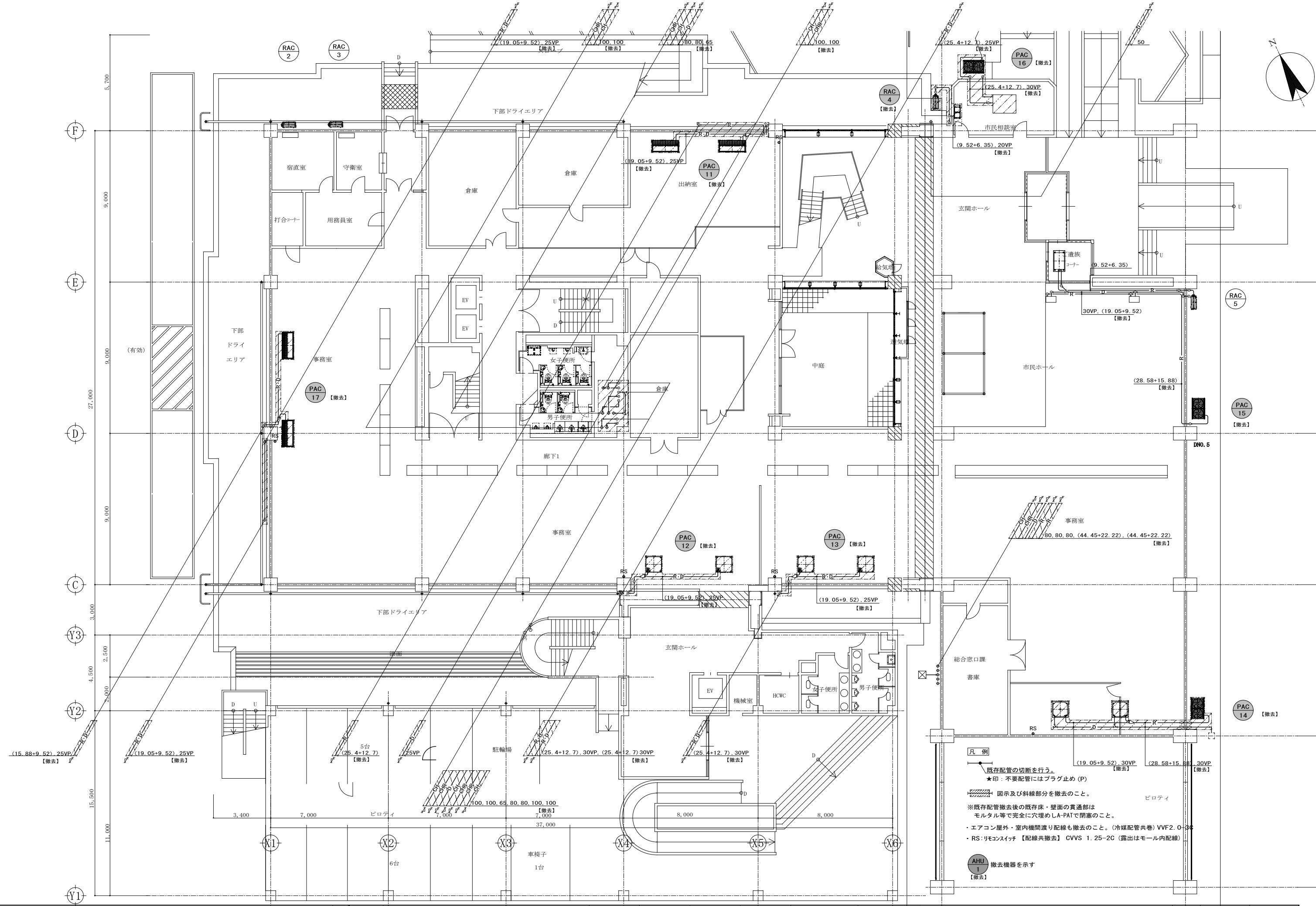
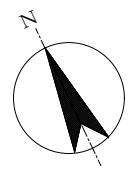
AHU
1
撤去機器を示す
【撤去】



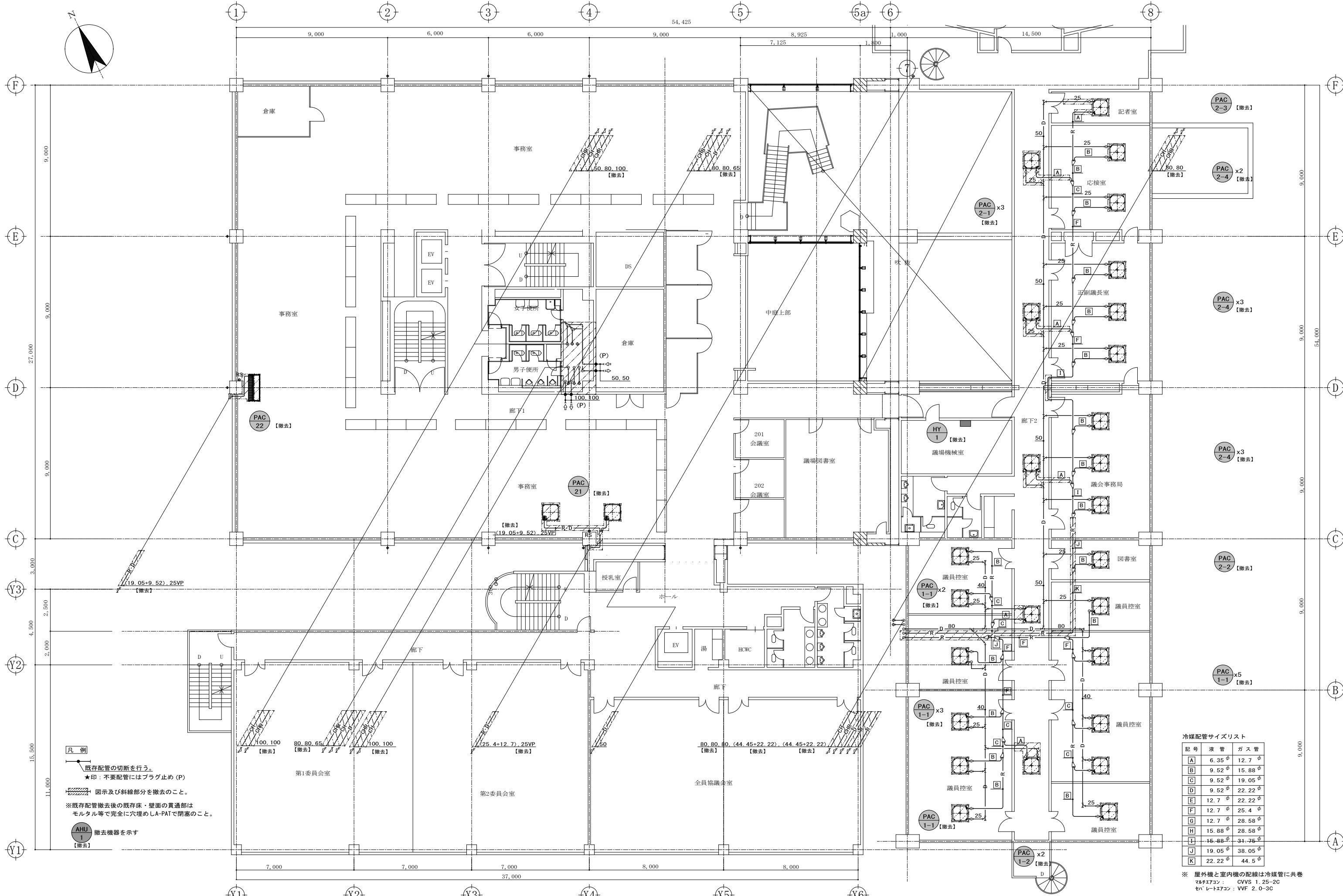
- 凡例**
- 既存配管の切断を行う。
 - ★印：不要配管にはプラグ止め (P)
 - 図示及び斜線部分を撤去のこと。
 - ※既存配管撤去後の既存床・壁面の貫通部はモルタル等で完全に穴埋めしA-PATで閉塞のこと。

AHU 1 撤去機器を示す
【撤去】

株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9615号 代表取締役 小林 弘幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名	縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	M-203
							市庁舎長寿命化改修工事			
							空調設備 地下1階配管平面図【改修前】			一級建築士 第193004号 大形 一朗



- 凡例**
- 既存配管の切断を行う。
 - ★印：不要配管にはプラグ止め (P)
 - ▨ 図示及び斜線部分を撤去のこと。
 - ※既存配管撤去後の既存床・壁面の貫通部はモルタル等で完全に穴埋めしA-PATで閉塞のこと。
 - ・エアコン屋外・室内機間渡り配線も撤去のこと。(冷媒配管共巻) VVF2.0-3C
 - ・RS:リモコンスイッチ【配線共撤去】CVVS 1.25-2C (露出はモール内配線)
 - AHU 1 撤去機器を示す【撤去】



凡例

既存配管の切断を行う。
 ★印：不要配管にはプラグ止め (P)

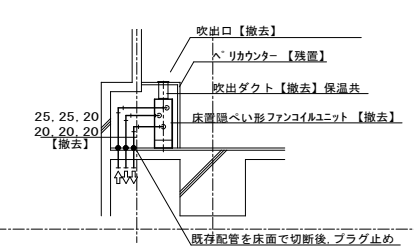
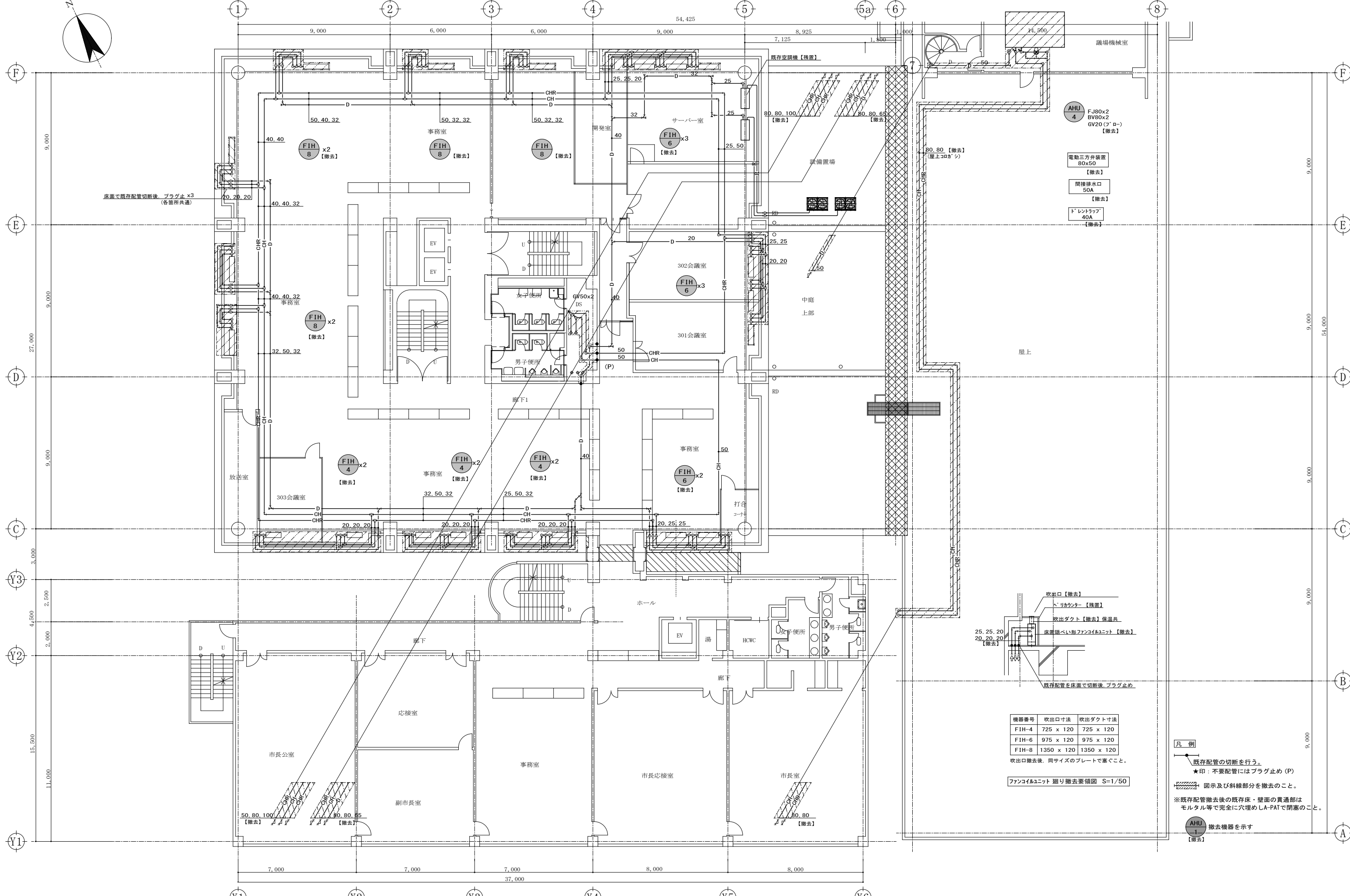
図示及び斜線部分を撤去のこと。
 ※既存配管撤去後の既存床・壁面の貫通部はモルタル等で完全に穴埋めしA-PATで閉塞のこと。

AHU 1 撤去機器を示す
 【撤去】

冷媒配管サイズリスト

記号	液管	ガス管
A	6.35 φ	12.7 φ
B	9.52 φ	15.88 φ
C	9.52 φ	19.05 φ
D	9.52 φ	22.22 φ
E	12.7 φ	22.22 φ
F	12.7 φ	25.4 φ
G	12.7 φ	28.58 φ
H	15.88 φ	28.58 φ
I	16.88 φ	31.76 φ
J	19.05 φ	38.05 φ
K	22.22 φ	44.5 φ

※ 屋外機と室内機の配線は冷媒管に共巻
 マルチエアコン：CVVS 1.25-2C
 セパレートエアコン：VVF 2.0-3C

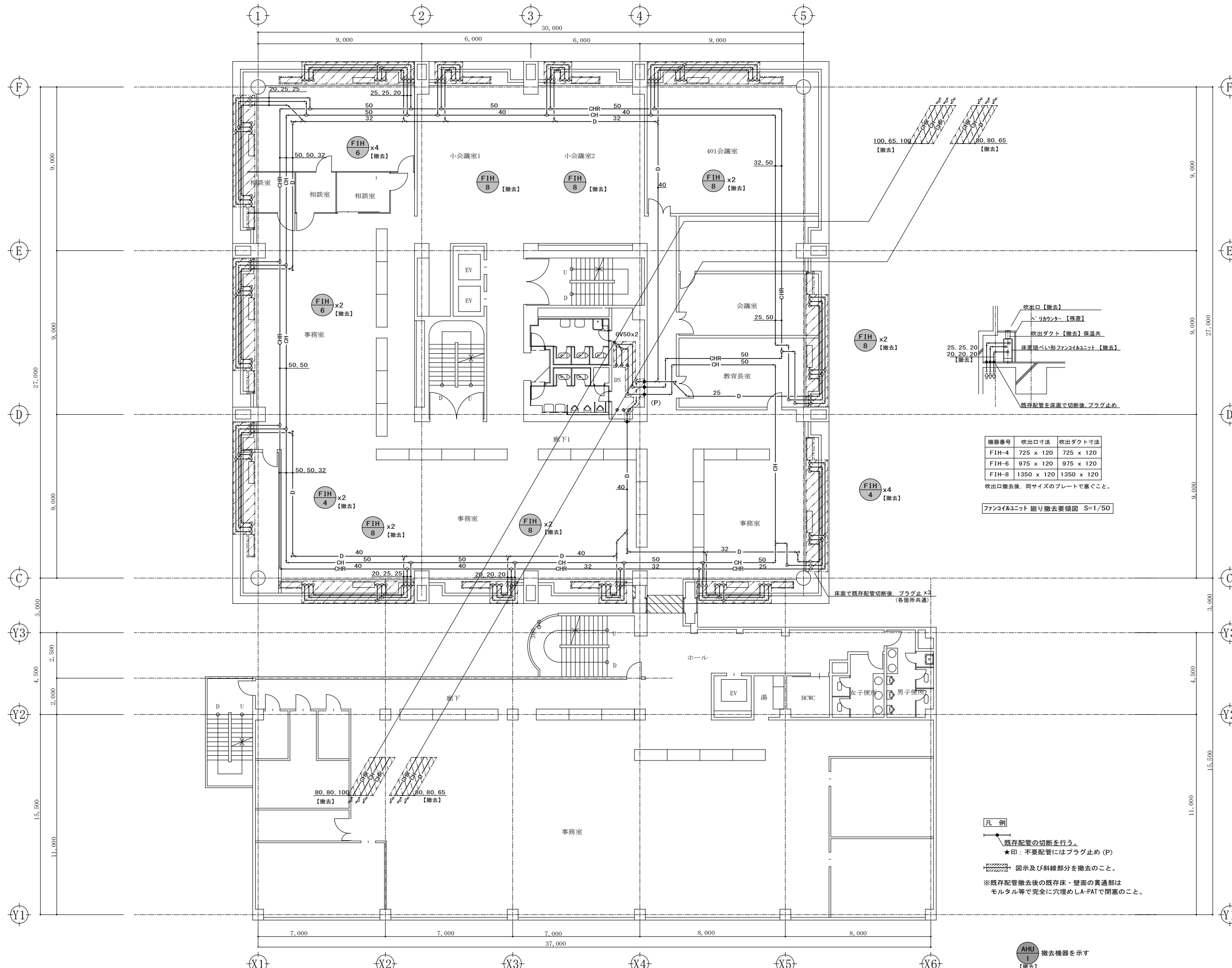
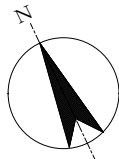


機器番号	吹出口寸法	吹出ダクト寸法
FIH-4	725 x 120	725 x 120
FIH-6	975 x 120	975 x 120
FIH-8	1350 x 120	1350 x 120

吹出口撤去後、同サイズのプレートで塞ぐこと。

ファンコイルユニット 廻り撤去要領図 S=1/50

- 凡例**
- 既存配管の切断を行う。
 - ★印：不要配管にはプラグ止め(P)
 - 図示及び斜線部分を撤去のこと。
 - ※既存配管撤去後の既存床・壁面の貫通部はモルタル等で完全に穴埋めしA-PATで閉塞のこと。
 - AHU-1 撤去機器を示す



機器番号	吹出口寸法	吹出ダクト寸法
FIH-4	725 x 120	725 x 120
FIH-6	975 x 120	975 x 120
FIH-8	1350 x 120	1350 x 120

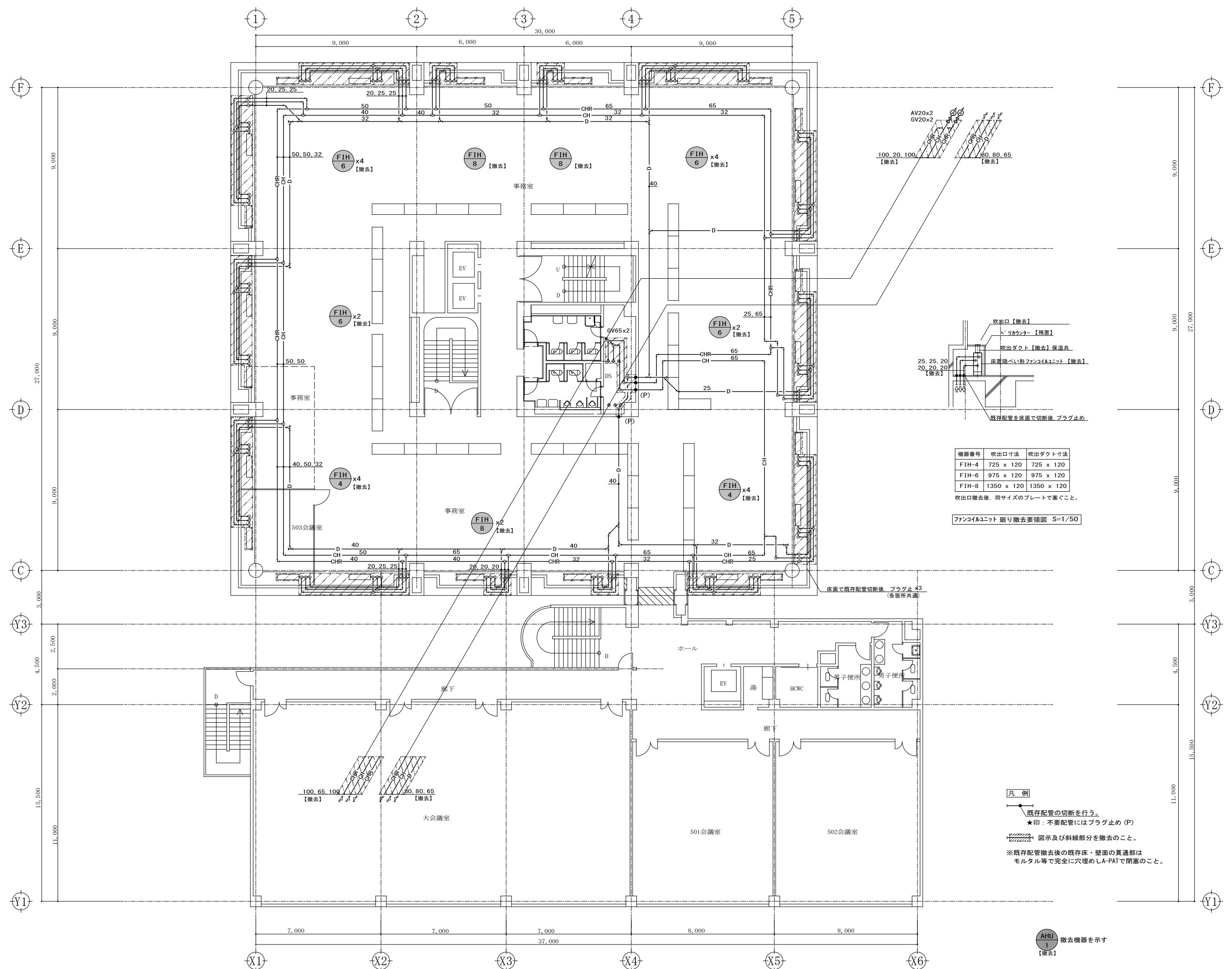
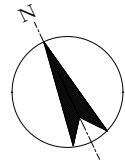
吹出口撤去後、同サイズのプレートで塞ぐこと。

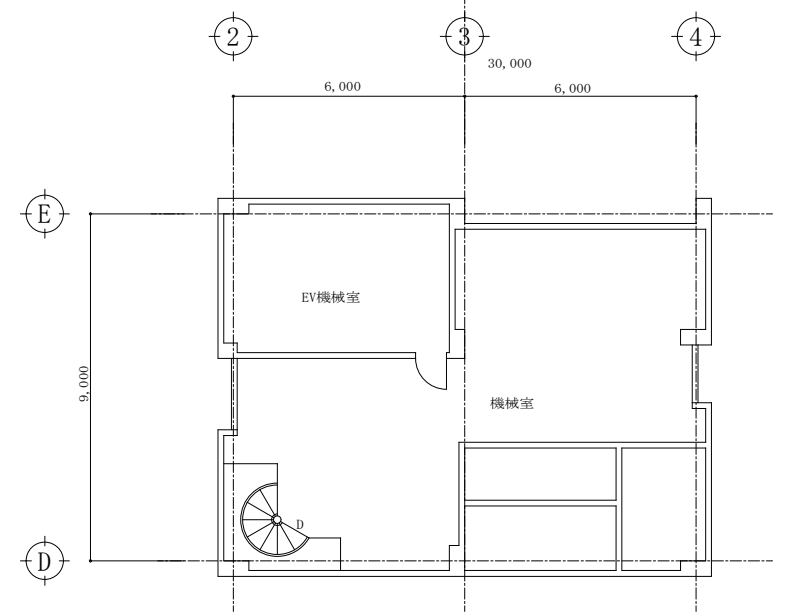
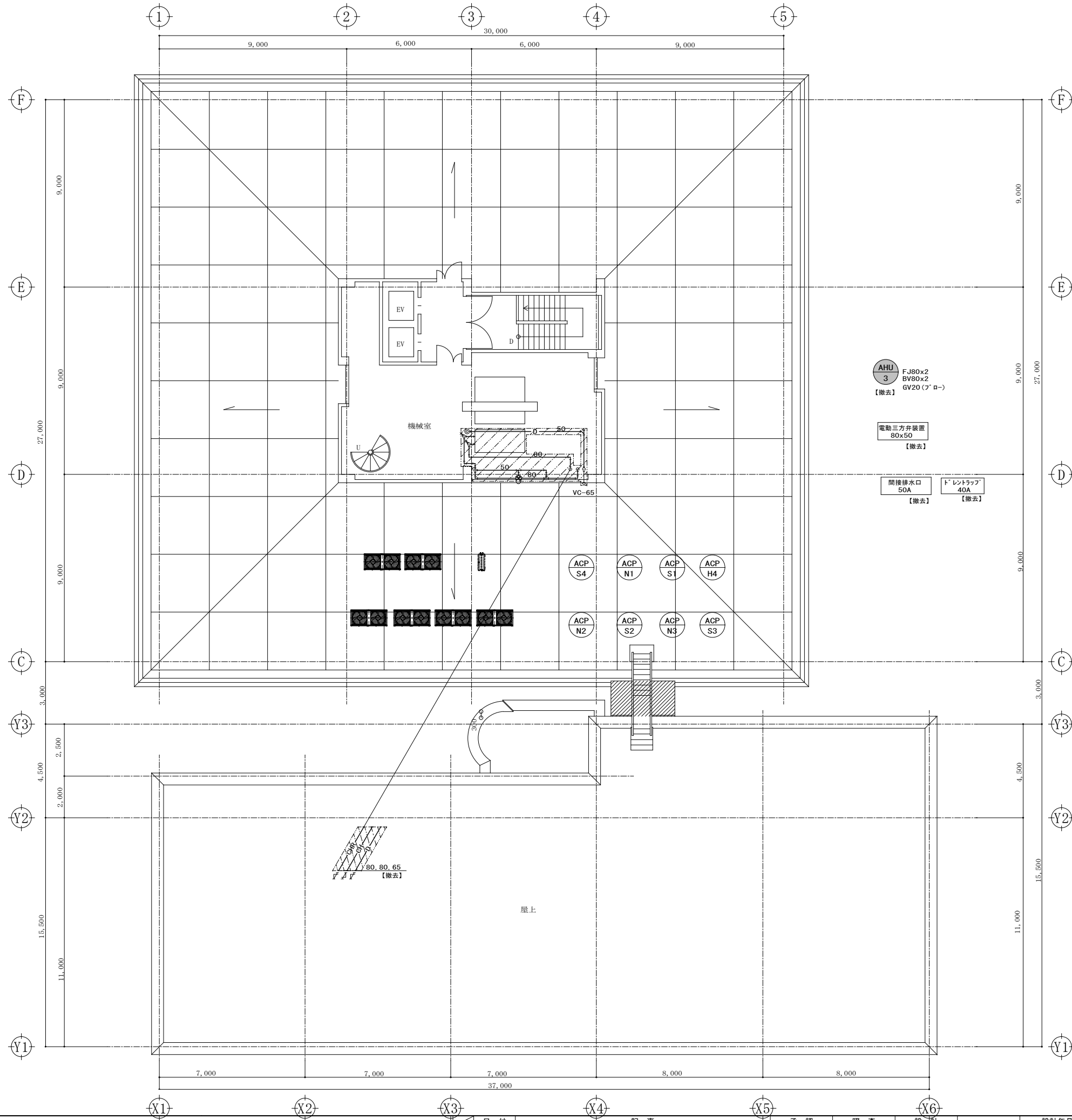
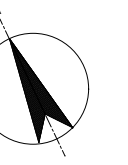
ファンコイルユニット 廻り撤去要領図 S=1/50

凡例

- 既存配管の切断を行う。
- ★印：不要配管にはプラグ止め (P)
- 図示及び斜線部分を撤去のこと。
- ※既存配管撤去後の既存床・壁面の貫通部はモルタル等で完全に穴埋めしA-PATで閉塞のこと。

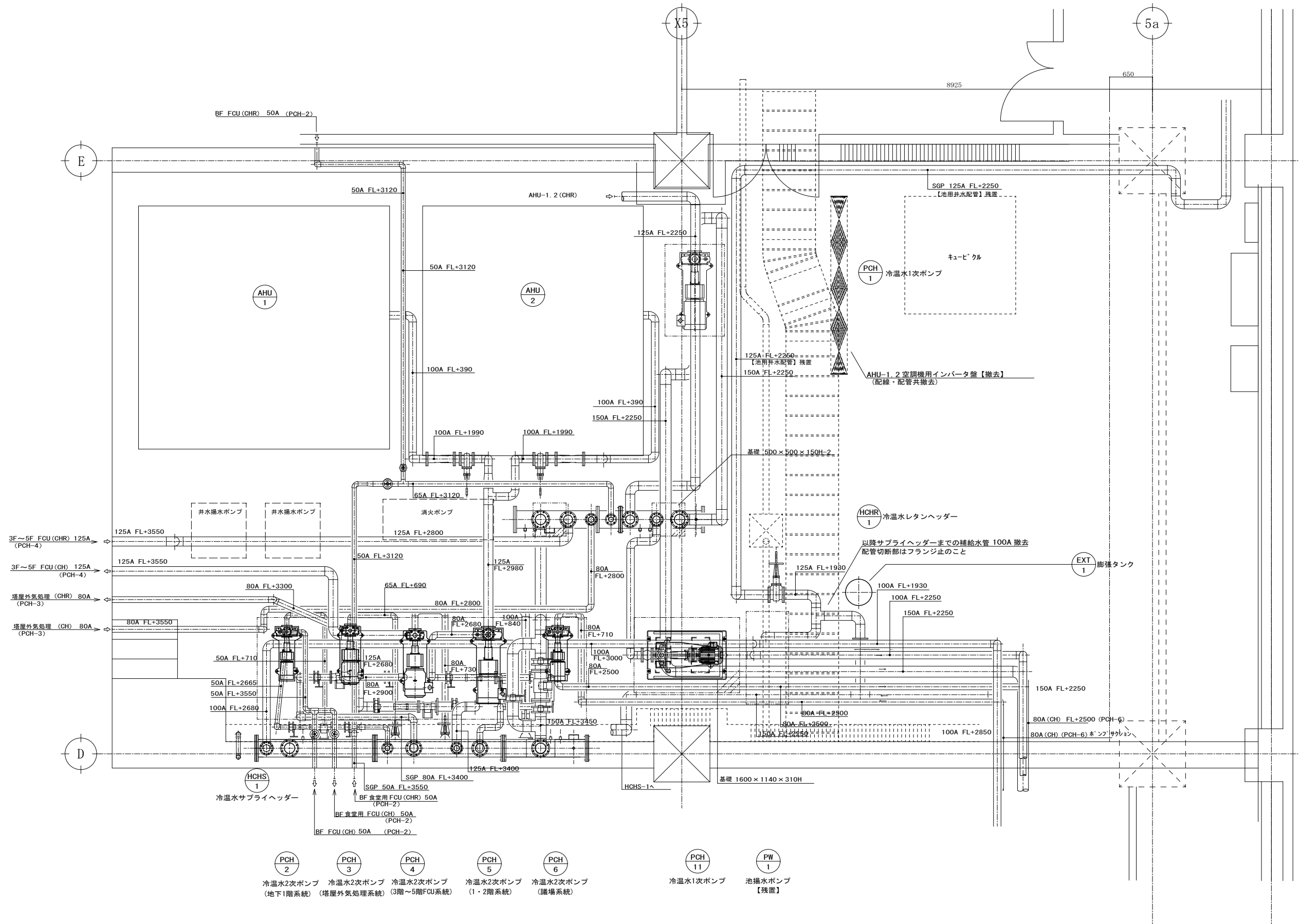
日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日





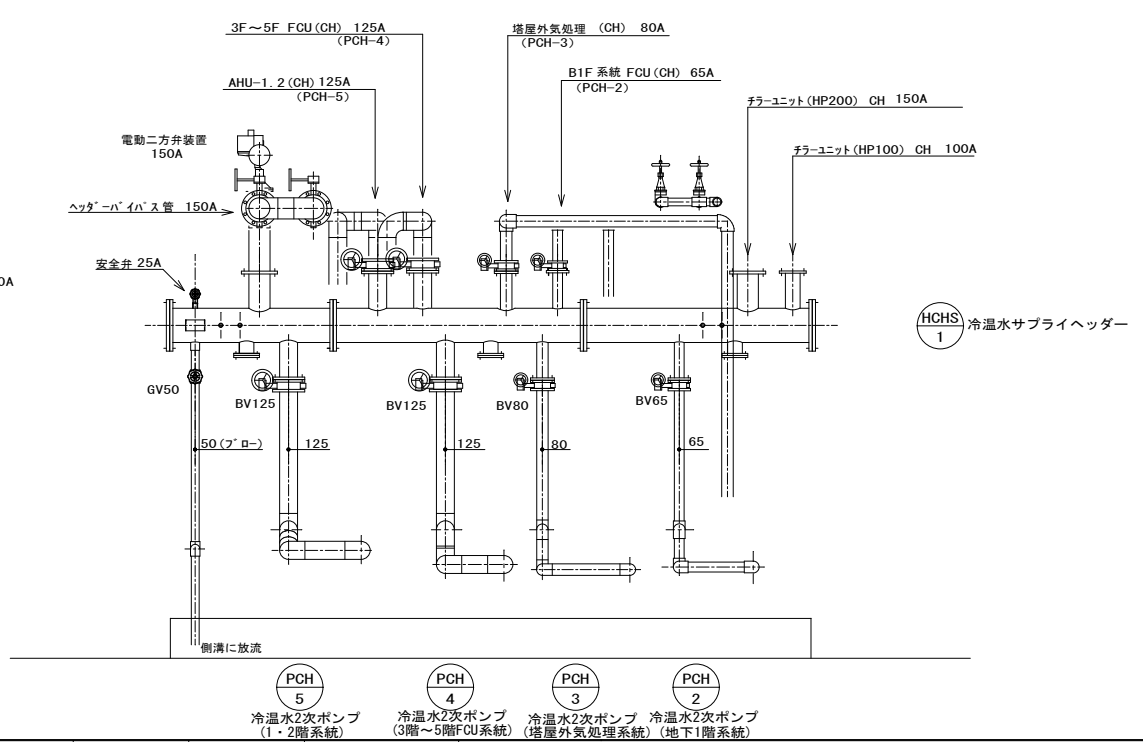
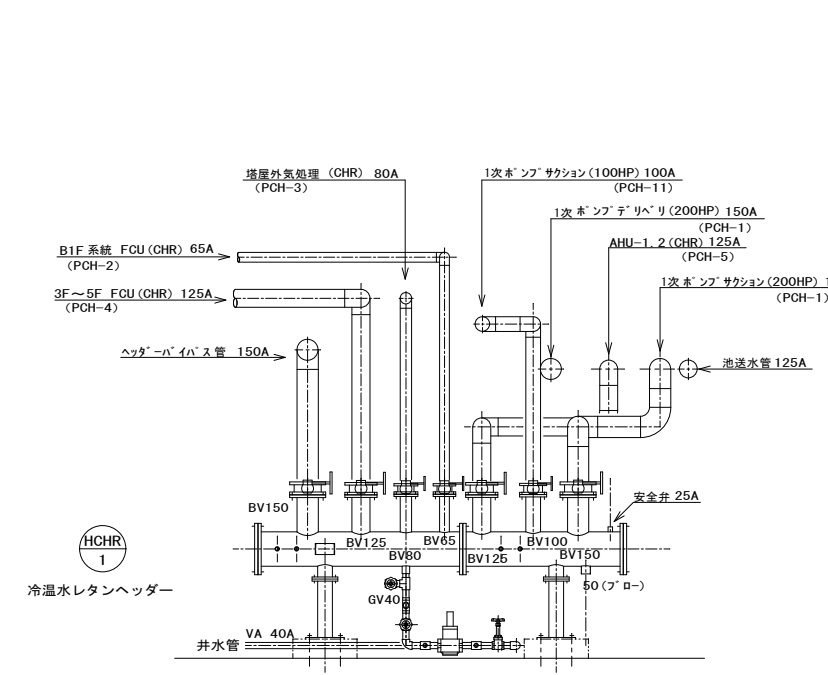
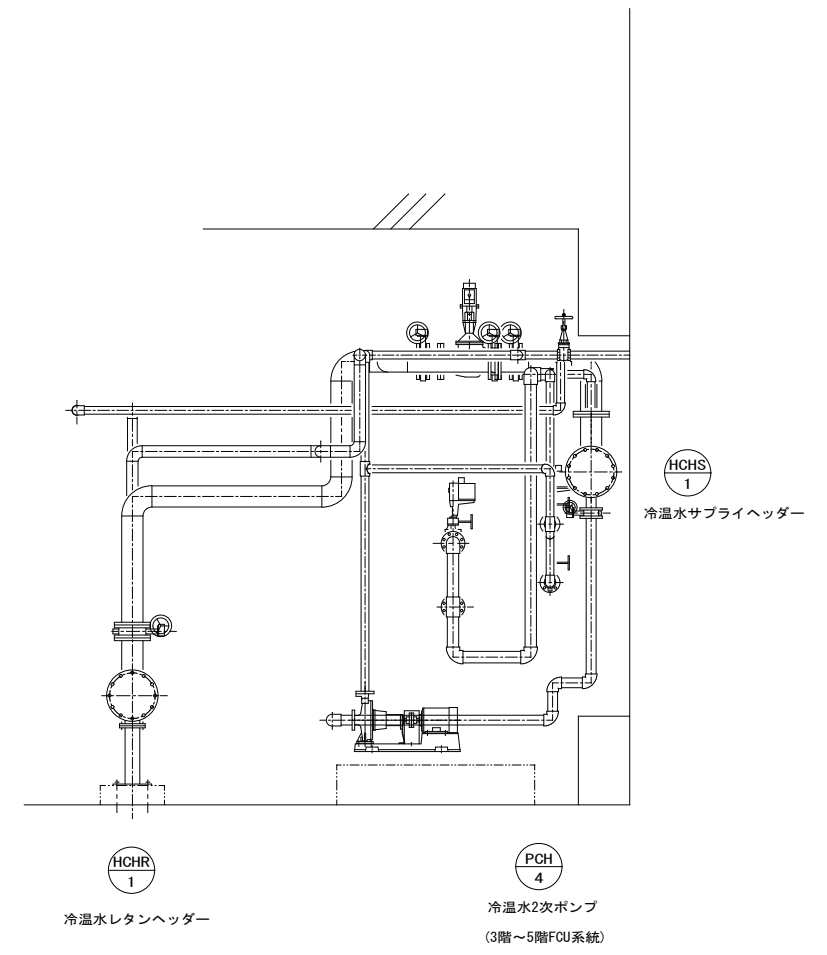
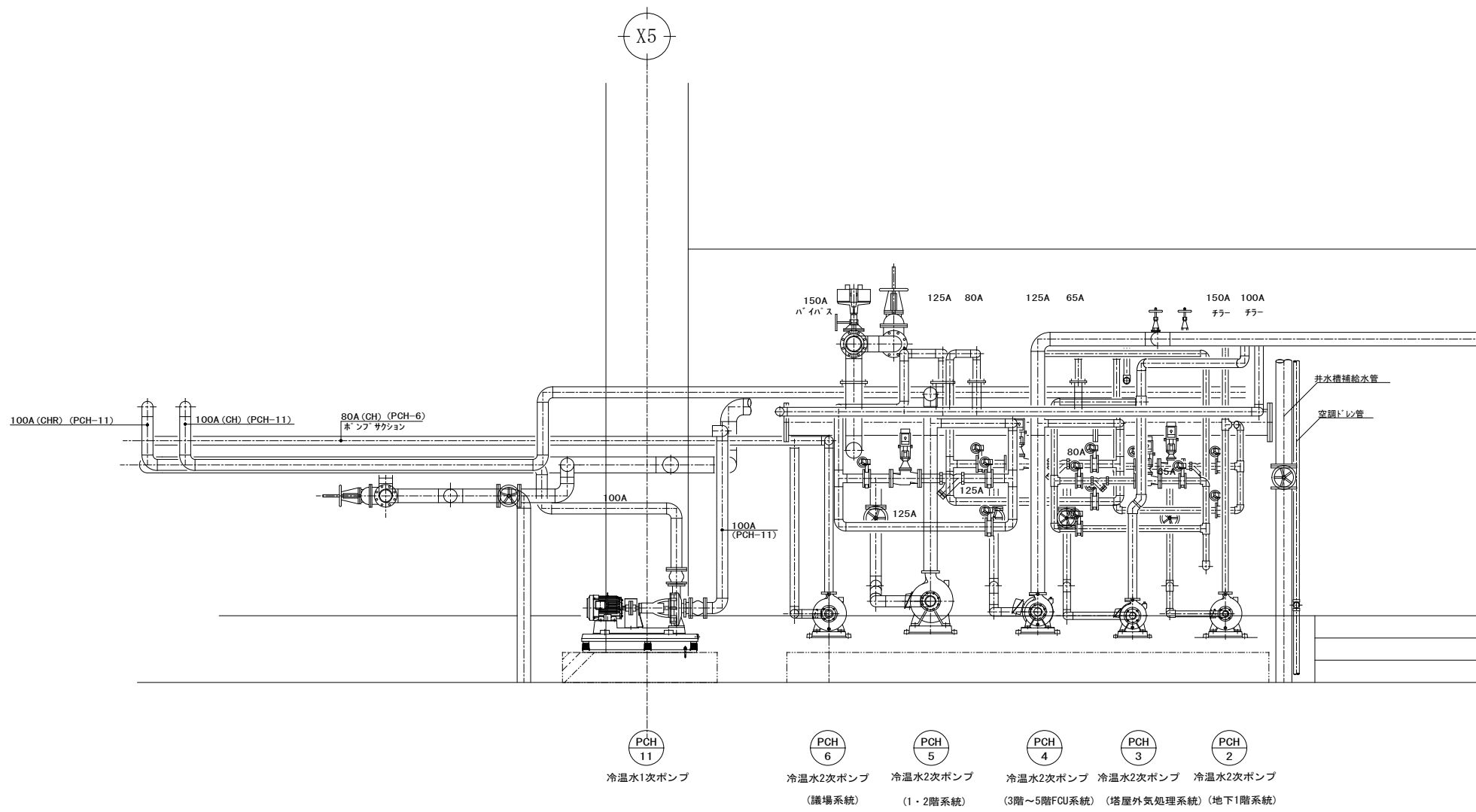
- 凡例**
- 既存配管の切断を行う。
 - ★印：不要配管にはプラグ止め (P)
 - 図示及び斜線部分を撤去のこと。
 - ※既存配管撤去後の既存床・壁面の貫通部はモルタル等で完全に穴埋めしA-PATで閉塞のこと。
 - AHU 1 撤去機器を示す【撤去】

株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9615号 代表取締役 小林 弘幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名 市庁舎長寿命化改修工事 図面名 空調設備 R階配管平面図【改修前】	縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	M-209
								一級建築士 第193004号 大形 一朗		



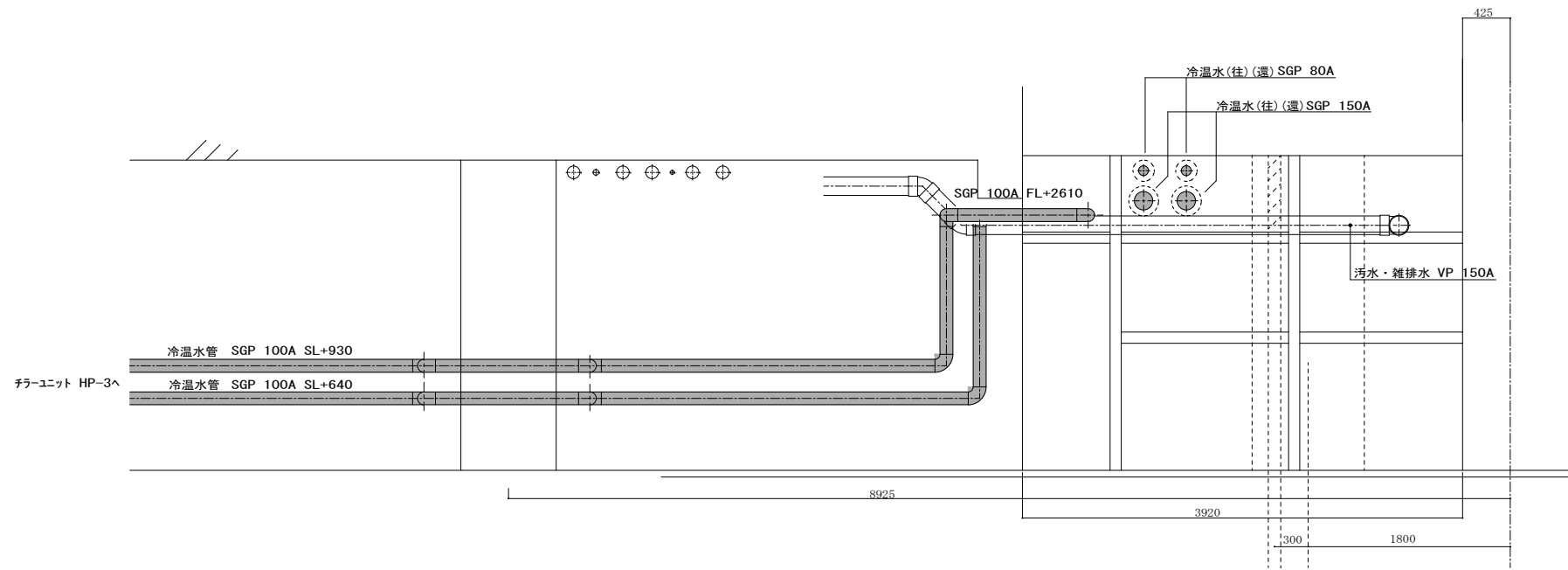
【全て撤去】
 ※但し、図示部分を除く池揚水ポンプ及び池揚水配管は残置とする。

株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9615号 代表取締役 小林 弘幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名	縮尺	A1: 1/30 A3: 1/60	M-210
							市庁舎長寿命化改修工事			
							空調設備 地下1階機械室配管平面詳細図【改修前】			一級建築士 第193004号 大形 一朗

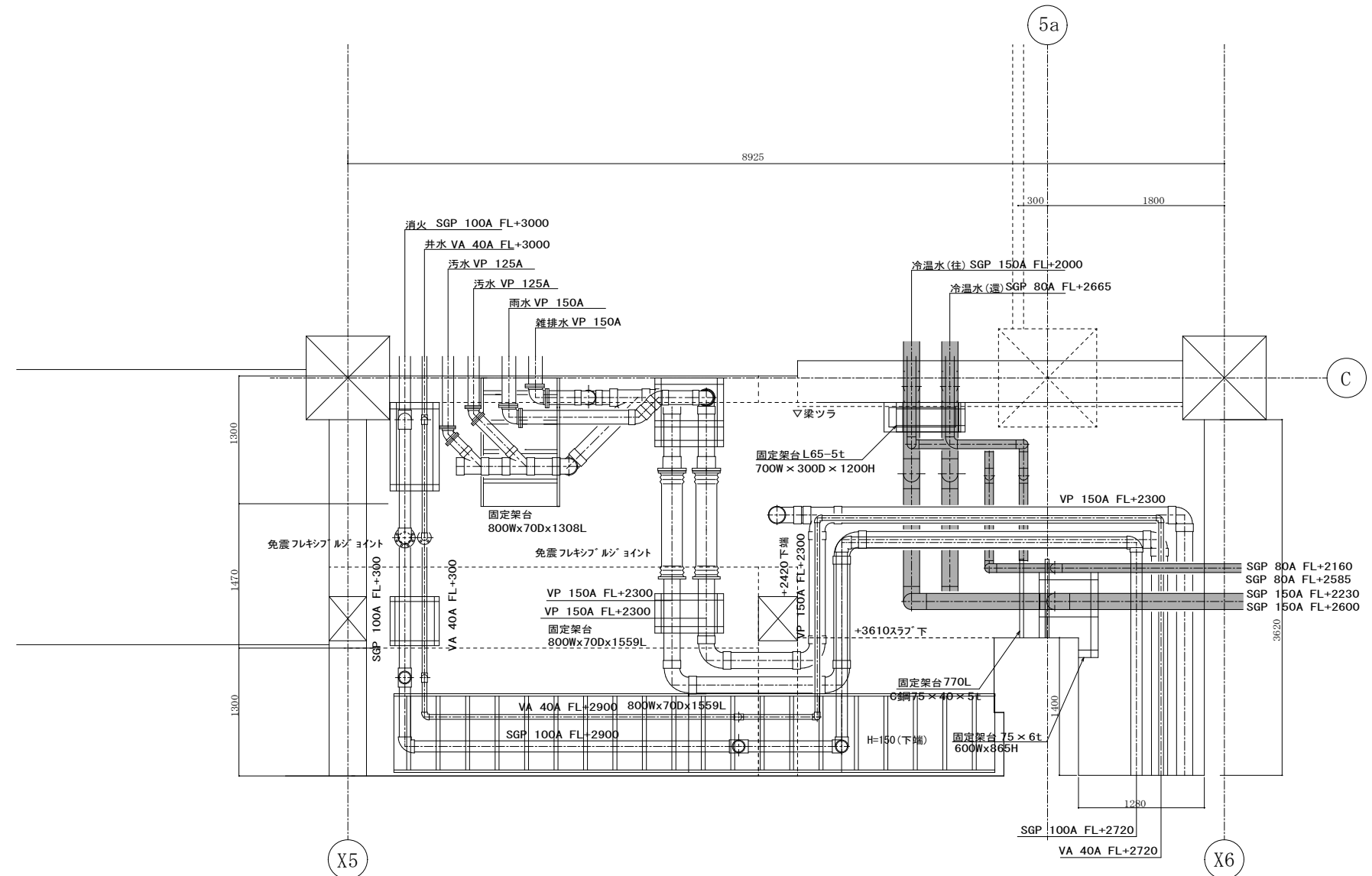


【全て撤去】
(池用井水配管は残置)

株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9615号 代表取締役 小林弘幸 一級建築士	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名	縮尺	A1: 1/30 A3: 1/60	M-211
							市庁舎長寿命化改修工事	一級建築士 第193004号 大形 一朗		
							図面名			
							空調設備 地下1階機械室配管断面詳細図【改修前】			



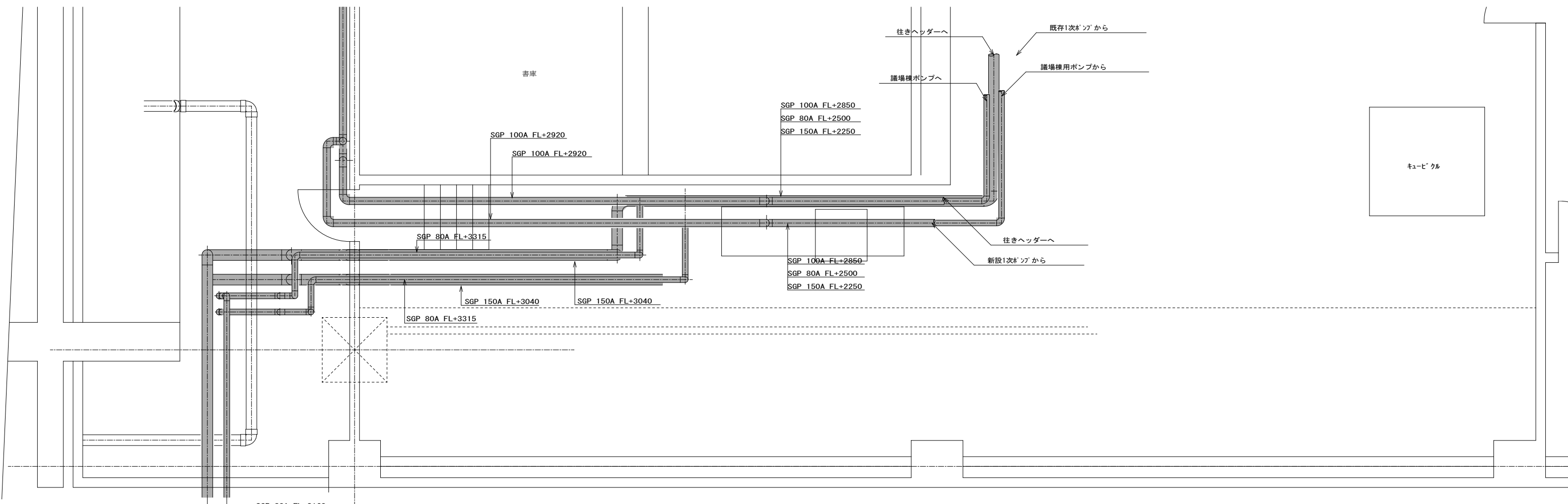
地下1階ドライエリア配管断面詳細図 S=1/50



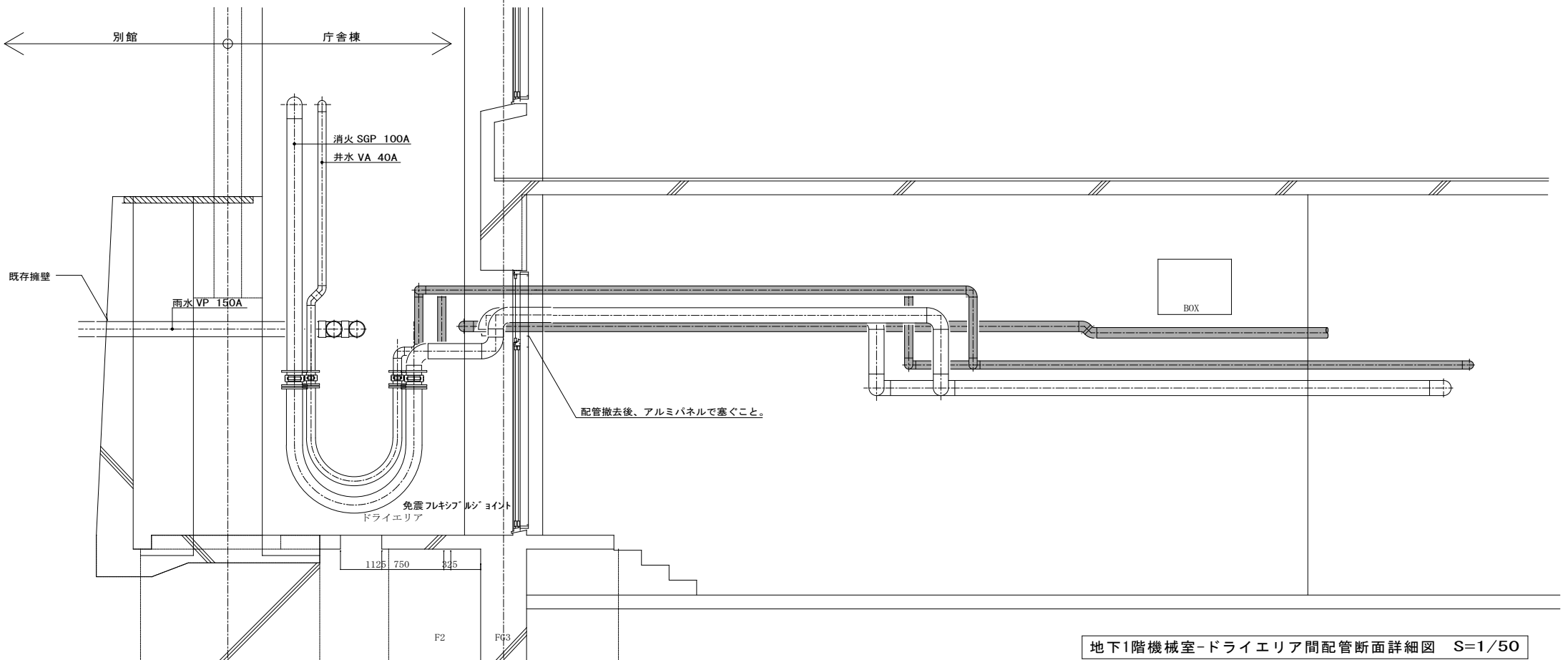
■ : 着色部分の既存空調配管を撤去のこと。(架台共)

地下1階ドライエリア配管平面詳細図 S=1/50

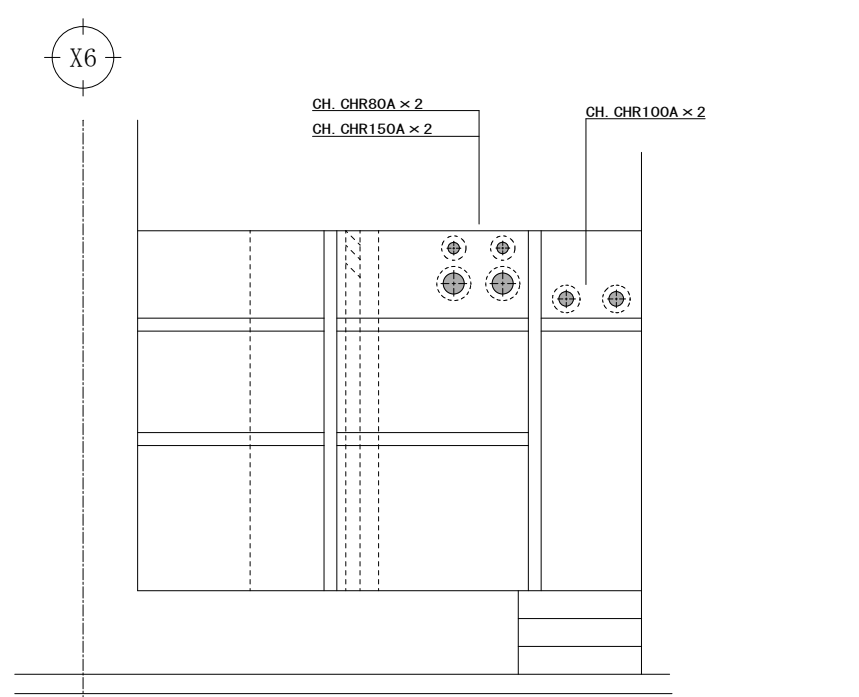
株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(3)第9615号 代表取締役 小林弘幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名	縮尺	A1: 1/30 A3: 1/60	M-212
							市庁舎長寿命化改修工事			
							空調設備 ドライエリア配管詳細図(1)【改修前】			一級建築士 第193004号 大形 一朗



地下1階機械室-ドライエリア間配管平面詳細図 S=1/50



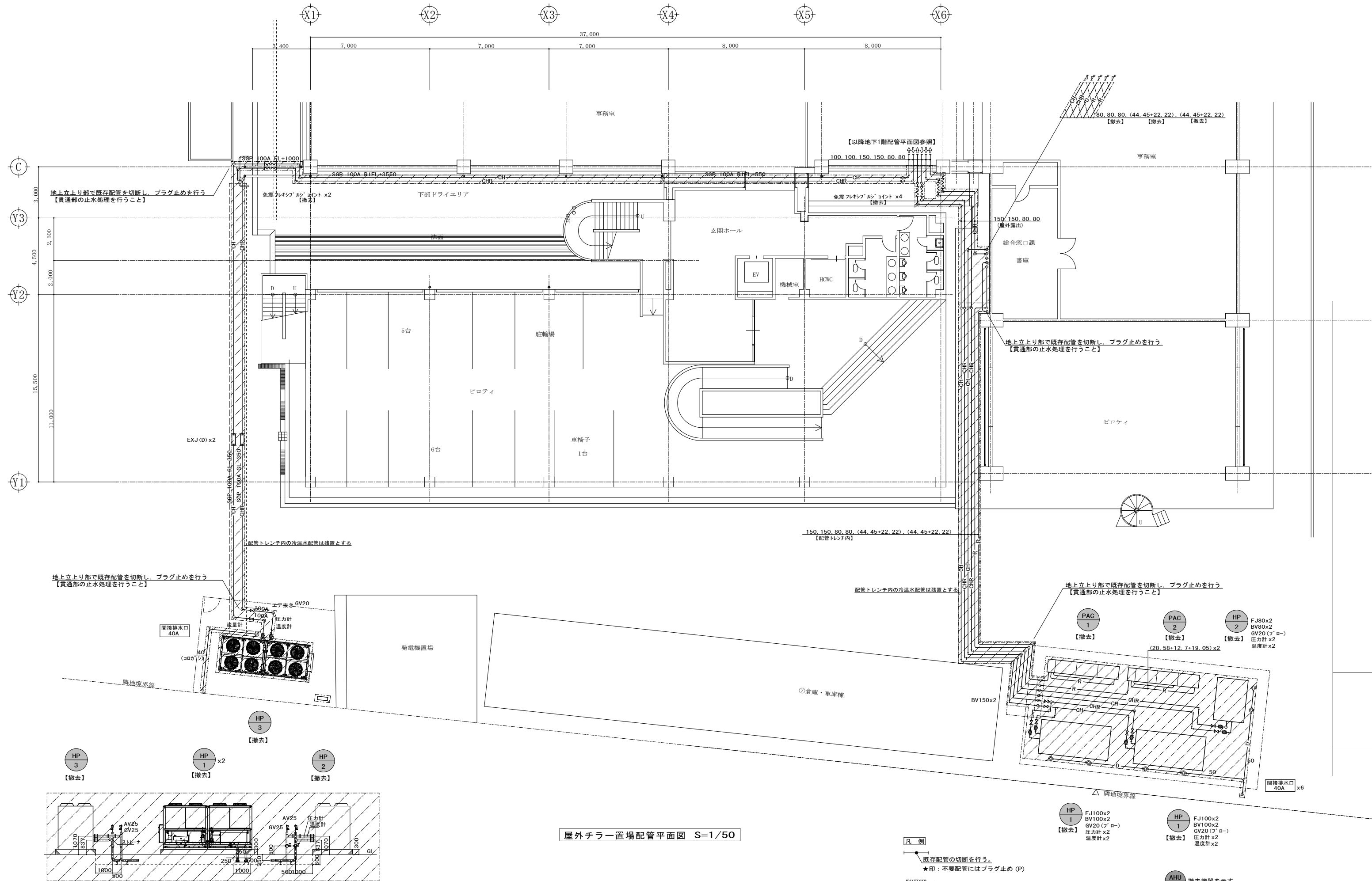
地下1階機械室-ドライエリア間配管断面詳細図 S=1/50



【空調配管のみ撤去】

：着色部分の既存空調配管を撤去のこと。(架台共)

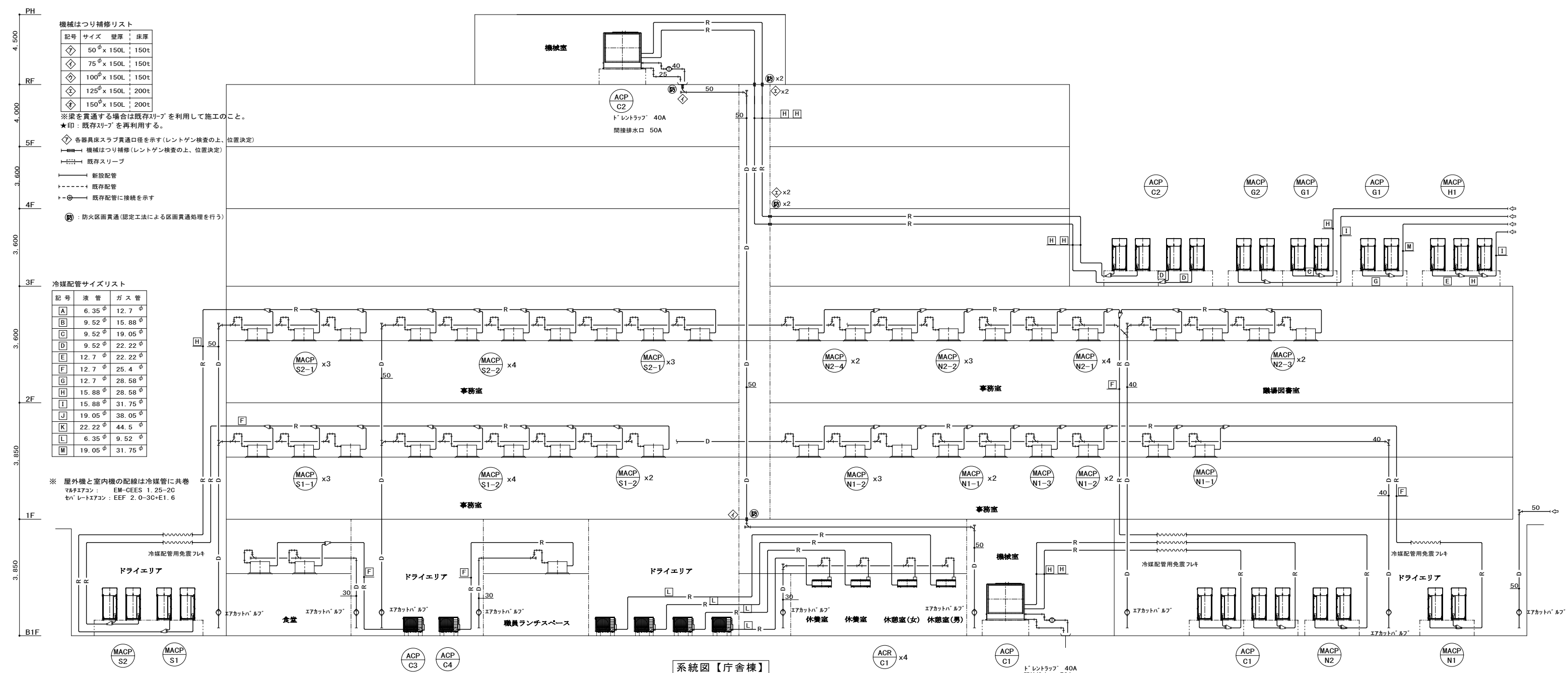
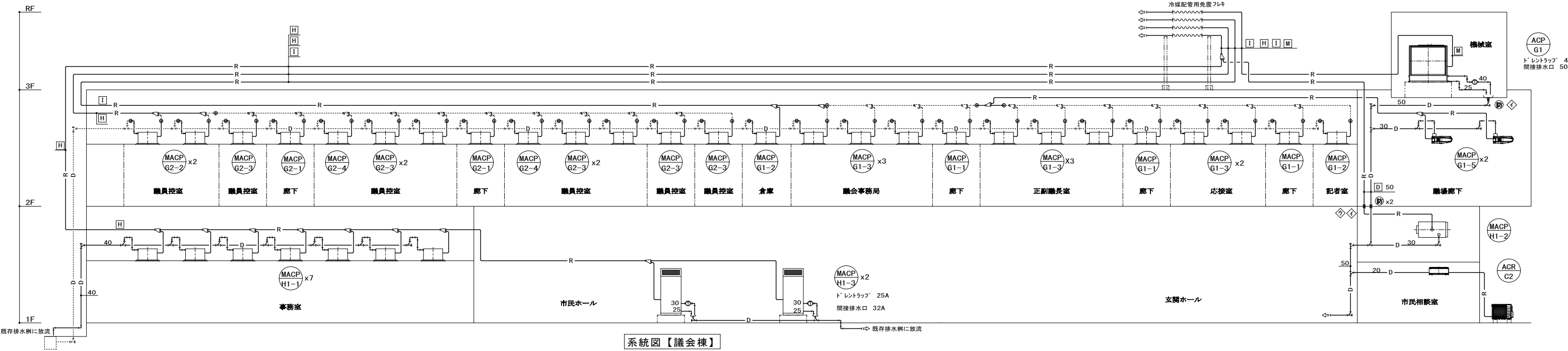
日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日



【系統図】

屋外テラー置場配管平面図 S=1/50

- 凡例
- 既存配管の切断を行う。
 - ★印：不要配管にはプラグ止め(P)
 - 撤去部分を示す
 - エアコン屋外・室内機間渡り配線も撤去のこと。(冷媒配管共巻) VVF2. 0-3C
 - 撤去機器を示す



機械はつり補修リスト

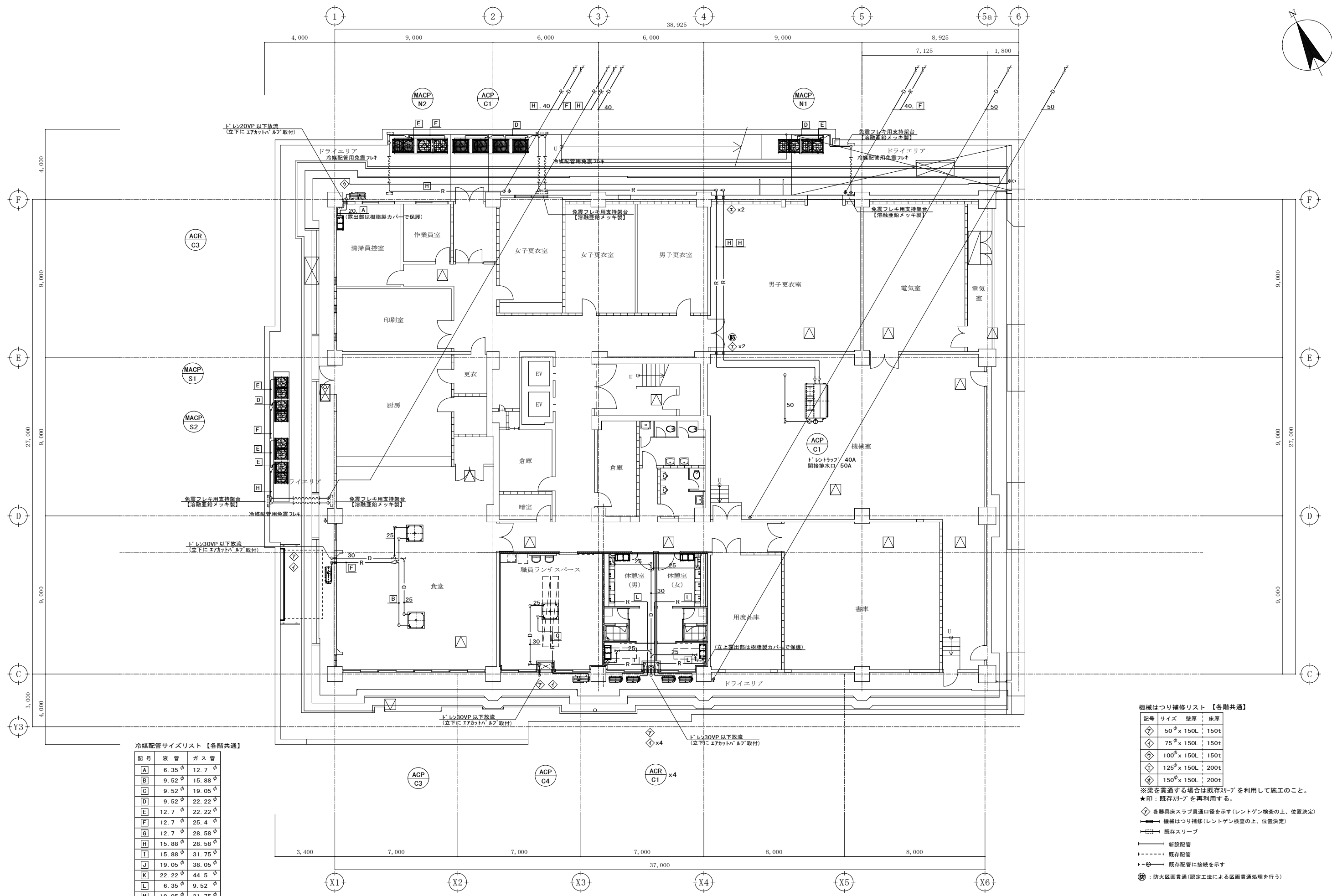
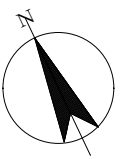
記号	サイズ	壁厚	床厚
◇	50 ^φ x 150L	150t	
◇	75 ^φ x 150L	150t	
◇	100 ^φ x 150L	150t	
◇	125 ^φ x 150L	200t	
◇	150 ^φ x 150L	200t	

- ※梁を貫通する場合は既存スリーブを再利用して施工のこと。
- ★印：既存スリーブを再利用する。
- ◇各器具床スラブ貫通口径を示す(レントゲン検査の上、位置決定)
- 機械はつり補修(レントゲン検査の上、位置決定)
- 既存スリーブ
- 新設配管
- 既存配管
- 既存配管に接続を示す
- Ⓜ：防火区画貫通(認定工法による区画貫通処理を行う)

冷媒配管サイズリスト

記号	液管	ガス管
A	6.35 ^φ	12.7 ^φ
B	9.52 ^φ	15.88 ^φ
C	9.52 ^φ	19.05 ^φ
D	9.52 ^φ	22.22 ^φ
E	12.7 ^φ	22.22 ^φ
F	12.7 ^φ	25.4 ^φ
G	12.7 ^φ	28.58 ^φ
H	15.88 ^φ	28.58 ^φ
I	15.88 ^φ	31.75 ^φ
J	19.05 ^φ	38.05 ^φ
K	22.22 ^φ	44.5 ^φ
L	6.35 ^φ	9.52 ^φ
M	19.05 ^φ	31.75 ^φ

※ 屋外機と室内機の配線は冷媒管に共巻
 マルチエアコン：EM-CEES 1.25-2C
 セパレートエアコン：EEF 2.0-3C+E1.6



冷媒配管サイズリスト 【各階共通】

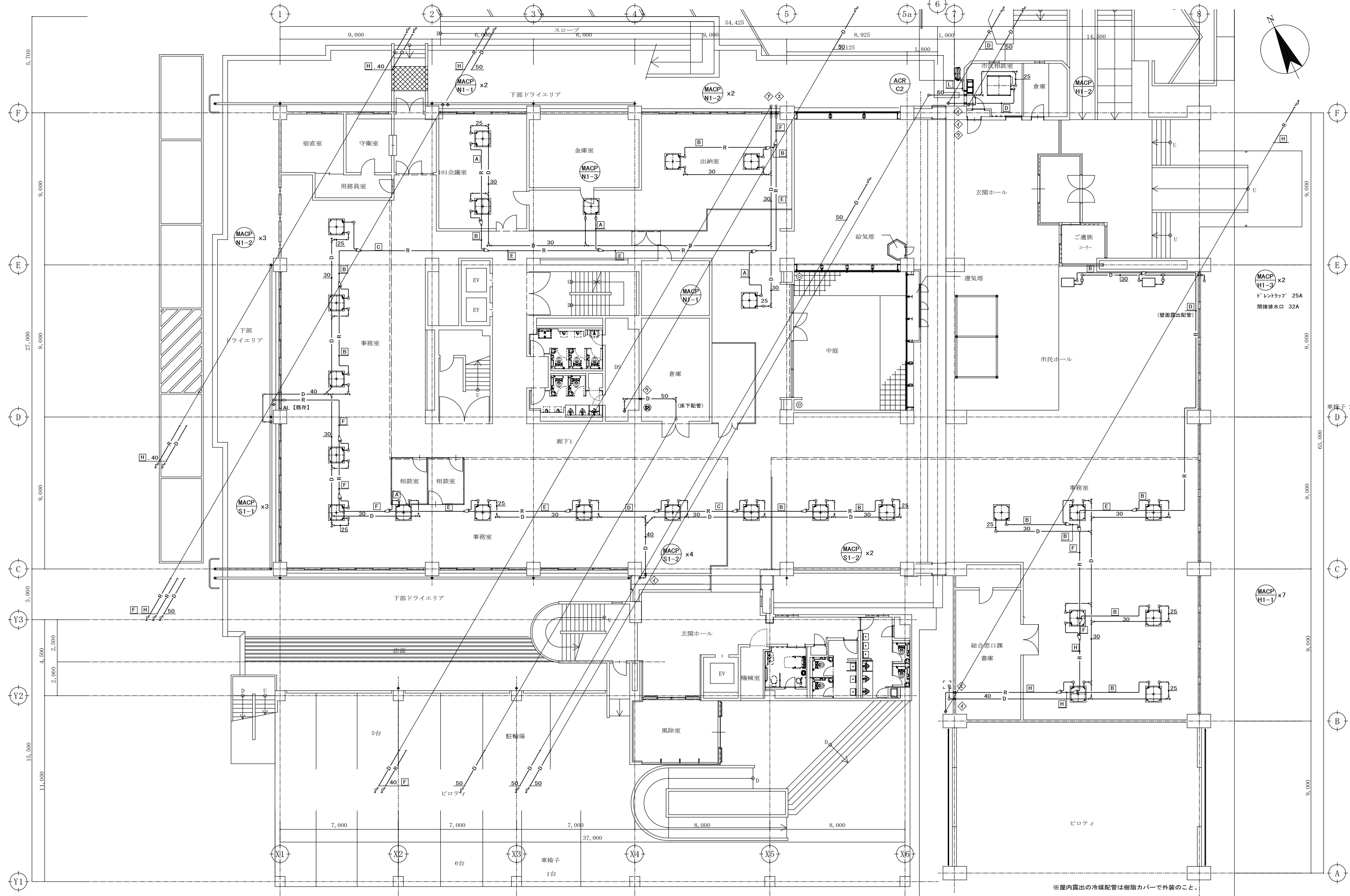
記号	液管	ガス管
A	6.35φ	12.7φ
B	9.52φ	15.88φ
C	9.52φ	19.05φ
D	9.52φ	22.22φ
E	12.7φ	22.22φ
F	12.7φ	25.4φ
G	12.7φ	28.58φ
H	15.88φ	28.58φ
I	15.88φ	31.75φ
J	19.05φ	38.05φ
K	22.22φ	44.5φ
L	6.35φ	9.52φ
M	19.05φ	31.75φ

※ 屋外機と室内機の配線は冷媒管に共巻
 マルチエアコン：EM-CEES 1.25-2C
 セパレートエアコン：EEF 2.0-3C-E1.6

機械はつり補修リスト 【各階共通】

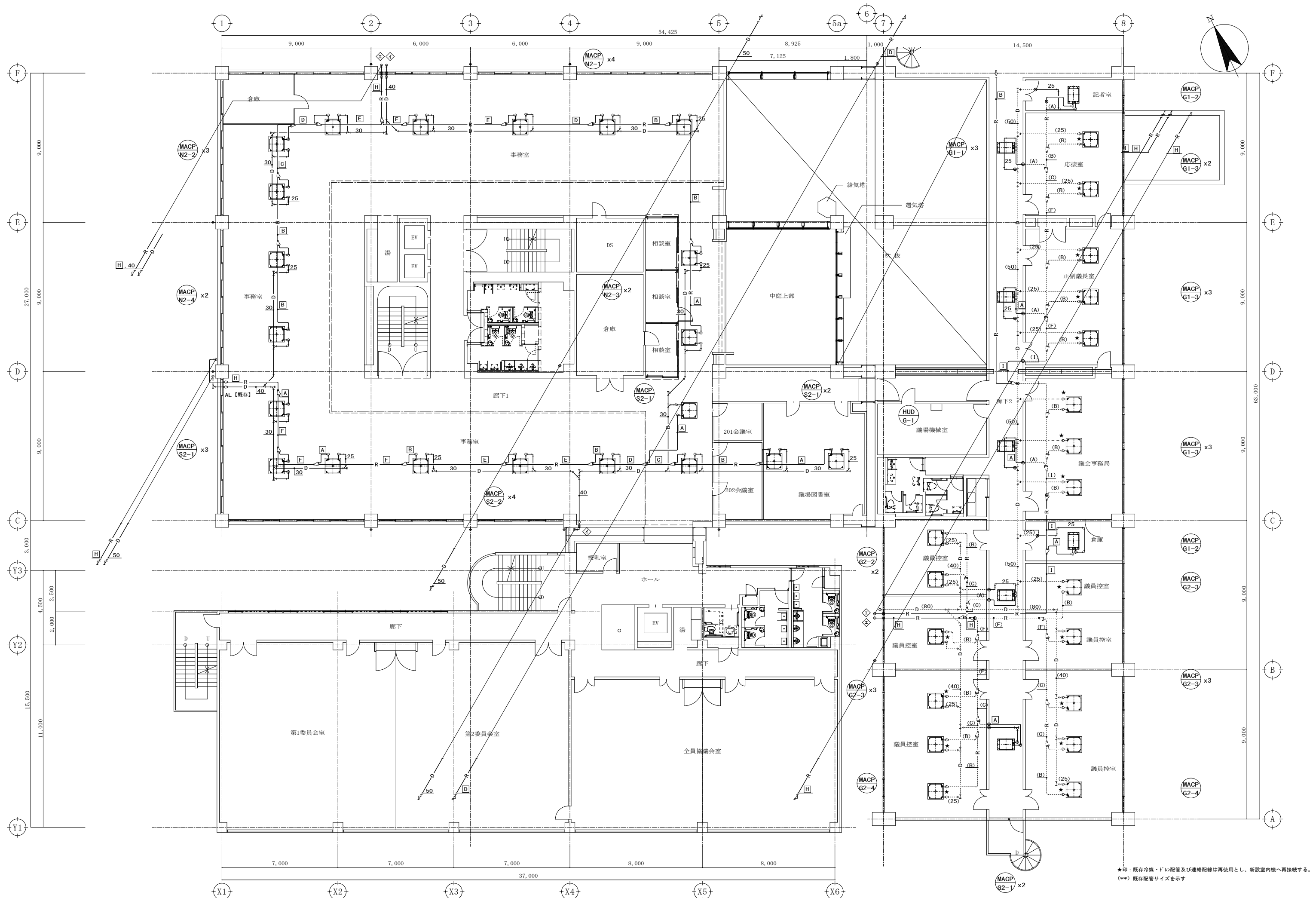
記号	サイズ	壁厚	床厚
◇	50φ x 150L	150t	
◇	75φ x 150L	150t	
◇	100φ x 150L	150t	
◇	125φ x 150L	200t	
◇	150φ x 150L	200t	

- ※梁を貫通する場合は既存スリーブを利用して施工のこと。
 ★印：既存スリーブを再利用する。
- ◇ 各器具床スラブ貫通口径を示す(レントゲン検査の上、位置決定)
 - ◇ 機械はつり補修(レントゲン検査の上、位置決定)
 - 既存スリーブ
 - 新設配管
 - 既存配管
 - 既存配管に接続を示す
 - ⊕ 防火区画貫通(認定工法による区画貫通処理を行う)



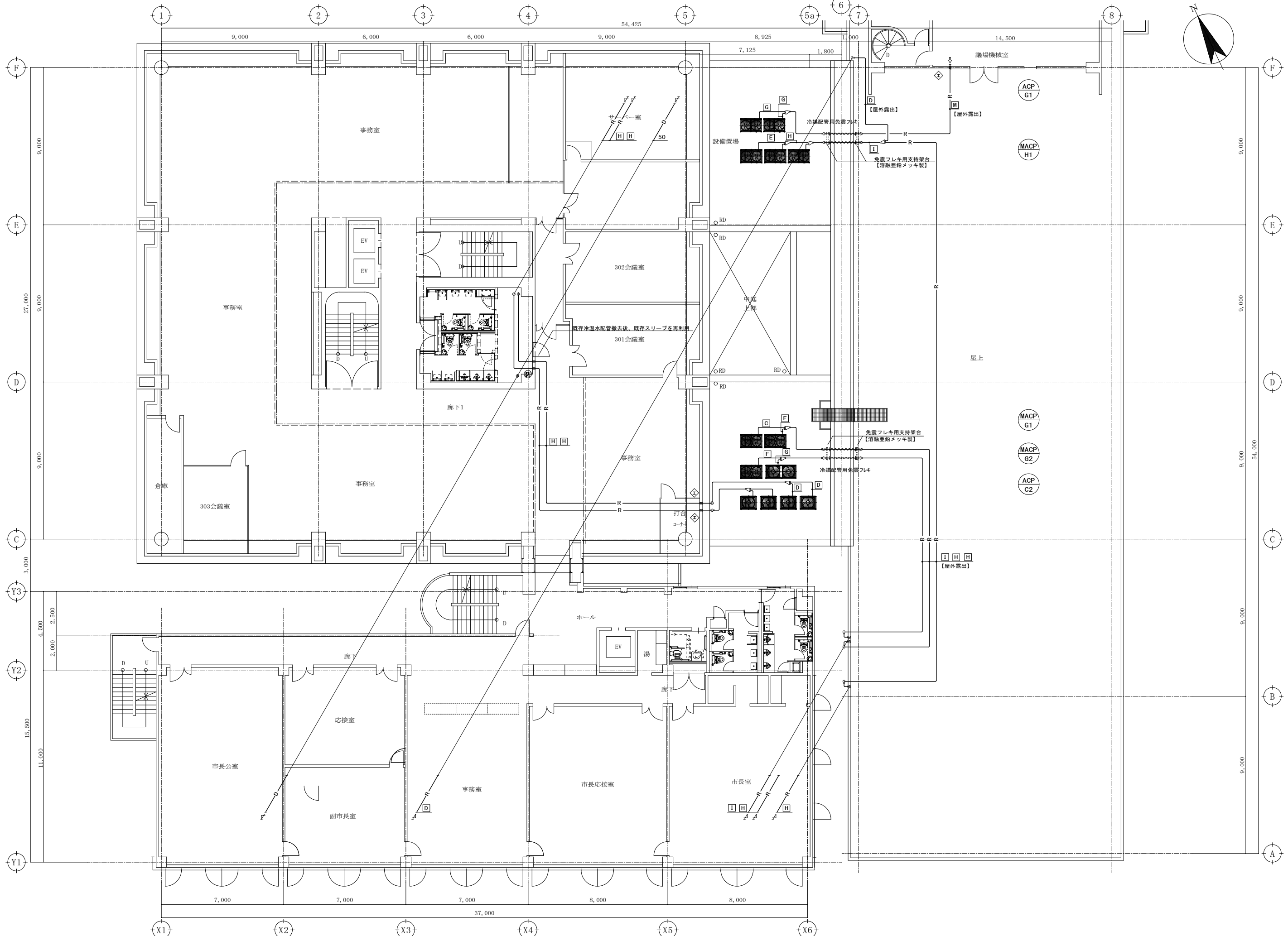
※屋内露出の冷媒配管は樹脂カバーで外装のこと。


株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9615号 代表取締役 小林 弘幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名 市庁舎長寿命化改修工事 図面名 空調設備 1階配管平面図【改修後】	縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	M-217
								一級建築士 第193004号 大形 一朗		

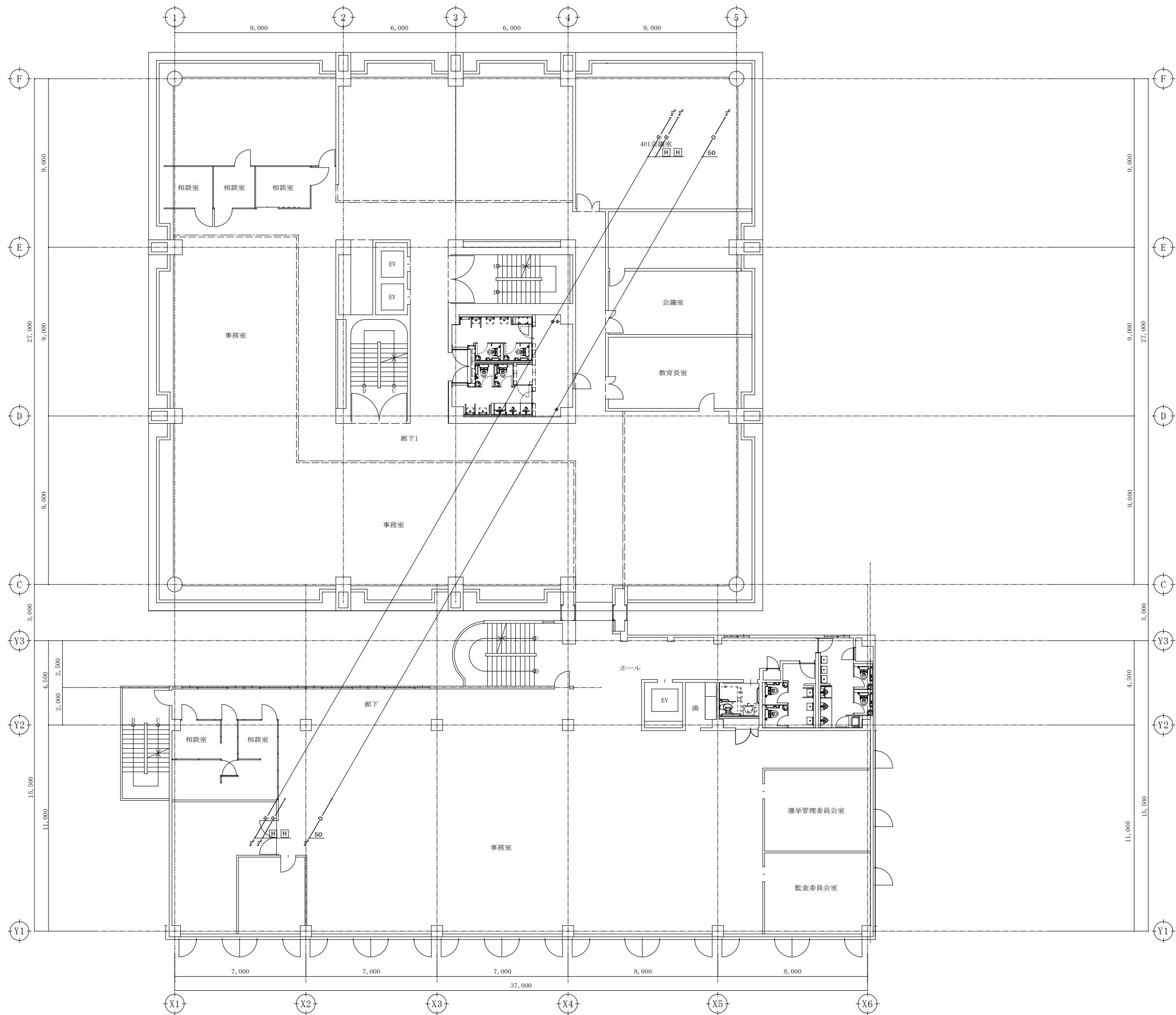
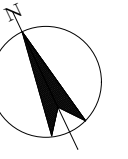


★印：既存冷媒・ドレン配管及び連絡配線は再使用とし、新設室内機へ再接続する。
 (***) 既存配管サイズを示す

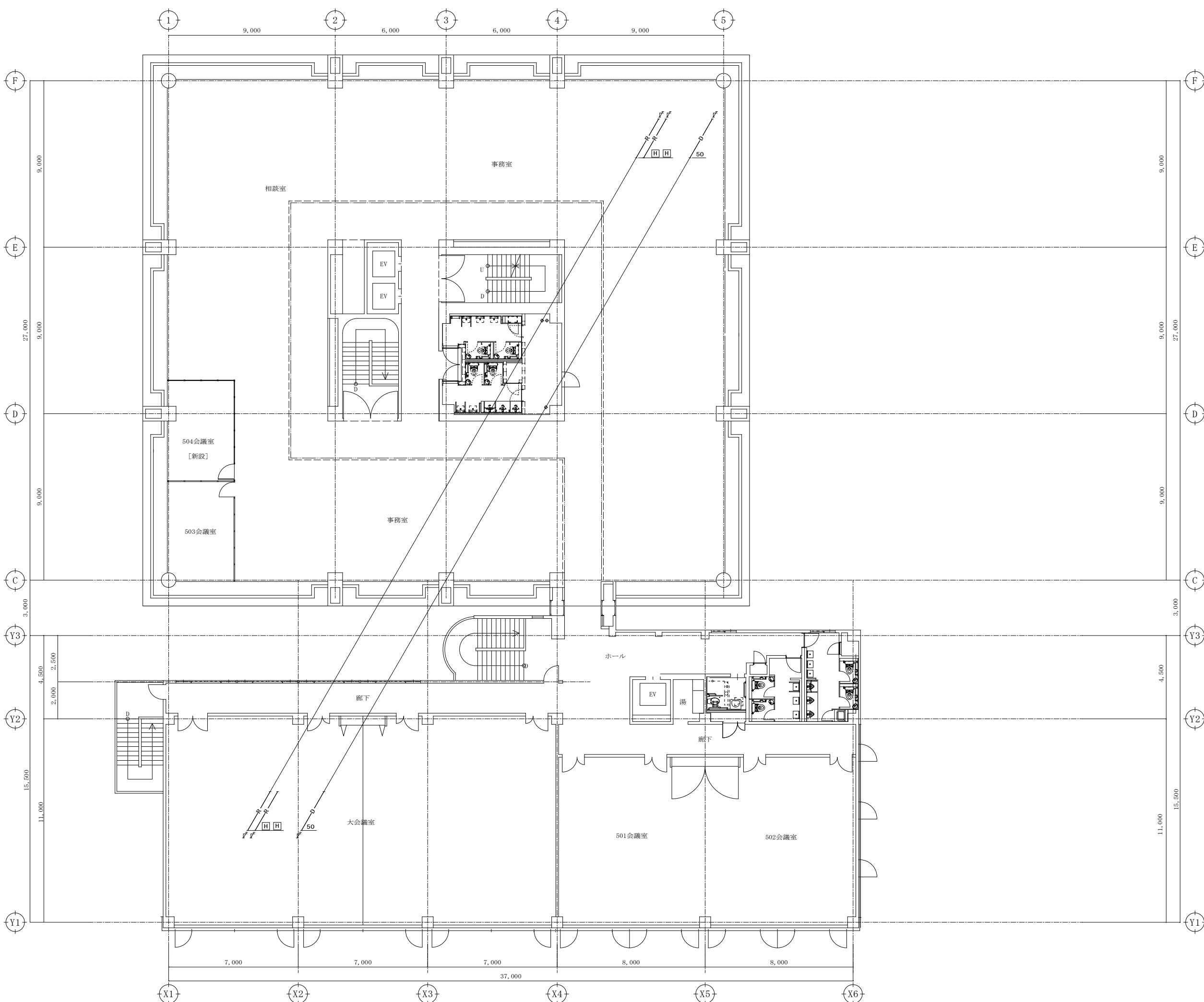
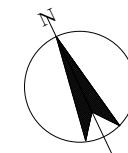
株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9615号 代表取締役 小林 弘幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名 市庁舎長寿命化改修工事 図面名 空調設備 2階配管平面図【改修後】	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	M-218
								一級建築士 第193004号 大形 一朗	



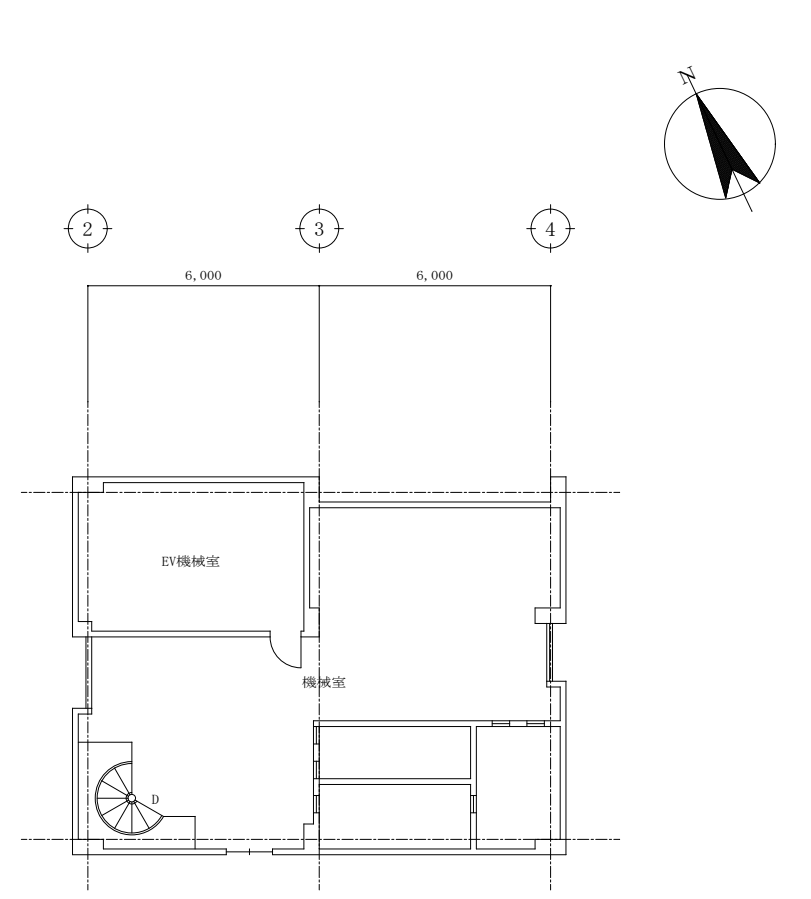
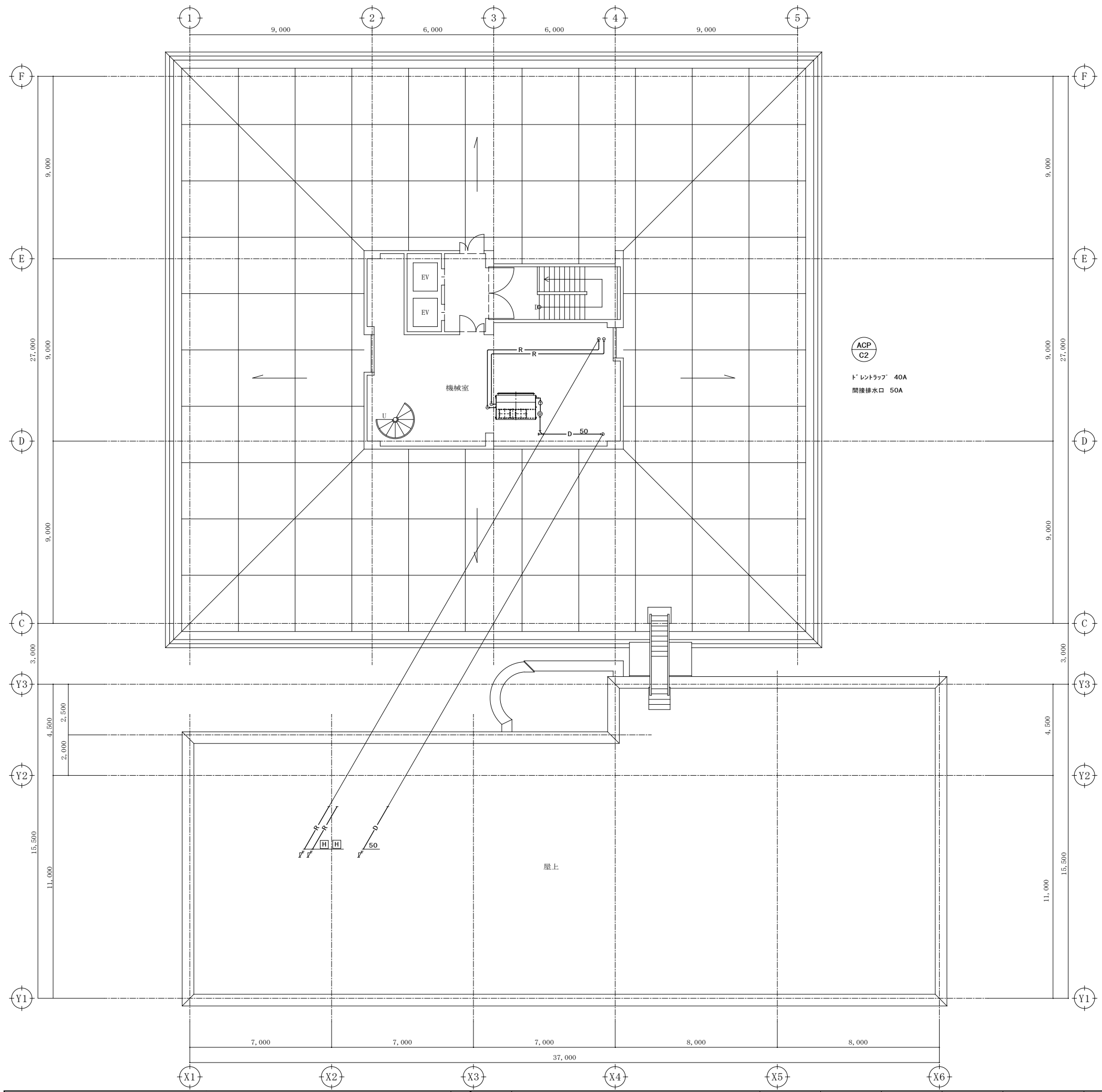
 株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(3)第9615号 代表取締役 小林弘幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名 市庁舎長寿命化改修工事 図面名 空調設備 3階配管平面図【改修後】	縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	M-219
								一級建築士 第193004号 大形 一朗		



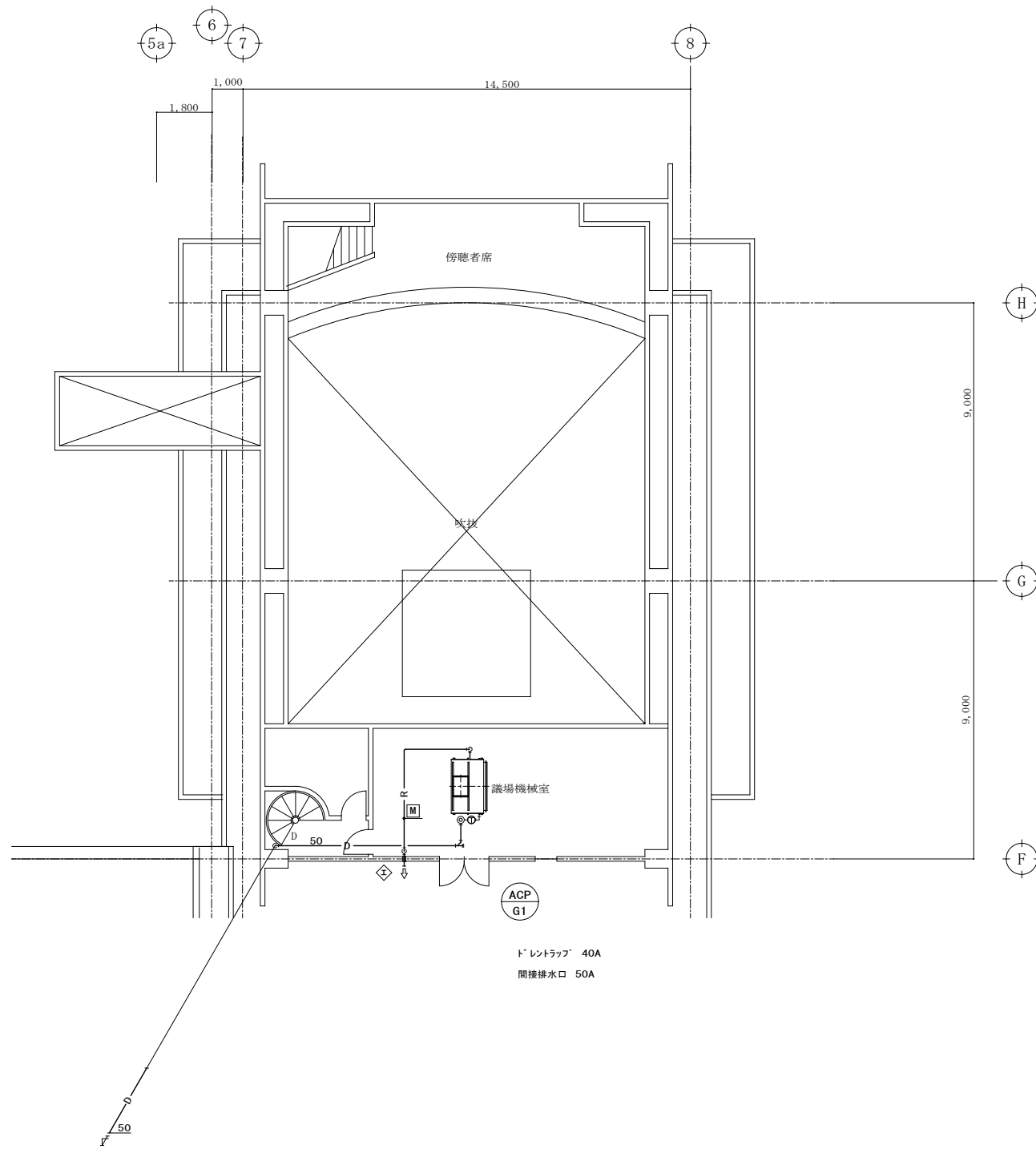
株式会社 大誠建築設計事務所 <small>一級建築士事務所 埼玉県知事登録(3)第9615号 代表取締役 小林弘幸 一級建築士</small>	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名	縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	M-220
							市庁舎長寿命化改修工事	図面名	空調設備 4階配管平面図【改修後】	
									一級建築士 第193004号 大形 一朗	



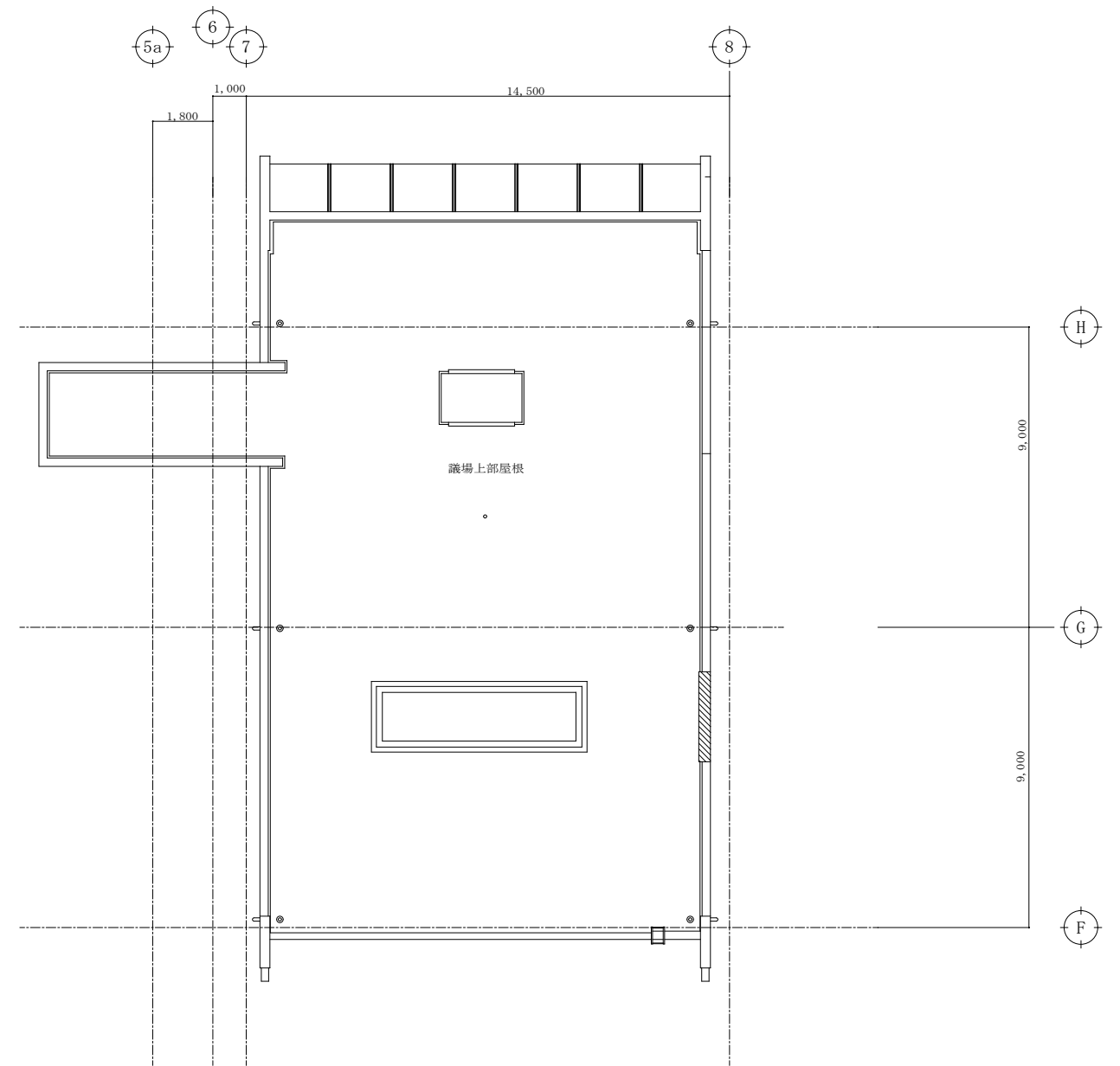
株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9615号 代表取締役 小林弘幸	日付 _____	記事 _____	承認 _____	照査 _____	設計 _____	設計年月日 _____	件名 市庁舎長寿命化改修工事	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	M-221
	図面名 空調設備 5階配管平面図【改修後】							一級建築士 第193004号 大形 一朗	



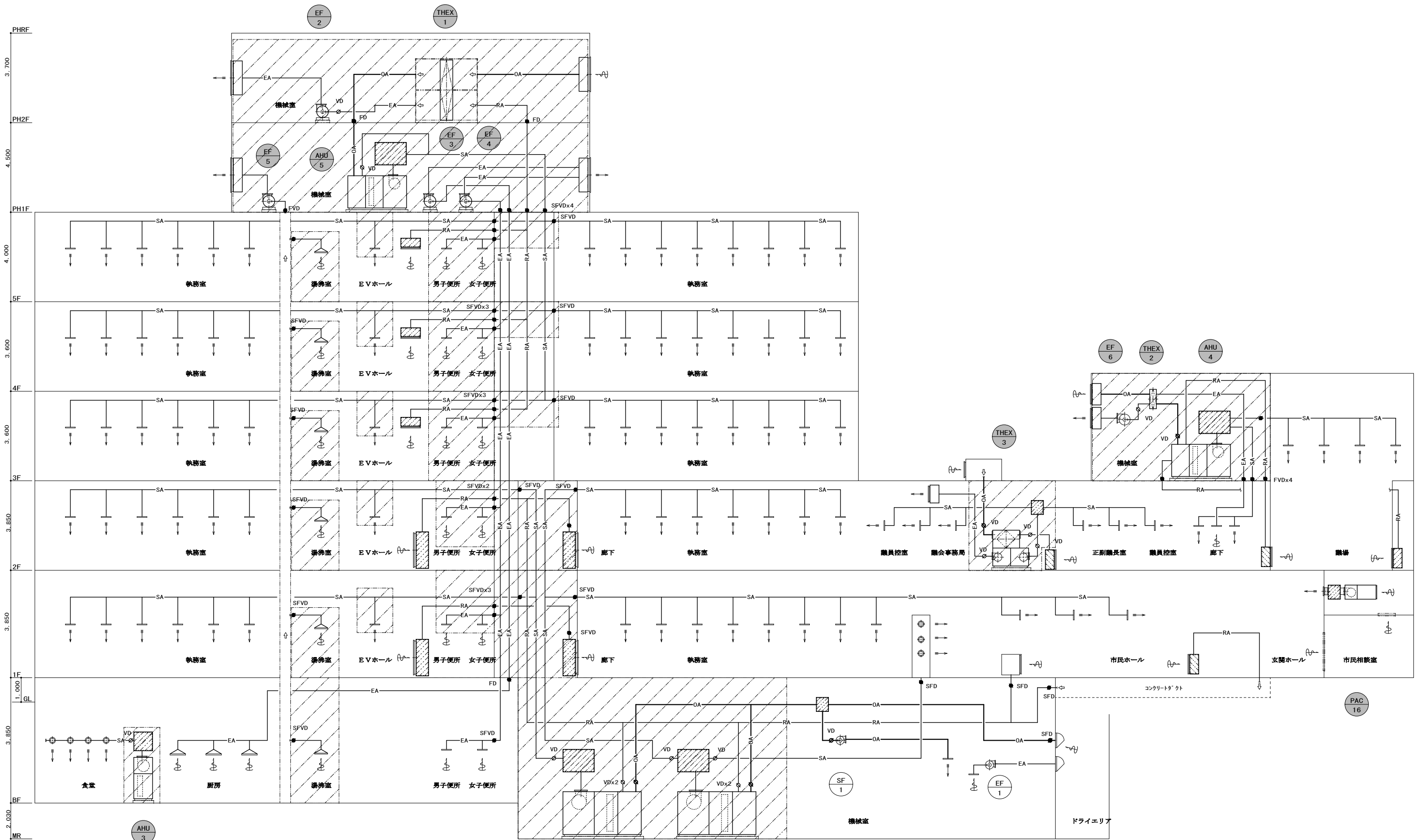
日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日



3階平面図 S=1/100

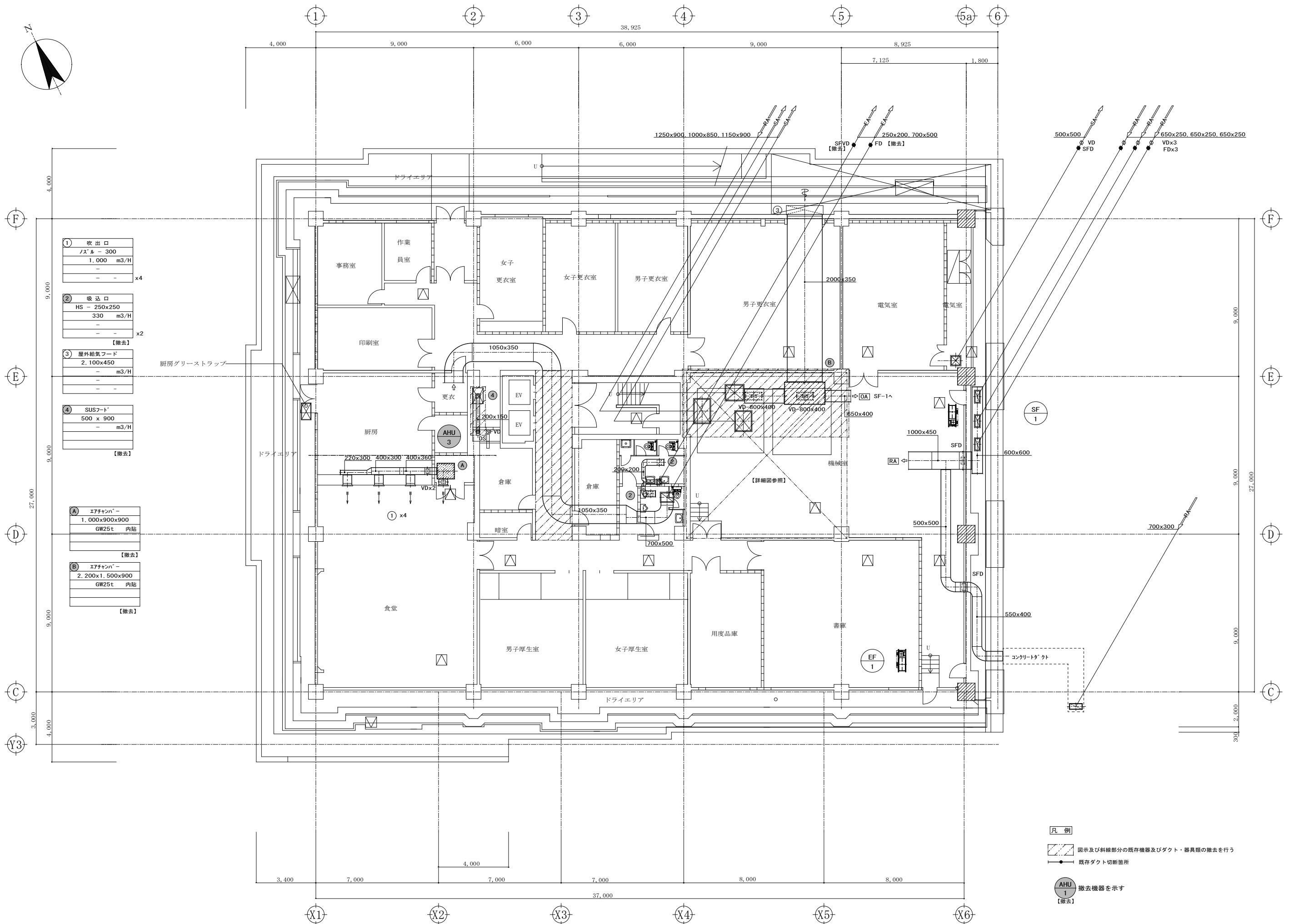
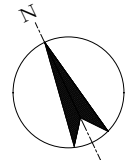


3階平面図 S=1/100



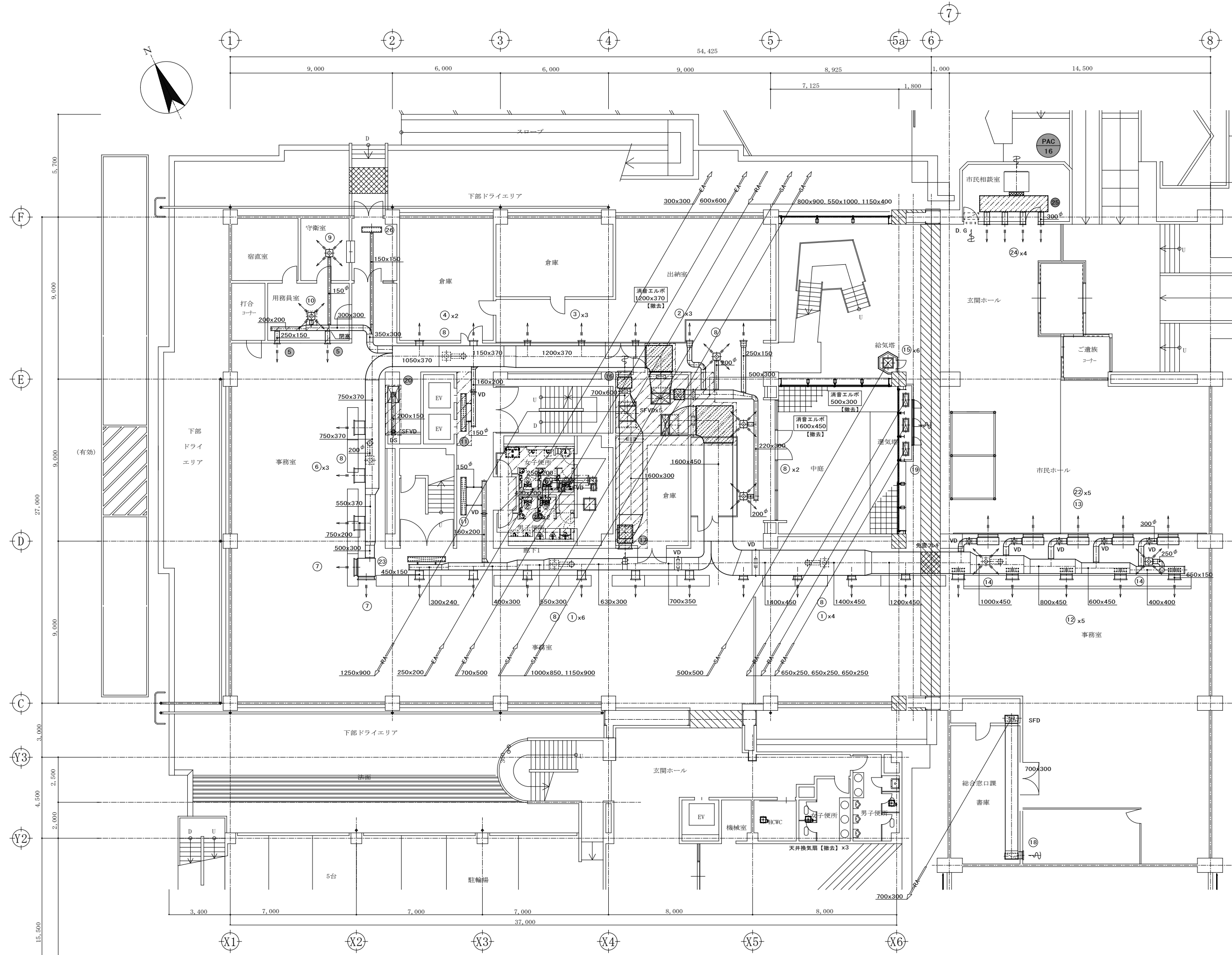
- 凡例
- 図示及び斜線部分の既存機器及びダクト・器具類の撤去を行う
 - 既存ダクト切断箇所
 - 撤去機器を示す
【撤去】

株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(3)第9615号 代表取締役 小林弘幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名 市庁舎長寿命化改修工事 図面名 空調設備 ダクト系統図【改修前】	縮尺	A1: N.S A3: N.S	M-301
								一級建築士 第193004号 大形 一朗		



- ① 吹出口
ノズル - 300
1,000 m3/H
x4
- ② 吸込口
HS - 250x250
330 m3/H
x2
【撤去】
- ③ 屋外給気フード
2,100x450
m3/H
【撤去】
- ④ SUSフード
500 x 900
m3/H
【撤去】
- A エアチャンバー
1,000x900x900
GW25t 内貼
【撤去】
- B エアチャンバー
2,200x1,500x900
GW25t 内貼
【撤去】

- 凡例
- 図示及び斜線部分の既存機器及びダクト・器具類の撤去を行う
 - 既存ダクト切断箇所
 - AHU 1 撤去機器を示す
【撤去】



- | | |
|---|---|
| 1 吹出口
VHS - 450x150
650 m ³ /H
- -
- -
x10 | 15 吹出口
/ス' & 250
- -
- -
- -
x6 |
| 2 吹出口
VHS - 350x150
510 m ³ /H
- -
- -
x3 | 16 吸込口
GVS - 700x2000
- -
800x600x2200
GW25t 内貼
【撤去】 |
| 3 吹出口
VHS - 300x150
250 m ³ /H
- -
- -
x3 | 17 吸込口
GVS - 700x2000
- -
800x600x2200
GW25t 内貼
【撤去】 |
| 4 吹出口
VHS - 400x150
510 m ³ /H
- -
- -
x2 | 18 吸込口
GV - 400x1800
4.500 m ³ /H
- -
- - |
| 5 吹出口
VHS - 250x150
350 m ³ /H
- -
- -
【撤去】 | 19 吸込口
500 x 900
- -
- -
m ³ /H |
| 6 吹出口
VHS - 750x200
1,200 m ³ /H
- -
- -
x2 | 20 SUS7-7
500 x 900
- -
- -
m ³ /H |
| 7 吹出口
VHS - 900x200
1,500 m ³ /H
- -
- -
x3 | 21 吸込口
HS - 250x250
330 m ³ /H
- -
- -
x2 |
| 8 吹出口
C2 - 20
500 m ³ /H
BoX-400x400x300
GW25t 内貼
x6 | 22 エアチャンバー
1,000x400x400
GW25t 内貼
x5 |
| 9 吹出口
C2 - 15
300 m ³ /H
BoX-400x400x300
GW25t 内貼 | 23 エアチャンバー
900x900x400
GW25t 内貼 |
| 10 吹出口
C2 - 20
600 m ³ /H
BoX-400x400x300
GW25t 内貼
【撤去】 | 24 吹出口
/ス' & - 300
1,050 m ³ /H
- -
- -
x4 |
| 11 吹出口
BLS - 2,000L
350 m ³ /H
BoX-2500x220x200
GW25t 内貼
x2 | 25 エアチャンバー
3,800x900x600
GW50t 内貼
【撤去】 |
| 12 吹出口
VHS - 650x150-
1,240 m ³ /H
- -
- -
x5 | 26 吹出口
BLS - 1,000L
250 m ³ /H
BoX-1200x220x200
GW25t 内貼 |

凡例

図示及び斜線部分の既存機器及びダクト・器具類の撤去を行う

既設ダクト切断箇所

AHU 1 撤去機器を示す【撤去】